

第7期吉川市高齢者福祉計画・
介護保険事業計画策定のための
アンケート調査
調査結果報告書

平成29年8月

吉 川 市

目次

I	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1
1	調査の概要	1
	(1)調査の目的	1
	(2)調査対象	1
	(3)調査期間	1
	(4)調査方法	1
	(5)回収状況	1
	(6)調査結果の表示方法	1
2-1	調査結果	2
問1	あなたのご家族や生活状況について	2
問2	からだを動かすことについて	6
問3	食べることについて	12
問4	毎日の生活について	18
問5	地域での活動について	29
問6	たすけあいについて	35
問7	健康について	42
2-2	調査結果「生活機能評価等に関する分析」	48
(1)	機能別リスク該当者割合の分析	48
	①運動器	48
	②閉じこもり	50
	③転倒	52
	④栄養	54
	⑤口腔	56
	⑥認知	58
	⑦うつ	60
(2)	日常生活	62
	①手段的自立度（IADL）	62
(3)	社会参加	64
	①知的能動性	64
	②社会的役割	66

II 在宅介護実態調査	68
1 調査の概要	68
(1) 調査の目的	68
(2) 調査対象	68
(3) 調査期間	68
(4) 調査方法	68
(5) 回収状況	68
(6) 調査結果の表示方法	68
2 調査結果	69
(1) A票 ご本人について	69
(2) B票 主な介護者について	94

I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料として調査を行うものです。

(2) 調査対象

吉川市在住の65歳以上を無作為抽出

(3) 調査期間

平成29年1月31日から2月17日

(4) 調査方法

郵送による配布・回収

(5) 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	14,302通	8,472通	59.2%

(6) 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

2-1 調査結果

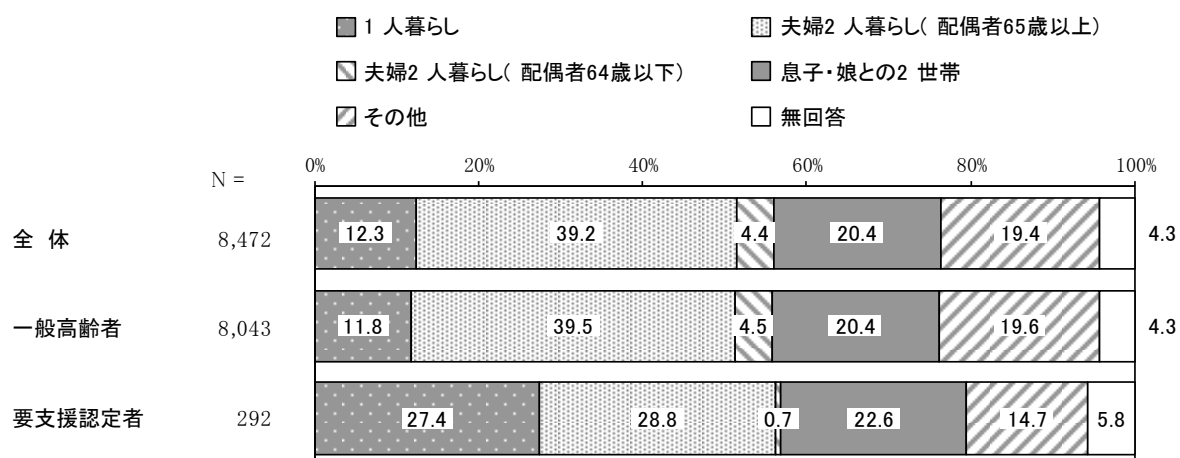
問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が39.5%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が20.4%、「1人暮らし」の割合が11.8%となっています。

要支援認定者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が28.8%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が27.4%、「息子・娘との2世帯」の割合が22.6%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「1人暮らし」の割合が高くなっています。

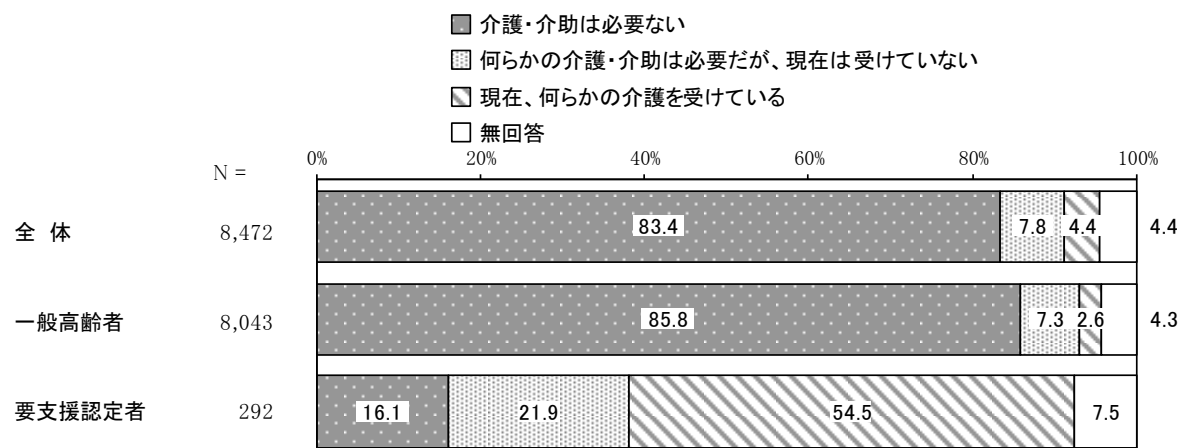


(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」の割合が85.8%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「現在、何らかの介護を受けている」の割合が54.5%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が21.9%、「介護・介助は必要ない」の割合が16.1%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」の割合が高くなっています。



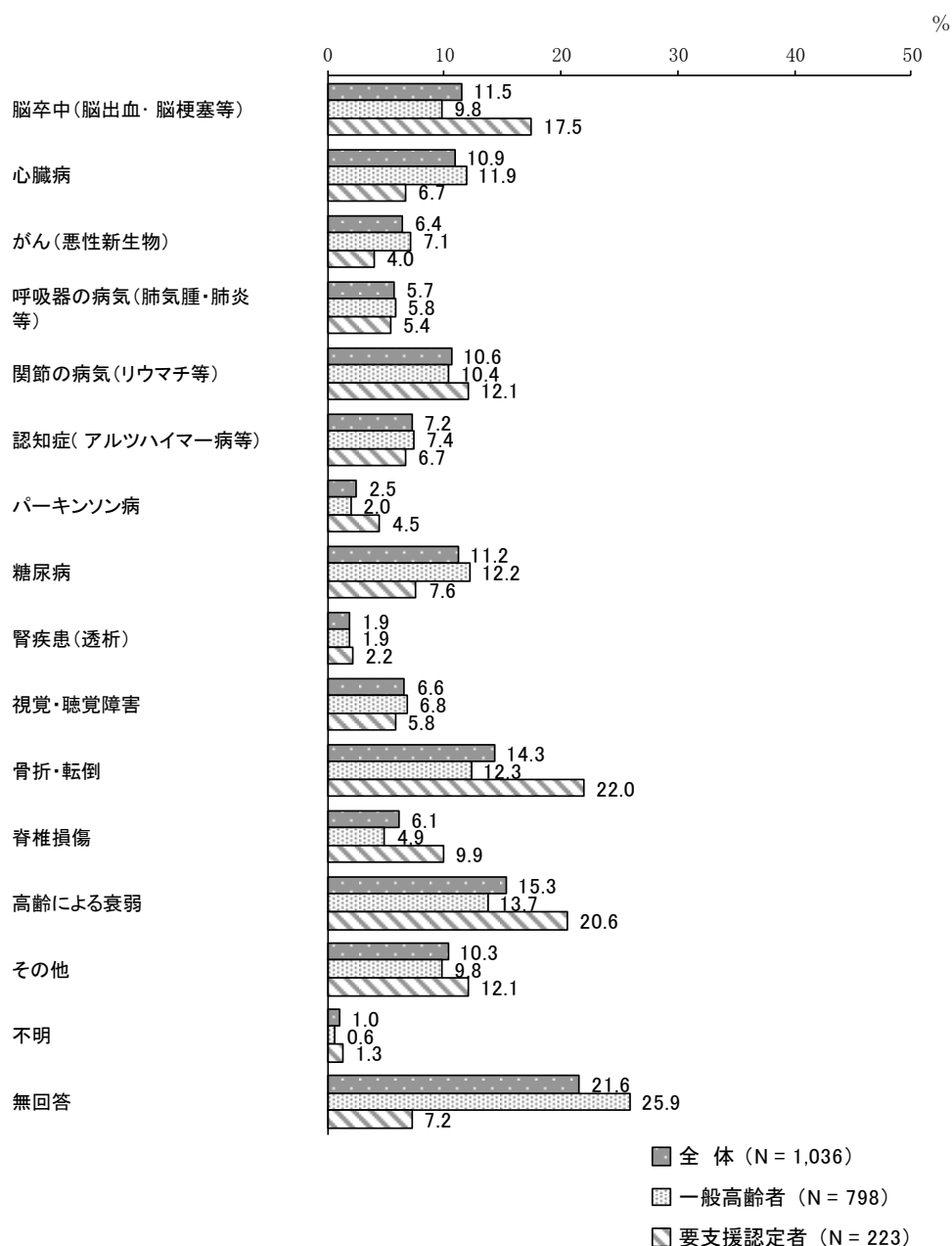
【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

一般高齢者では、「高齢による衰弱」の割合が13.7%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が12.3%、「糖尿病」の割合が12.2%となっています。

要支援認定者では、「骨折・転倒」の割合が22.0%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が20.6%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」の割合が17.5%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「心臓病」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。



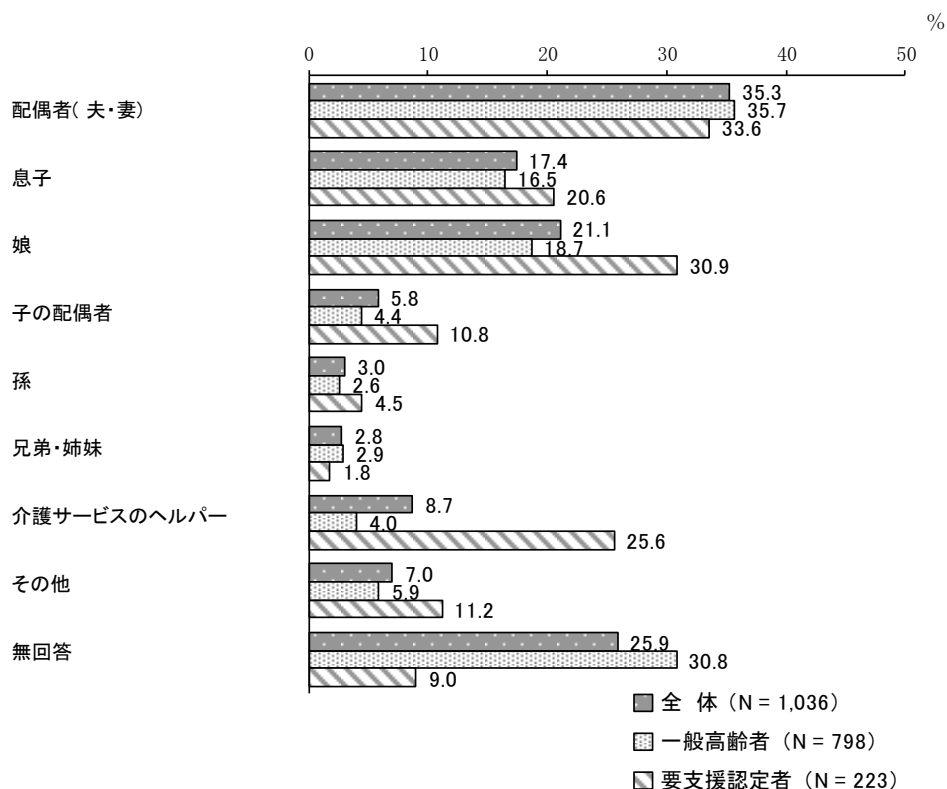
【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

一般高齢者では、「配偶者（夫・妻）」の割合が35.7%と最も高く、次いで「娘」の割合が18.7%、「息子」の割合が16.5%となっています。

要支援認定者では、「配偶者（夫・妻）」の割合が33.6%と最も高く、次いで「娘」の割合が30.9%、「介護サービスのヘルパー」の割合が25.6%となっています。

要介護認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「娘」「子の配偶者」「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

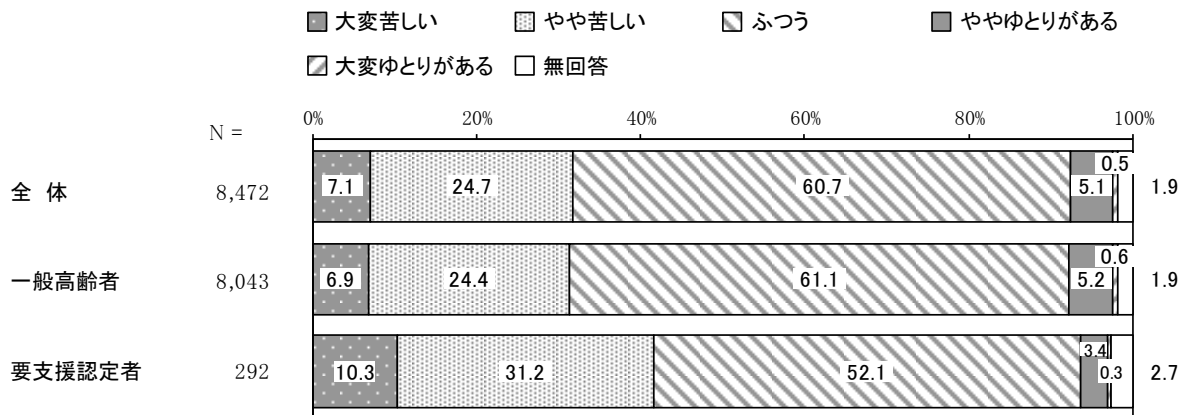


(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

一般高齢者では、「ふつう」の割合が61.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が24.4%となっています。

要支援認定者では、「ふつう」の割合が52.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が31.2%、「大変苦しい」の割合が10.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ふつう」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「やや苦しい」の割合が高くなっています。

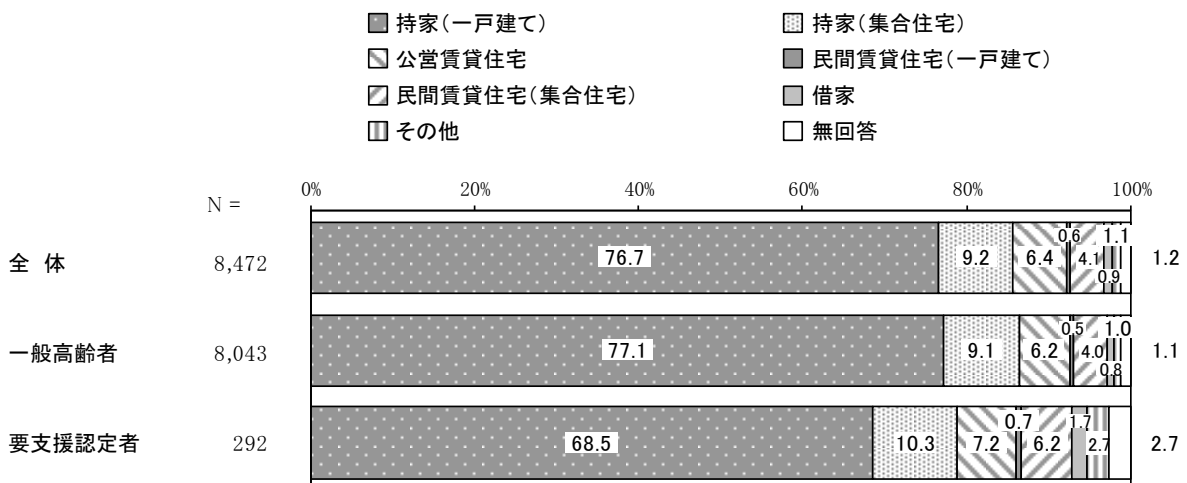


(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

一般高齢者では、「持家（一戸建て）」の割合が77.1%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「持家（一戸建て）」の割合が68.5%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が10.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「持家（一戸建て）」の割合が高くなっています。



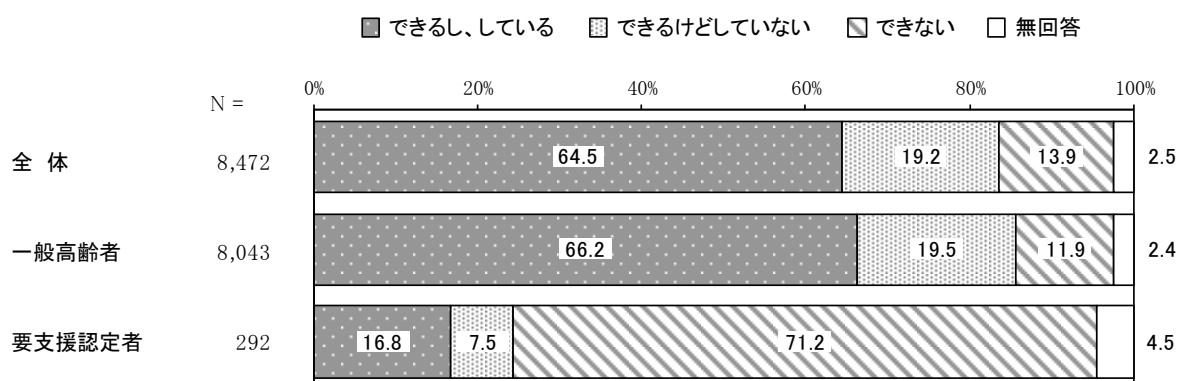
問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が66.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.5%、「できない」の割合が11.9%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が71.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が16.8%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で11.9%、要支援認定者で71.2%となっており、59.3ポイントの差となっています。

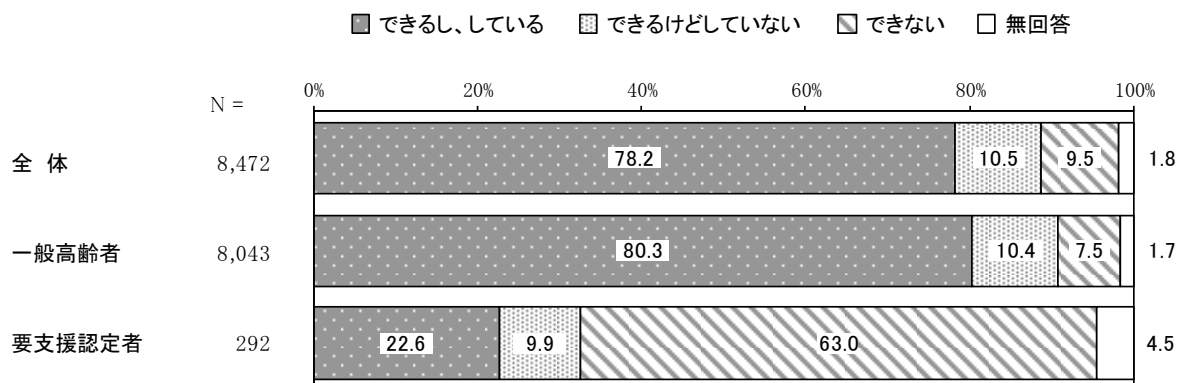


(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が80.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が10.4%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が63.0%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が22.6%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で7.5%、要支援認定者で63.0%となっており、55.5ポイントの差となっています。

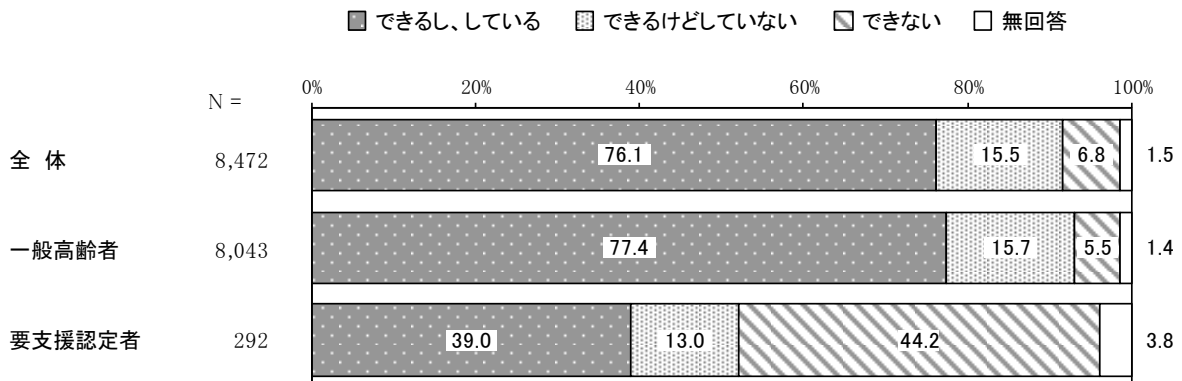


(3) 15分位続けて歩いていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が77.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が15.7%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が44.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が39.0%、「できるけどしていない」の割合が13.0%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で5.5%、要支援認定者で44.2%となっており、38.7ポイントの差となっています。

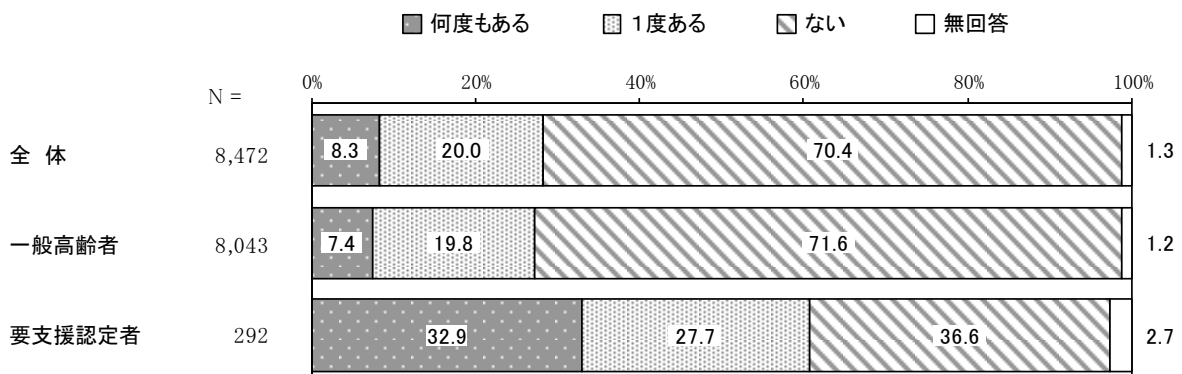


(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

一般高齢者では、「ない」の割合が71.6%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が19.8%となっています。

要支援認定者では、「ない」の割合が36.6%と最も高く、次いで「何度もある」の割合が32.9%、「1度ある」の割合が27.7%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「何度もある」と「1度ある」を合わせた『過去1年間に転んだ経験がある人』の割合は、一般高齢者で27.2%、要支援認定者で60.6%となっており、33.4ポイントの差となっています。

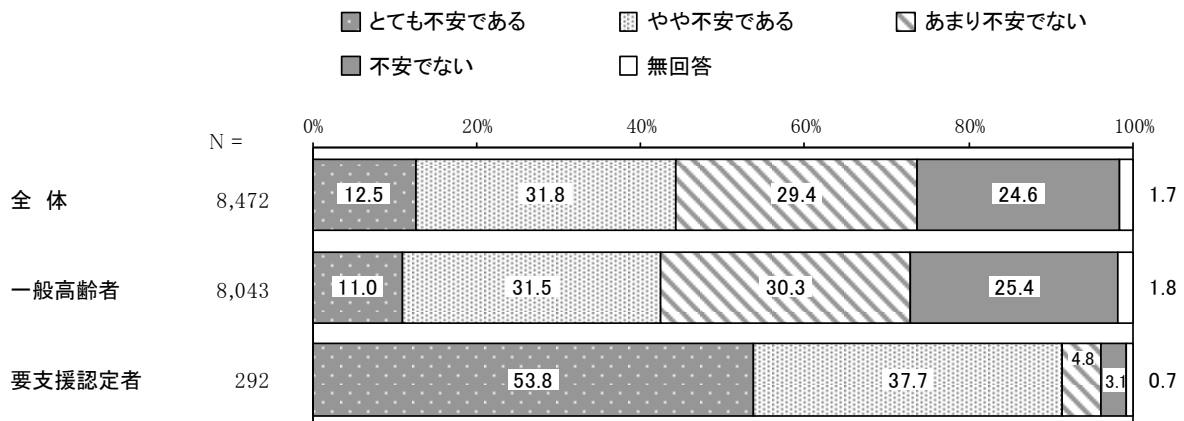


(5) 転倒に対する不安は大きいですか

一般高齢者では、「やや不安である」の割合が31.5%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が30.3%、「不安でない」の割合が25.4%となっています。

要支援認定者では、「とても不安である」の割合が53.8%と最も高く、次いで「やや不安である」の割合が37.7%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒に対して不安な人』の割合は、一般高齢者で42.5%、要支援認定者で91.5%となっており、49.0ポイントの差となっています。

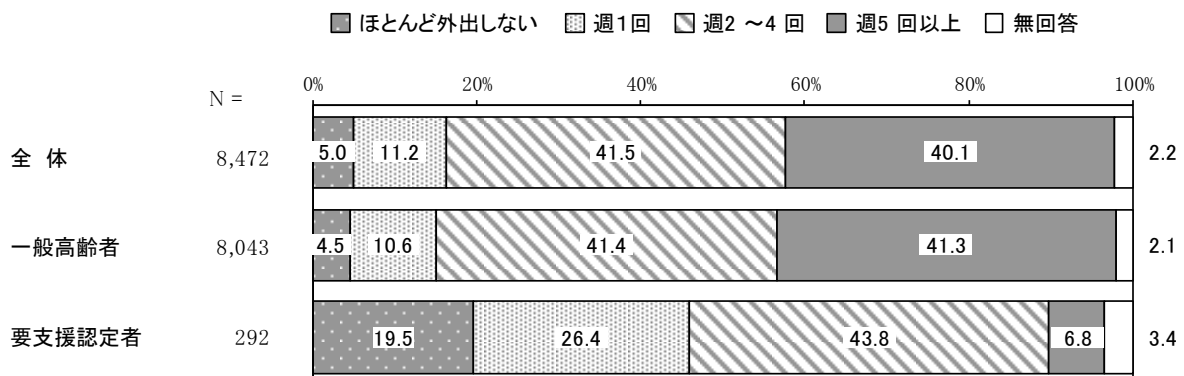


(6) 週に1回以上は外出していますか

一般高齢者では、「週2~4回」の割合が41.4%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が41.3%、「週1回」の割合が10.6%となっています。

要支援認定者では、「週2~4回」の割合が43.8%と最も高く、次いで「週1回」の割合が26.4%、「ほとんど外出しない」の割合が19.5%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもり傾向のある人』の割合は、一般高齢者で15.1%、要支援認定者で45.9%となっており、30.8ポイントの差となっています。

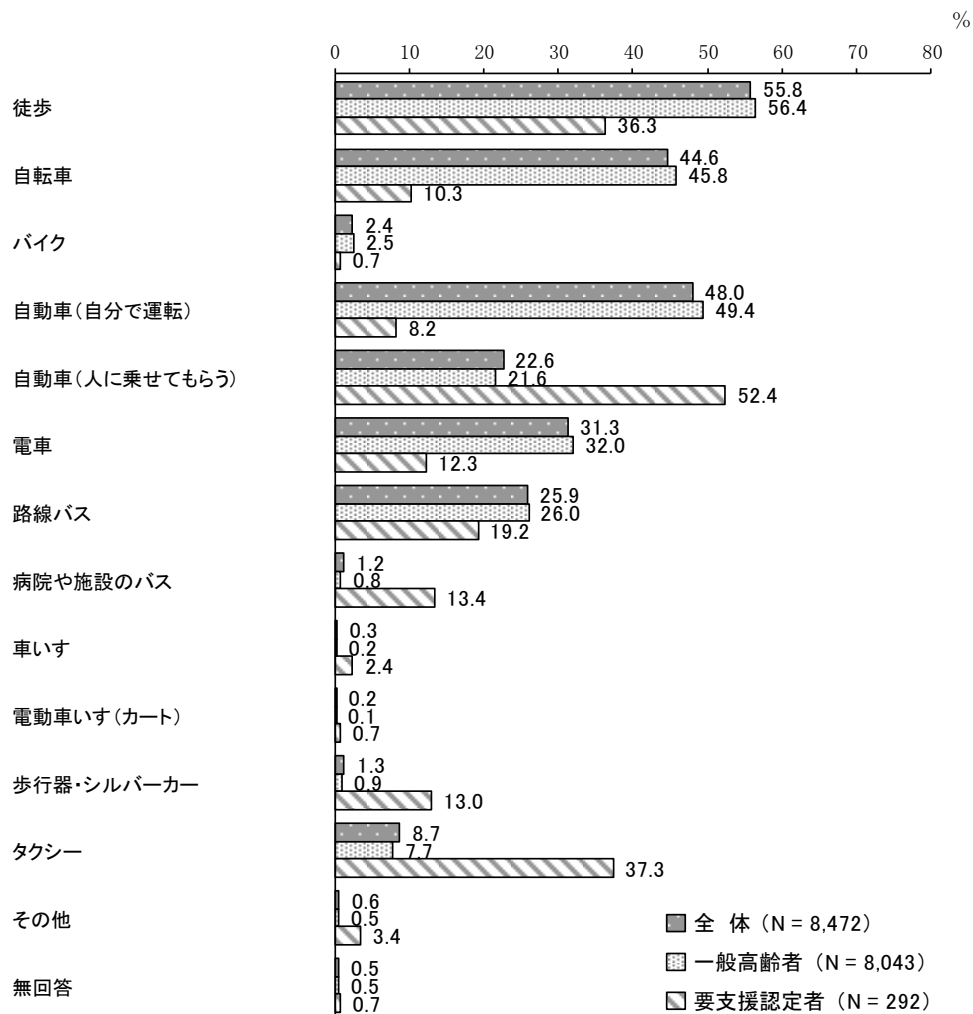


(7) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

一般高齢者では、「徒歩」の割合が56.4%と最も高く、次いで「自動車(自分で運転)」の割合が49.4%、「自転車」の割合が45.8%となっています。

要支援認定者では、「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が52.4%と最も高く、次いで「タクシー」の割合が37.3%、「徒歩」の割合が36.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車(自分で運転)」「電車」「路線バス」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「自動車(人に乗せてもらう)」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。

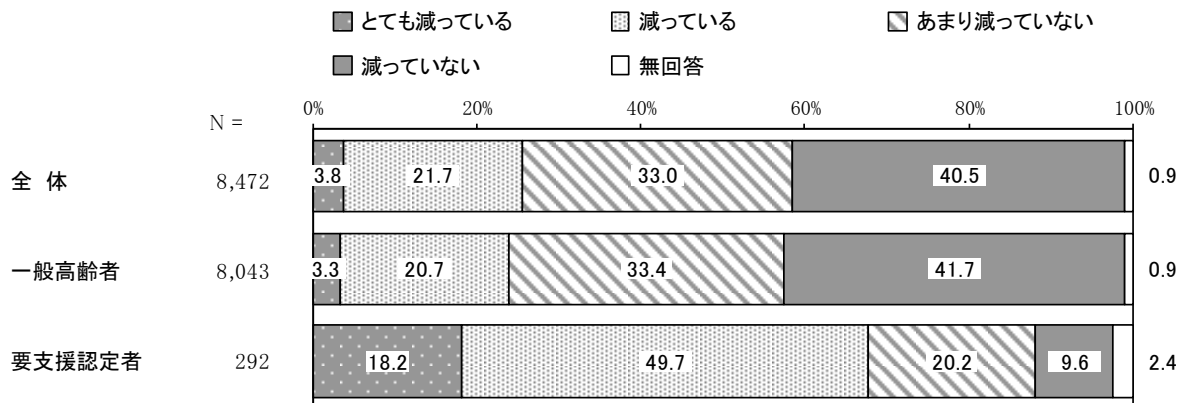


(8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

一般高齢者では、「減っていない」の割合が41.7%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が33.4%、「減っている」の割合が20.7%となっています。

要支援認定者では、「減っている」の割合が49.7%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が20.2%、「とても減っている」の割合が18.2%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』の割合は、一般高齢者で24.0%、要支援認定者で67.9%となっており、43.9ポイントの差となっています。

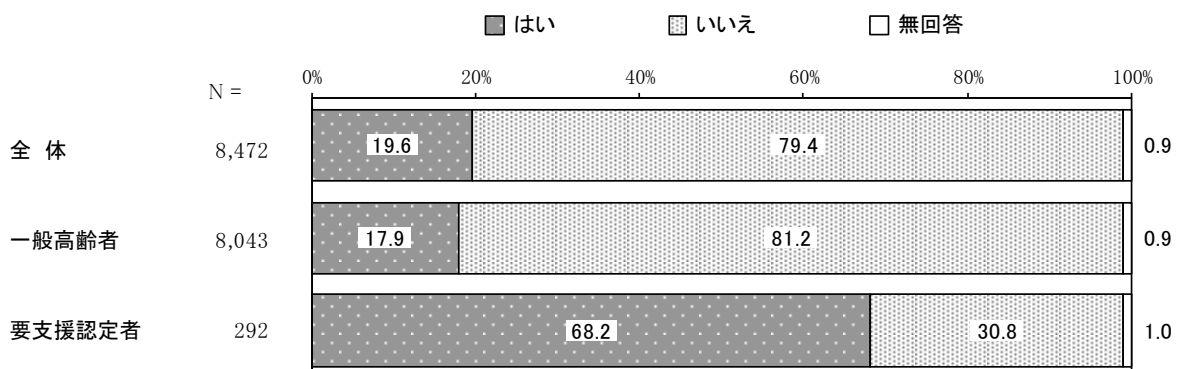


(9) 外出を控えていますか

一般高齢者では、「はい」の割合が17.9%、「いいえ」の割合が81.2%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が68.2%、「いいえ」の割合が30.8%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で17.9%、要支援認定者で68.2%となっており、50.3ポイントの差となっています。



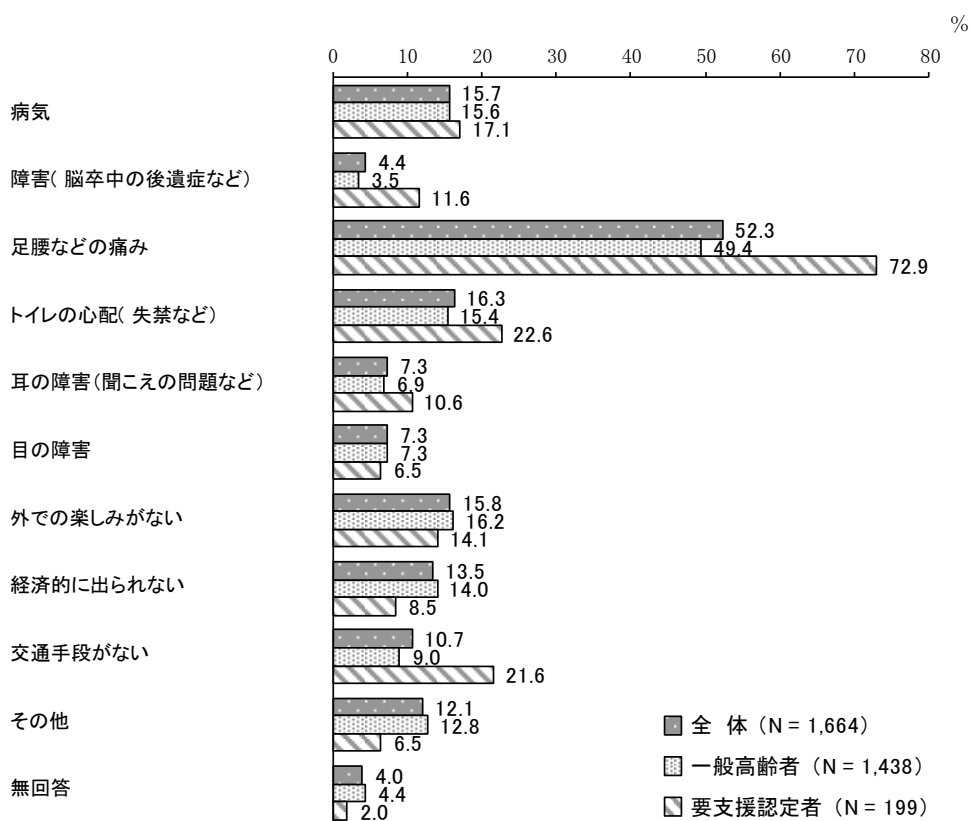
【(9) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

一般高齢者では、「足腰などの痛み」の割合が49.4%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」の割合が16.2%、「病気」の割合が15.6%となっています。

要支援認定者では、「足腰などの痛み」の割合が72.9%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」の割合が22.6%、「交通手段がない」の割合が21.6%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「経済的に出られない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「障害(脳卒中の後遺症など)」「足腰などの痛み」「トイレの心配(失禁など)」「交通手段がない」の割合が高くなっています。



問3 食べることについて

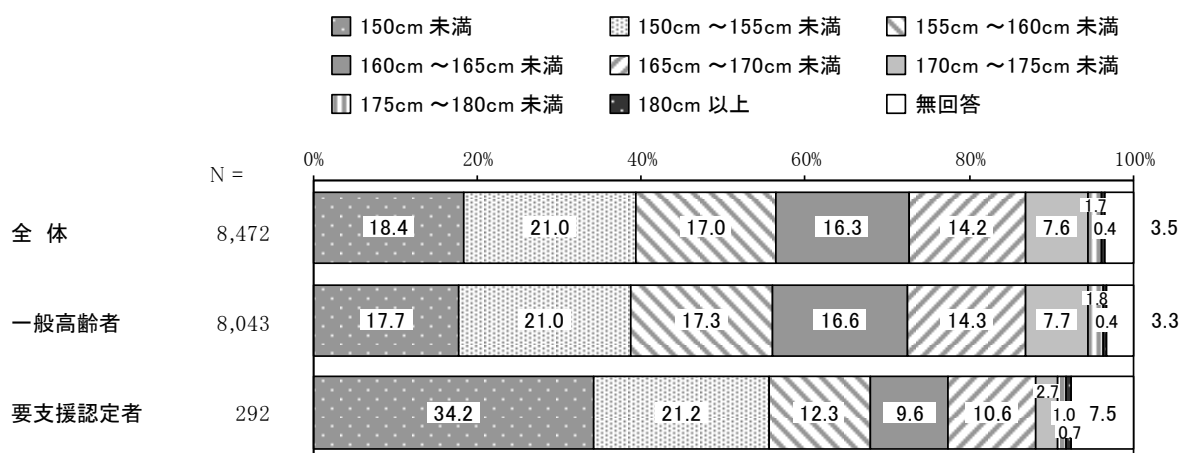
(1) 身長・体重

身長

一般高齢者では、「150cm～155cm未満」の割合が21.0%と最も高く、次いで「150cm未満」の割合が17.7%、「155cm～160cm未満」の割合が17.3%となっています。

要支援認定者では、「150cm未満」の割合が34.2%と最も高く、次いで「150cm～155cm未満」の割合が21.2%、「155cm～160cm未満」の割合が12.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「160cm～165cm未満」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「150cm未満」の割合が高くなっています。

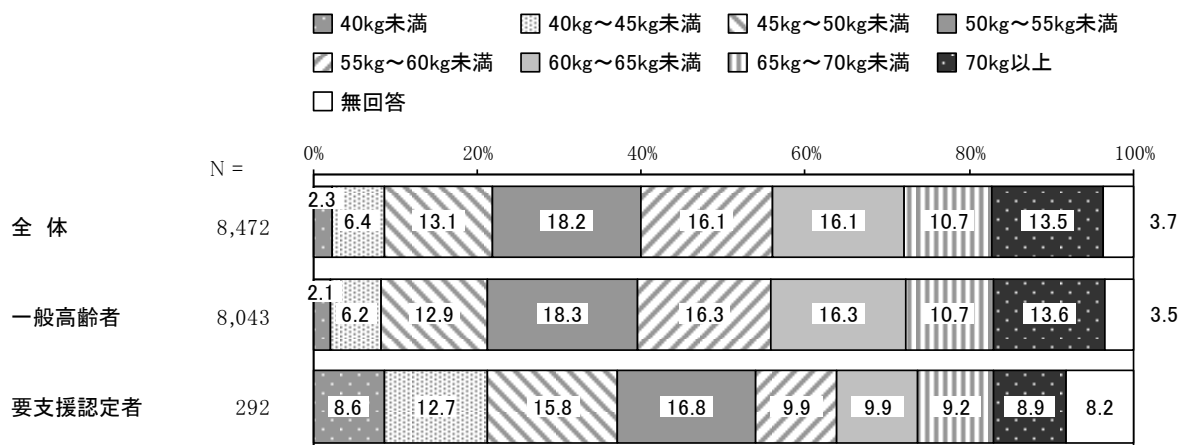


体重

一般高齢者では、「50kg～55kg未満」の割合が18.3%と最も高く、次いで「55kg～60kg未満」、「60kg～65kg未満」の割合が16.3%となっています。

要支援認定者では、「50kg～55kg未満」の割合が16.8%と最も高く、次いで「45kg～50kg未満」の割合が15.8%、「40kg～45kg未満」の割合が12.7%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「55kg～60kg未満」「60kg～65kg未満」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「40kg未満」「40kg～45kg未満」の割合が高くなっています。

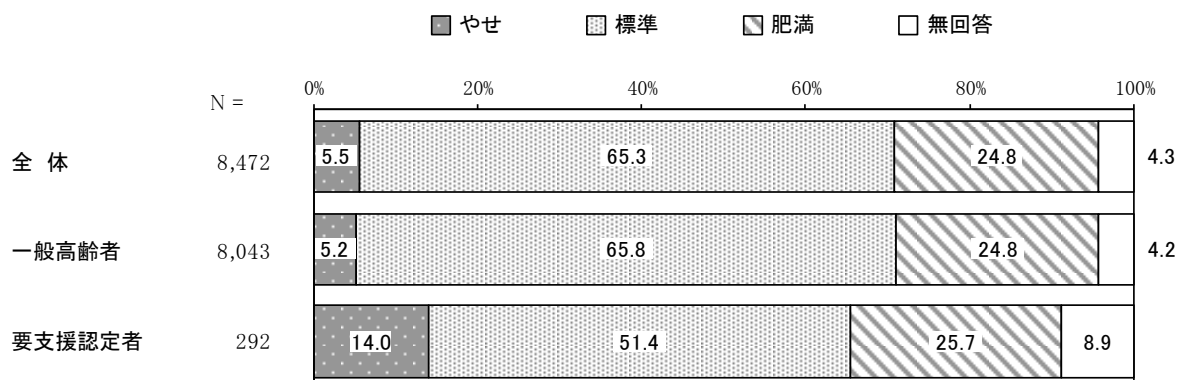


BMI

一般高齢者では、「標準」の割合が65.8%と最も高く、次いで「肥満」の割合が24.8%となっています。

要支援認定者では、「標準」の割合が51.4%と最も高く、次いで「肥満」の割合が25.7%、「やせ」の割合が14.0%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「やせ」の割合は、一般高齢者で5.2%、要支援認定者で14.0%、「標準」の割合は、一般高齢者で65.8%、要支援認定者で51.4%、「肥満」の割合は、一般高齢者で24.8%、要支援認定者で25.7%となっております。

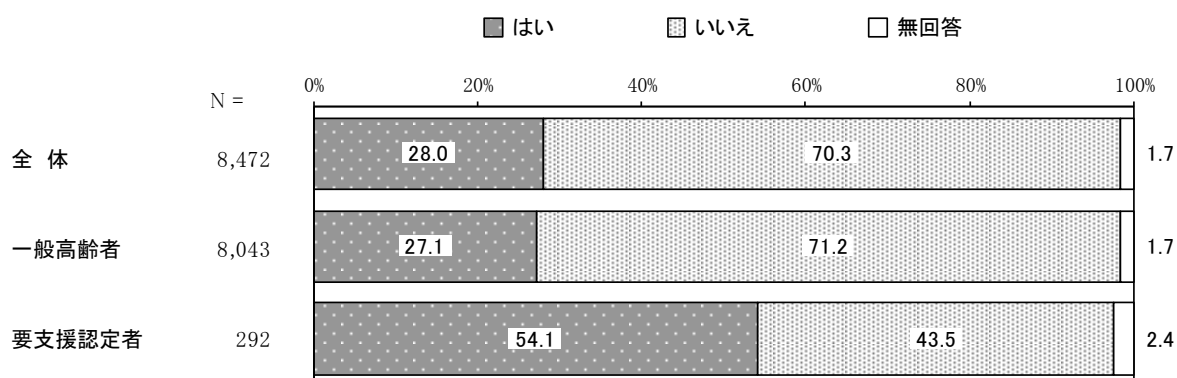


(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

一般高齢者では、「はい」の割合が27.1%、「いいえ」の割合が71.2%となっています。

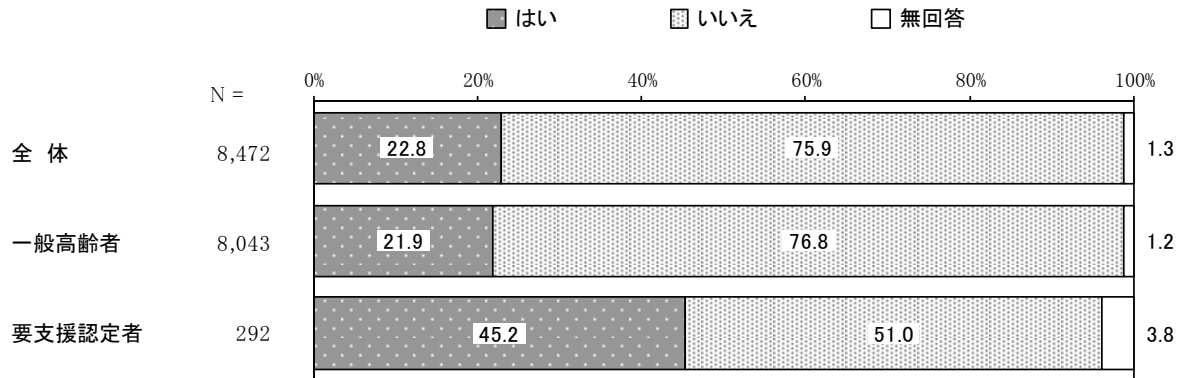
要支援認定者では、「はい」の割合が54.1%、「いいえ」の割合が43.5%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で27.1%、要支援認定者で54.1%となっており、27.0ポイントの差となっています。



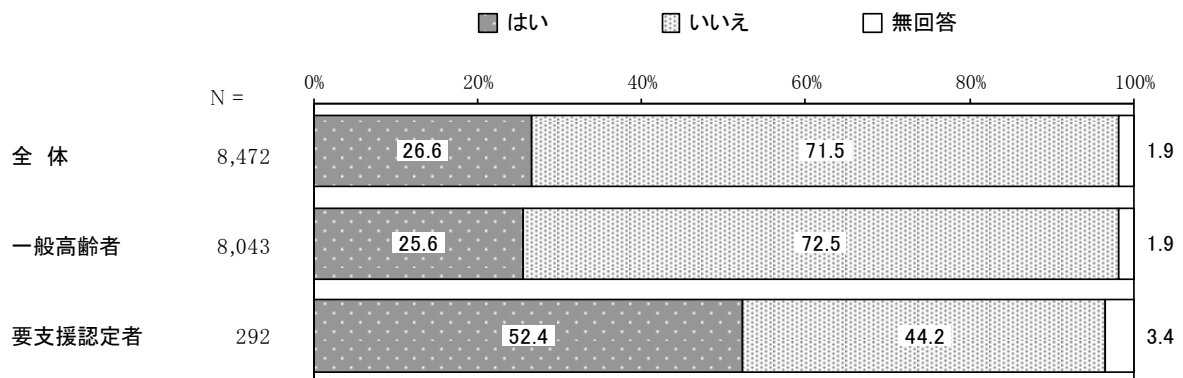
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

一般高齢者では、「はい」の割合が21.9%、「いいえ」の割合が76.8%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が45.2%、「いいえ」の割合が51.0%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で21.9%、要支援認定者で45.2%となっており、23.3ポイントの差となっています。



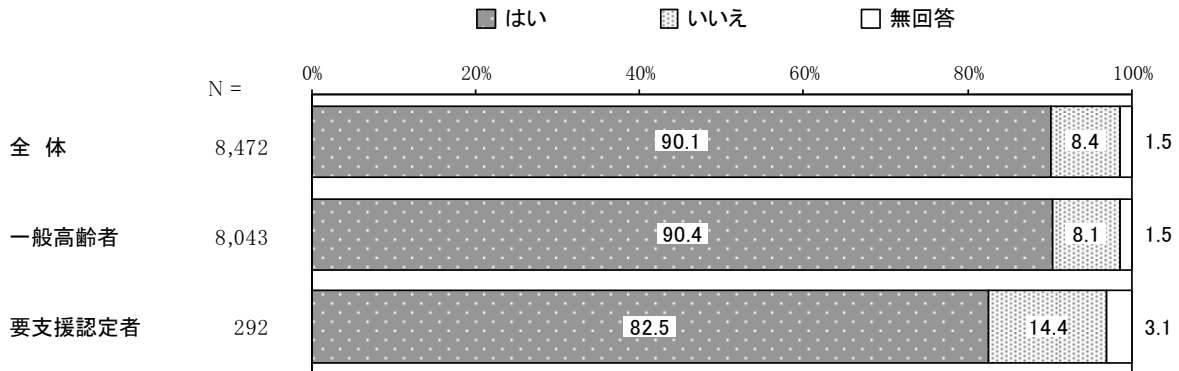
(4) 口の渇きが気になりますか

一般高齢者では、「はい」の割合が25.6%、「いいえ」の割合が72.5%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が52.4%、「いいえ」の割合が44.2%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で25.6%、要支援認定者で52.4%となっており、26.8ポイントの差となっています。



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

一般高齢者では、「はい」の割合が90.4%、「いいえ」の割合が8.1%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が82.5%、「いいえ」の割合が14.4%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で8.1%、要支援認定者で14.4%となっており、6.3ポイントの差となっています。

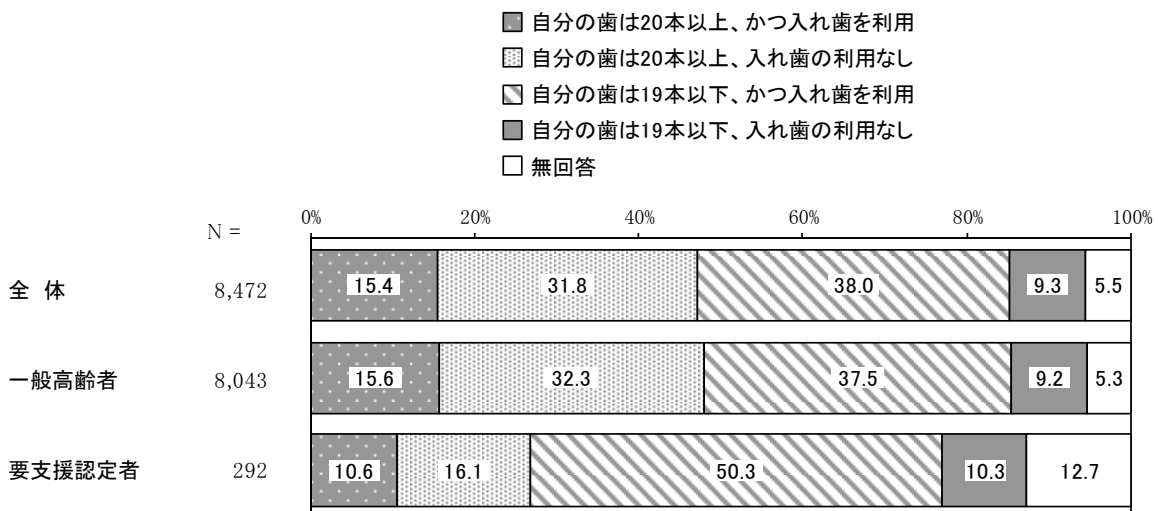


(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

一般高齢者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が37.5%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が32.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が15.6%となっています。

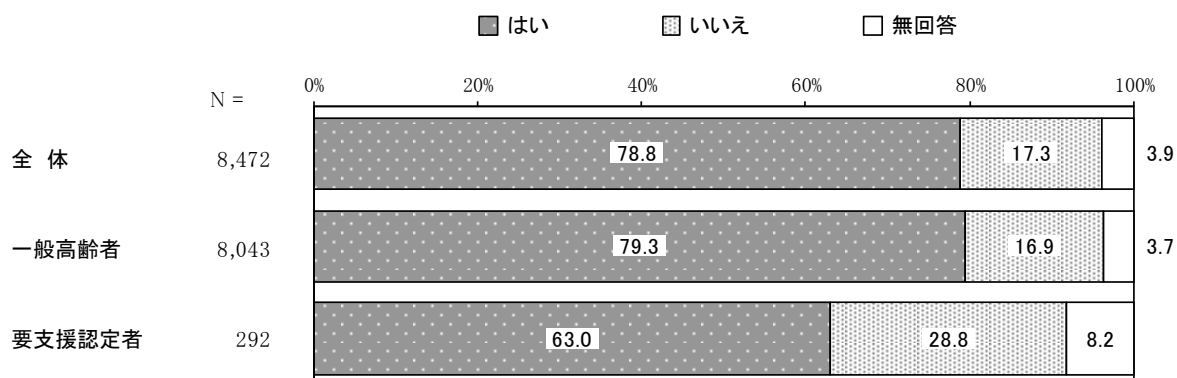
要支援認定者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が50.3%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が16.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が10.6%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は20本以上の人』の割合は、一般高齢者で47.9%、要支援認定者で26.7%となっており、21.2ポイントの差となっています。また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用している人』の割合は、一般高齢者で53.1%、要支援認定者で60.9%となっており、7.8ポイントの差となっています。



①噛み合わせは良いですか

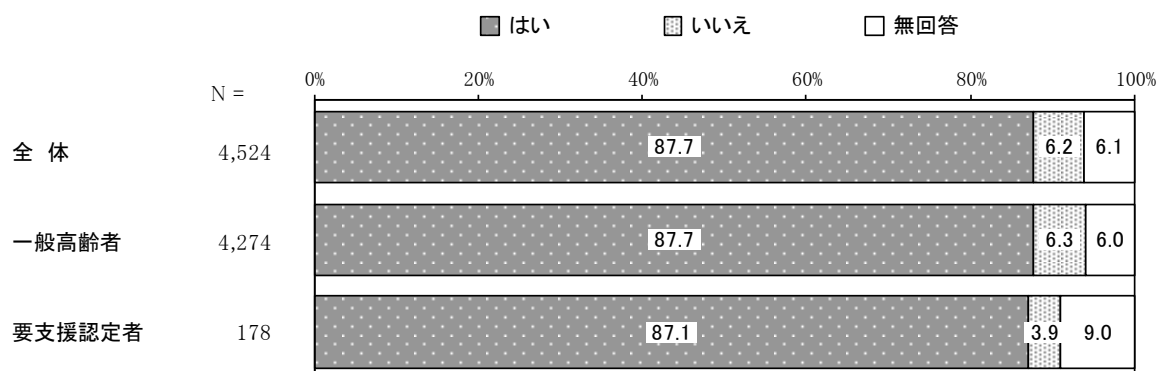
一般高齢者では、「はい」の割合が79.3%、「いいえ」の割合が16.9%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が63.0%、「いいえ」の割合が28.8%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で16.9%、要支援認定者で28.8%となっており、11.9ポイントの差となっています。



【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

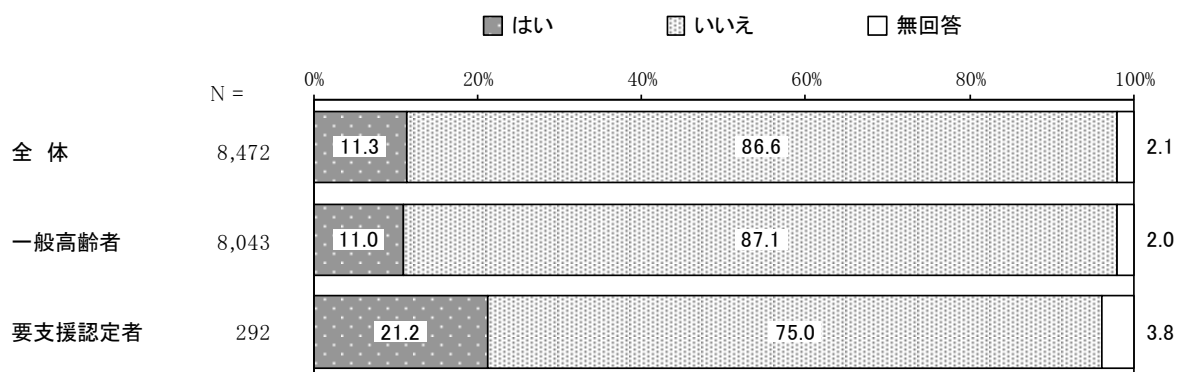
②毎日入れ歯の手入れをしていますか

一般高齢者では、「はい」の割合が87.7%、「いいえ」の割合が6.3%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が87.1%、「いいえ」の割合が3.9%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で6.3%、要支援認定者で3.9%となっており、2.4ポイントの差となっています。



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

一般高齢者では、「はい」の割合が11.0%、「いいえ」の割合が87.1%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が21.2%、「いいえ」の割合が75.0%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で11.0%、要支援認定者で21.2%となっており、10.2ポイントの差となっています。

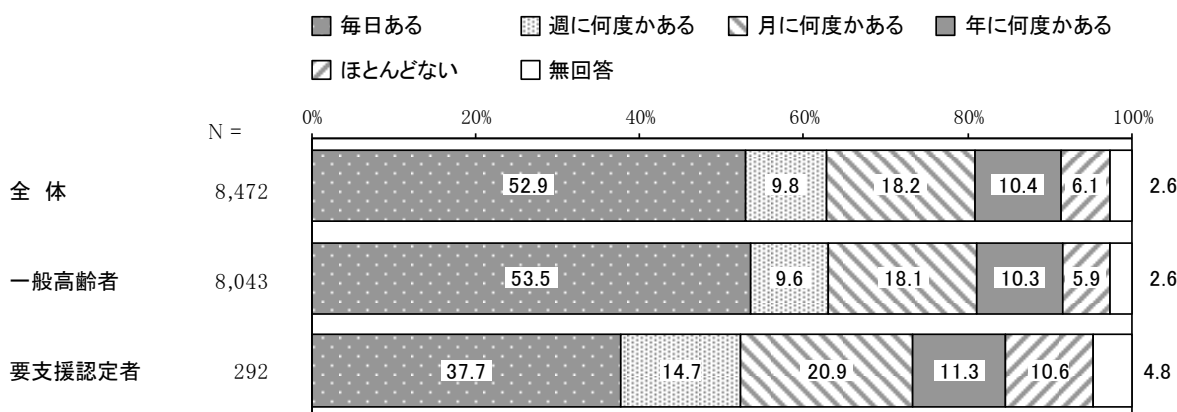


(8) どなたかと食事をとる機会がありますか

一般高齢者では、「毎日ある」の割合が53.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が18.1%、「年に何度かある」の割合が10.3%となっています。

要支援認定者では、「毎日ある」の割合が37.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が20.9%、「週に何度かある」の割合が14.7%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「毎日ある」の割合は、一般高齢者で53.5%、要支援認定者で37.7%となっており、15.8ポイントの差となっています。また、「ほとんどない」の割合は、一般高齢者で5.9%、要支援認定者で10.6%となっており、4.7ポイントの差となっています。



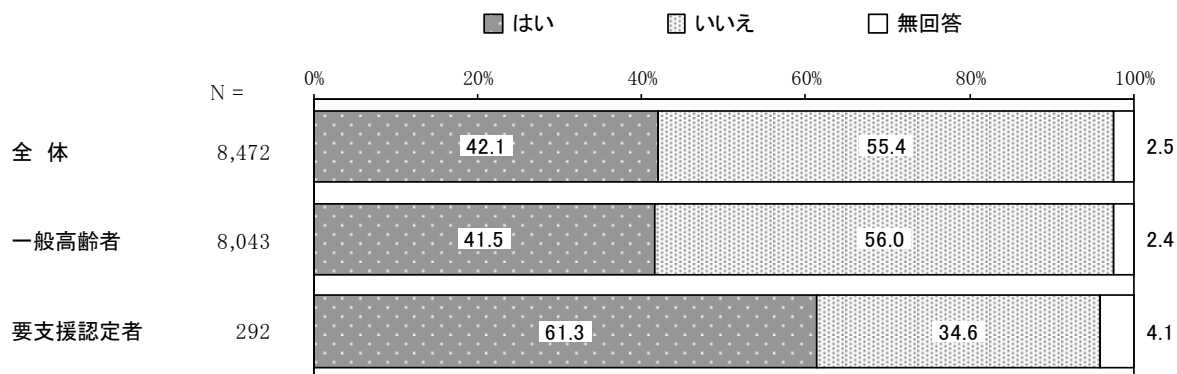
問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

一般高齢者では、「はい」の割合が41.5%、「いいえ」の割合が56.0%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が61.3%、「いいえ」の割合が34.6%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で41.5%、要支援認定者で61.3%となっており、19.8ポイントの差となっています。

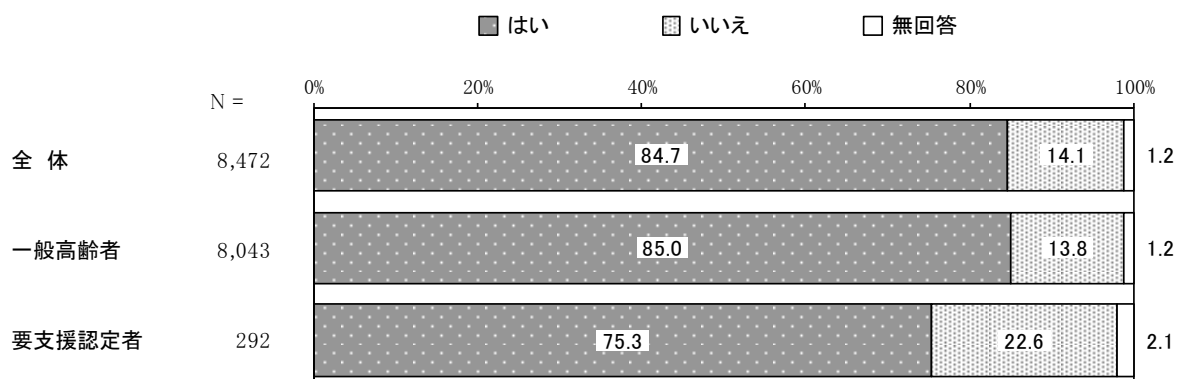


(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

一般高齢者では、「はい」の割合が85.0%、「いいえ」の割合が13.8%となっています。

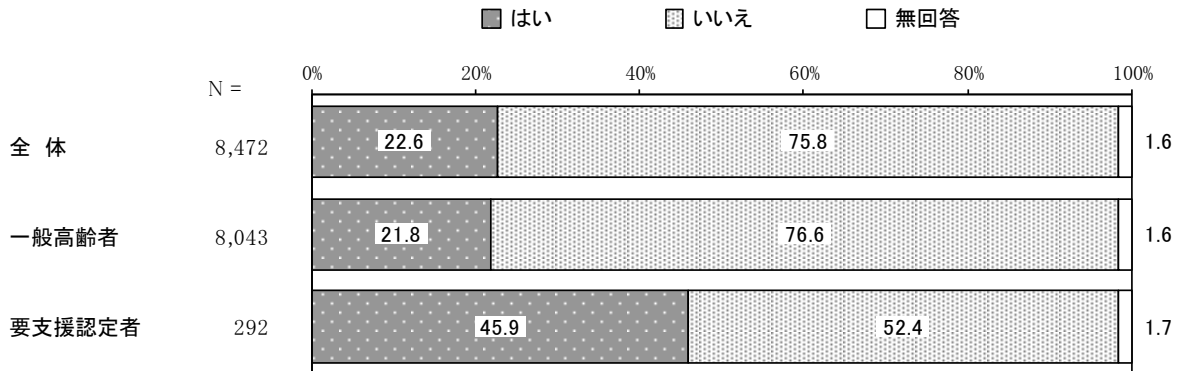
要支援認定者では、「はい」の割合が75.3%、「いいえ」の割合が22.6%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で13.8%、要支援認定者で22.6%となっており、8.8ポイントの差となっています。



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

一般高齢者では、「はい」の割合が21.8%、「いいえ」の割合が76.6%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が45.9%、「いいえ」の割合が52.4%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で21.8%、要支援認定者で45.9%となっており、24.1ポイントの差となっています。

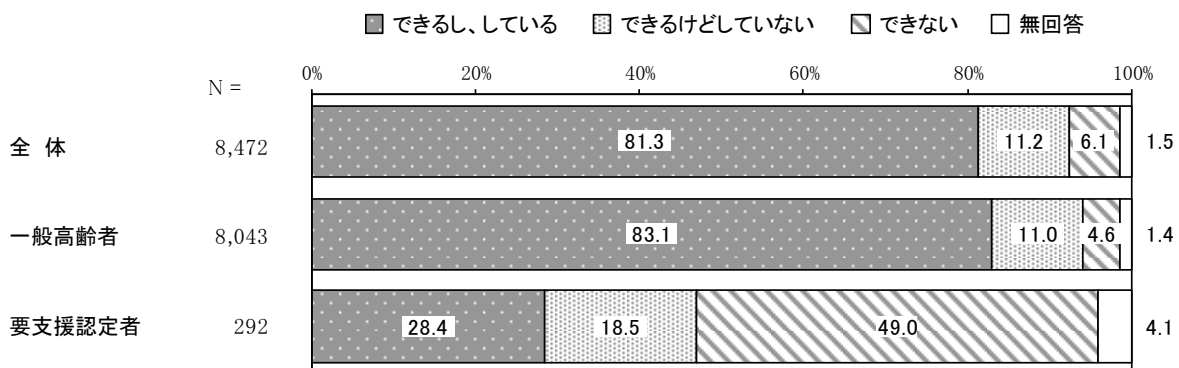


(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が83.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.0%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が49.0%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が28.4%、「できるけどしていない」の割合が18.5%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で4.6%、要支援認定者で49.0%となっており、44.4ポイントの差となっています。

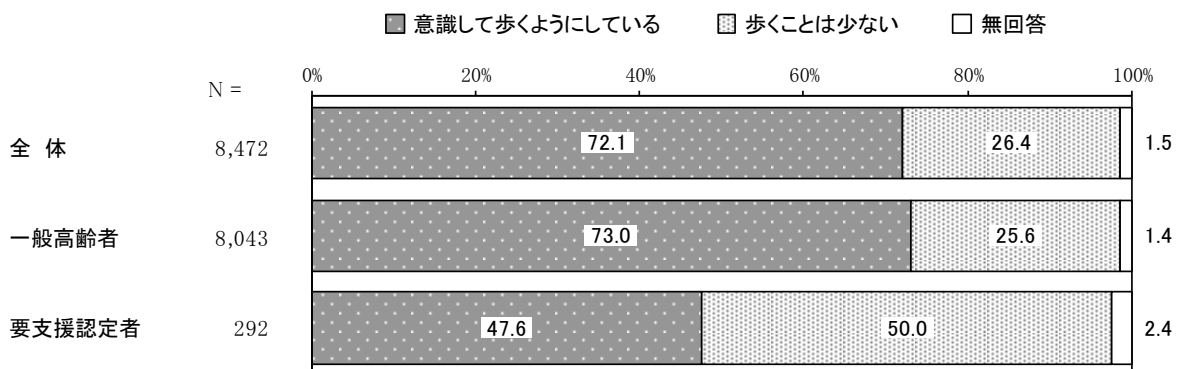


(5) 毎日の生活で、歩くことを心掛けていますか

一般高齢者では、「意識して歩くようにしている」の割合が73.0%、「歩くことは少ない」の割合が25.6%となっています。

要支援認定者では、「意識して歩くようにしている」の割合が47.6%、「歩くことは少ない」の割合が50.0%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「意識して歩くようにしている」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「歩くことは少ない」の割合が高くなっています。

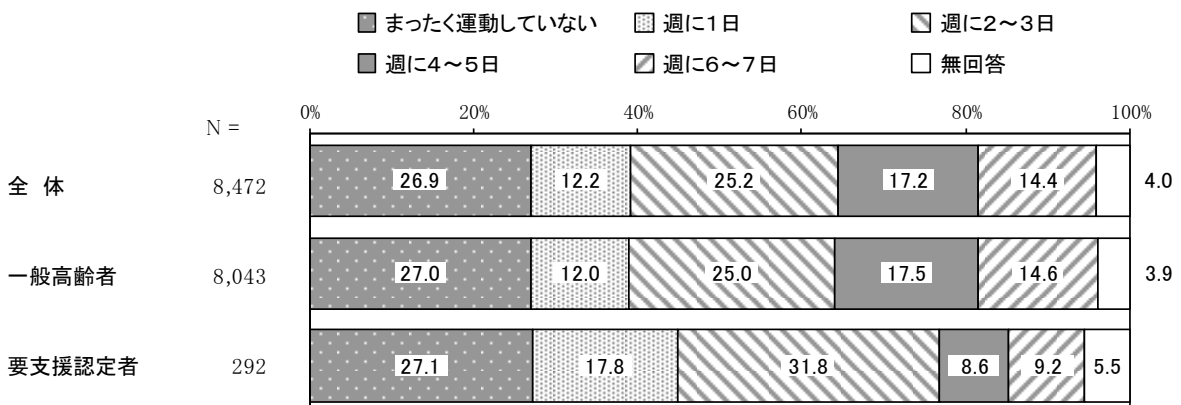


(6) 1週間に何日運動していますか

一般高齢者では、「まったく運動していない」の割合が27.0%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が25.0%、「週に4～5日」の割合が17.5%となっています。

要支援認定者では、「週に2～3日」の割合が31.8%と最も高く、次いで「まったく運動していない」の割合が27.1%、「週に1日」の割合が17.8%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「週に4～5日」「週に6～7日」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「週に1日」「週に2～3日」の割合が高くなっています。

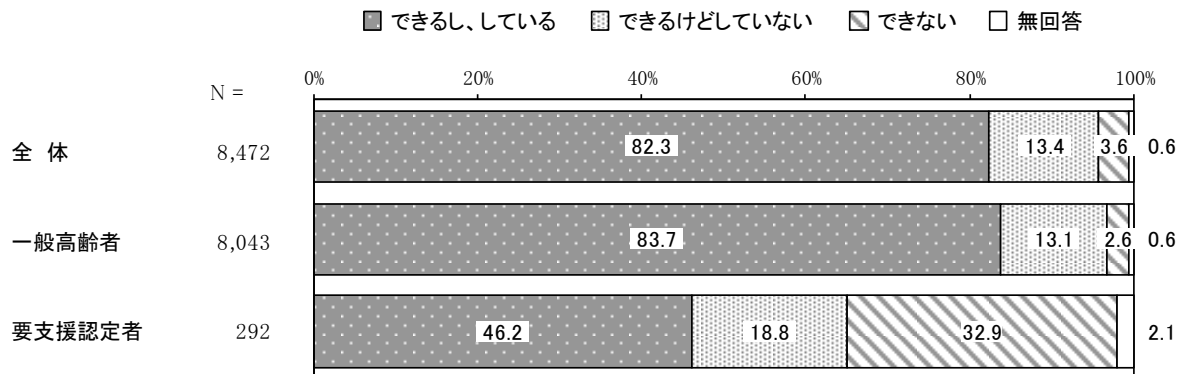


(7) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 83.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 13.1%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「できない」の割合が 32.9%、「できるけどしていない」の割合が 18.8%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で 2.6%、要支援認定者で 32.9%となっており、30.3ポイントの差となっています。



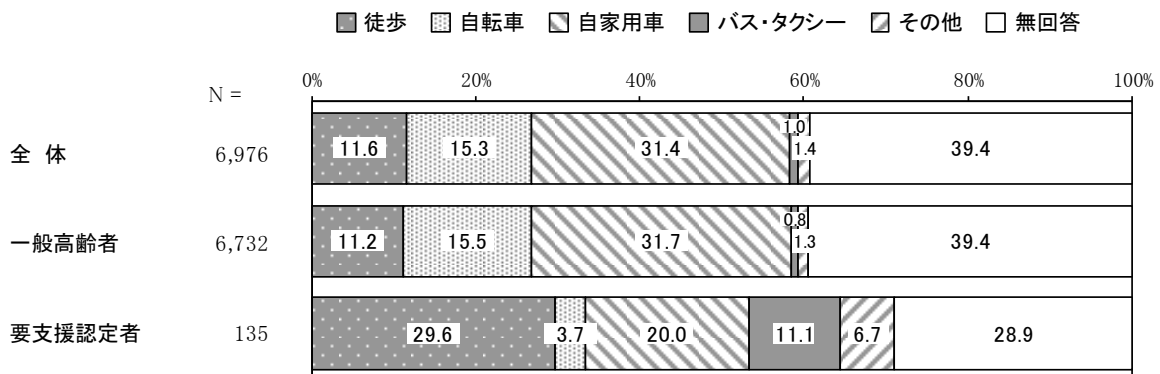
【(7) で「1. できるし、している」の方のみ】

①買物へ行く交通手段はなんですか

一般高齢者では、「自家用車」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「自転車」の割合が 15.5%、「徒歩」の割合が 11.2%となっています。

要支援認定者では、「徒歩」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「自家用車」の割合が 20.0%、「バス・タクシー」の割合が 11.1%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「自転車」「自家用車」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「徒歩」「バス・タクシー」の割合が高くなっています。



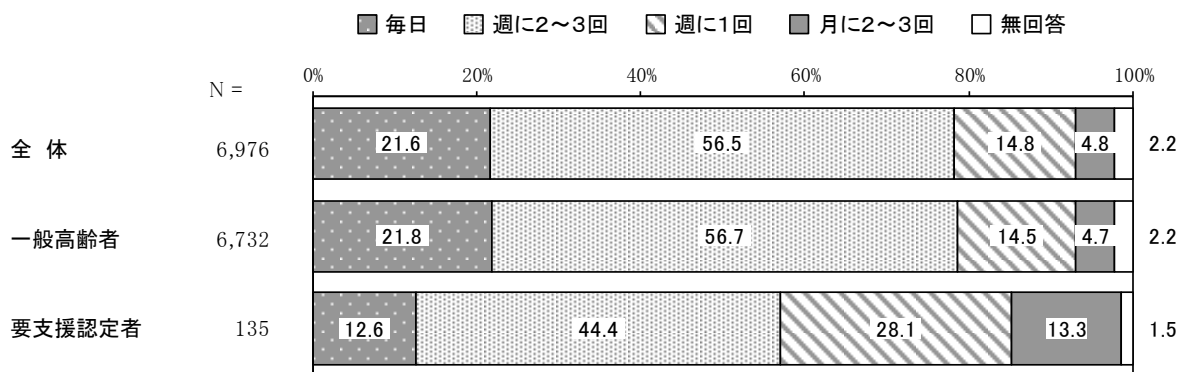
【(7) で「1. できるし、している」の方のみ】

②どのくらいの頻度で食料品を買いに行きますか

一般高齢者では、「週に2～3回」の割合が56.7%と最も高く、次いで「毎日」の割合が21.8%、「週に1回」の割合が14.5%となっています。

要支援認定者では、「週に2～3回」の割合が44.4%と最も高く、次いで「週に1回」の割合が28.1%、「月に2～3回」の割合が13.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「毎日」「週に2～3回」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「週に1回」「月に2～3回」の割合が高くなっています。

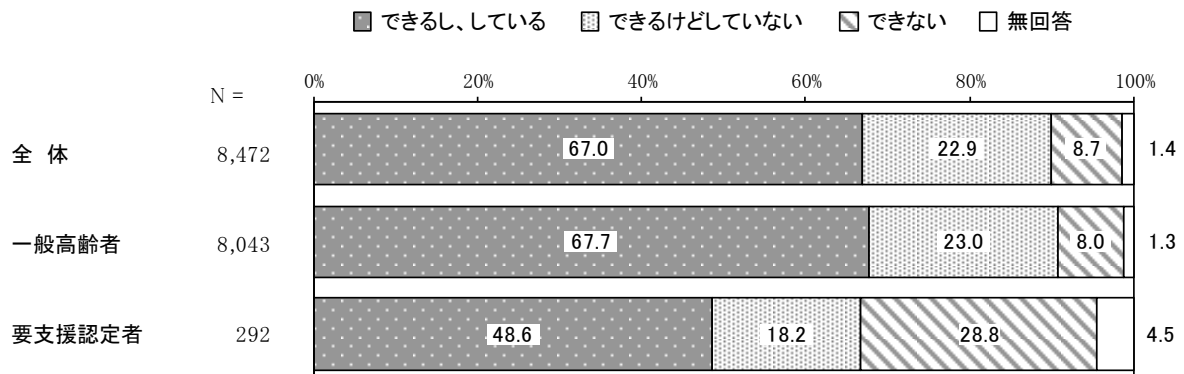


(8) 自分で食事の用意をしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が67.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が23.0%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が48.6%と最も高く、次いで「できない」の割合が28.8%、「できるけどしていない」の割合が18.2%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で8.0%、要支援認定者で28.8%となっており、20.8ポイントの差となっています。

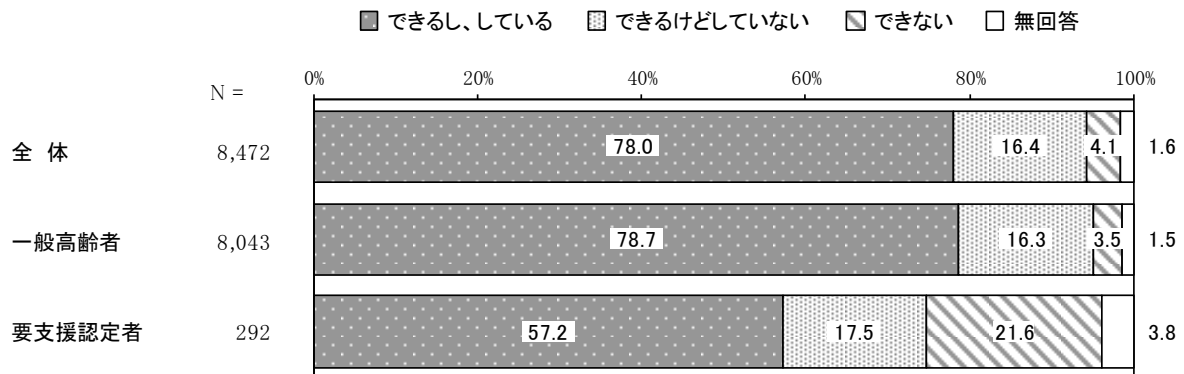


(9) 自分で請求書の支払いをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 16.3%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「できない」の割合が 21.6%、「できるけどしていない」の割合が 17.5%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で 3.5%、要支援認定者で 21.6%となっており、18.1ポイントの差となっています。

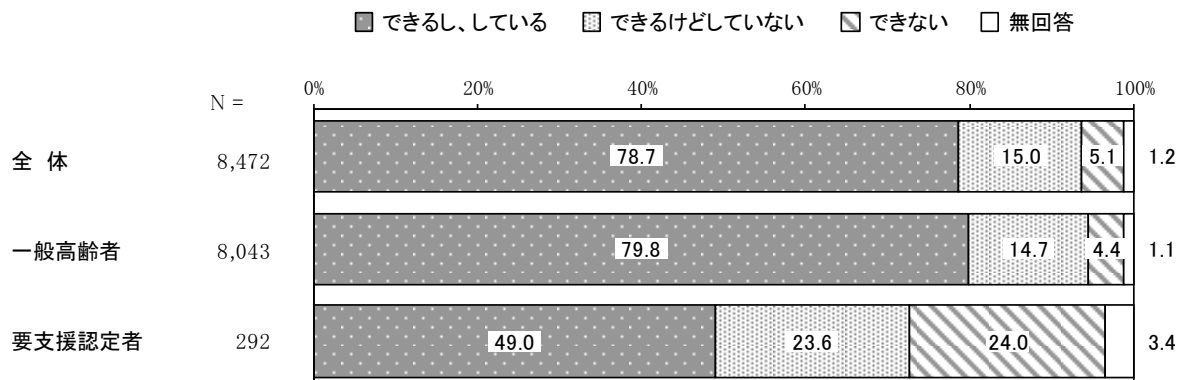


(10) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 79.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.7%となっています。

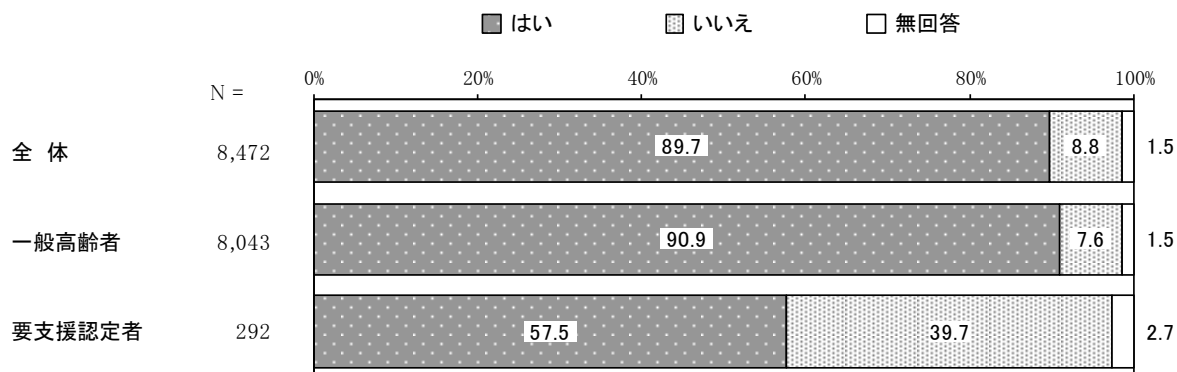
要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「できない」の割合が 24.0%、「できるけどしていない」の割合が 23.6%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「できない」の割合は、一般高齢者で 4.4%、要支援認定者で 24.0%となっており、19.6ポイントの差となっています。



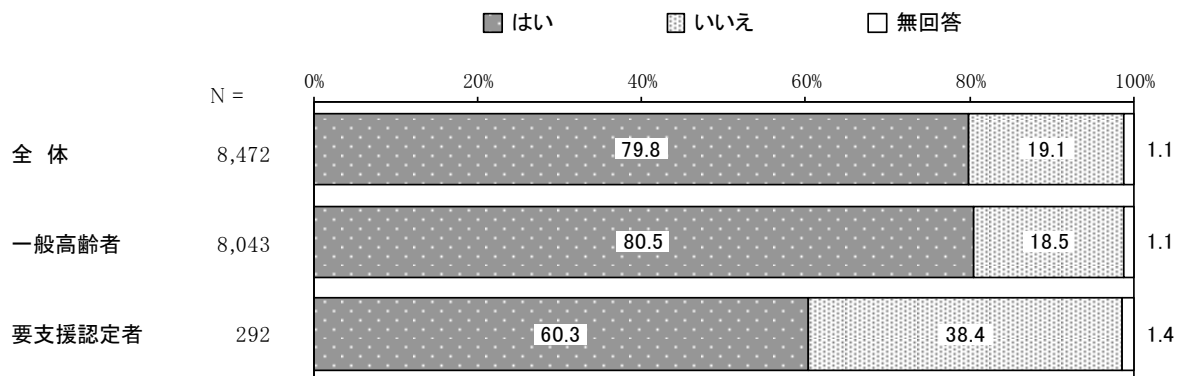
(11) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

一般高齢者では、「はい」の割合が90.9%、「いいえ」の割合が7.6%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が57.5%、「いいえ」の割合が39.7%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で7.6%、要支援認定者で39.7%となっており、32.1ポイントの差となっています。



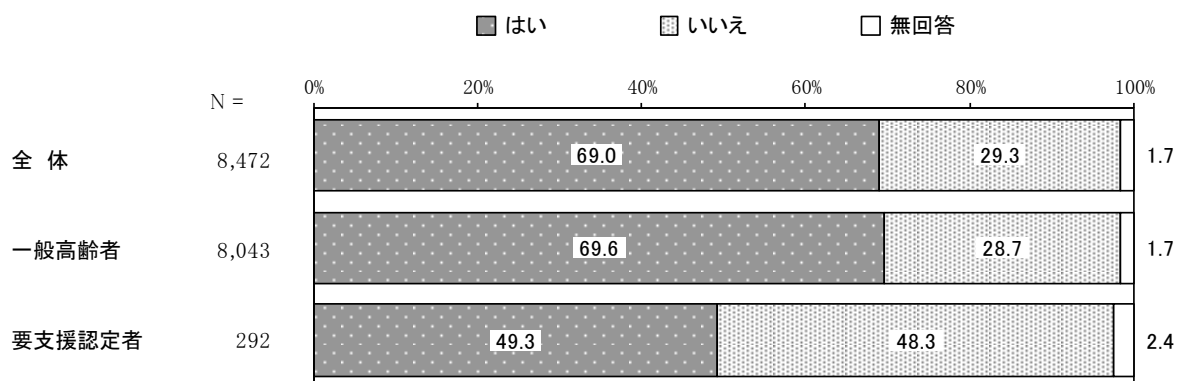
(12) 新聞を読んでいますか

一般高齢者では、「はい」の割合が80.5%、「いいえ」の割合が18.5%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が60.3%、「いいえ」の割合が38.4%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で18.5%、要支援認定者で38.4%となっており、19.9ポイントの差となっています。



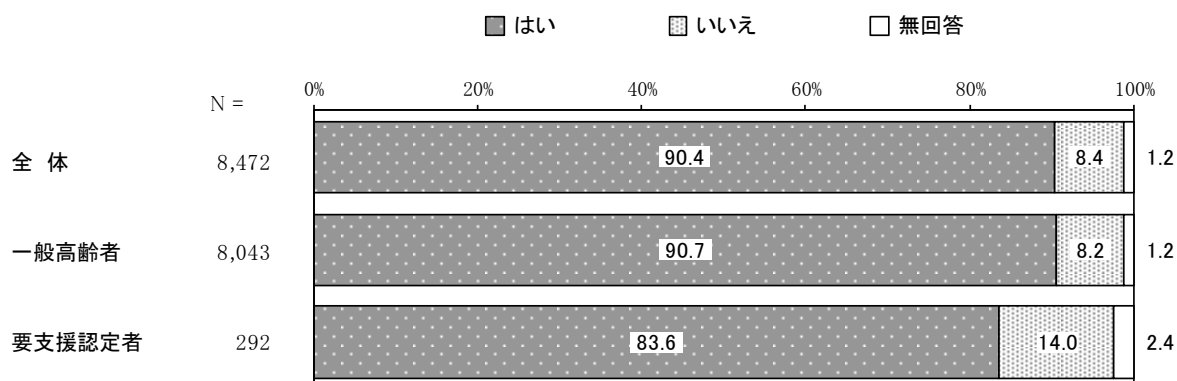
(13) 本や雑誌を読んでいますか

一般高齢者では、「はい」の割合が69.6%、「いいえ」の割合が28.7%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が49.3%、「いいえ」の割合が48.3%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で28.7%、要支援認定者で48.3%となっており、19.6ポイントの差となっています。



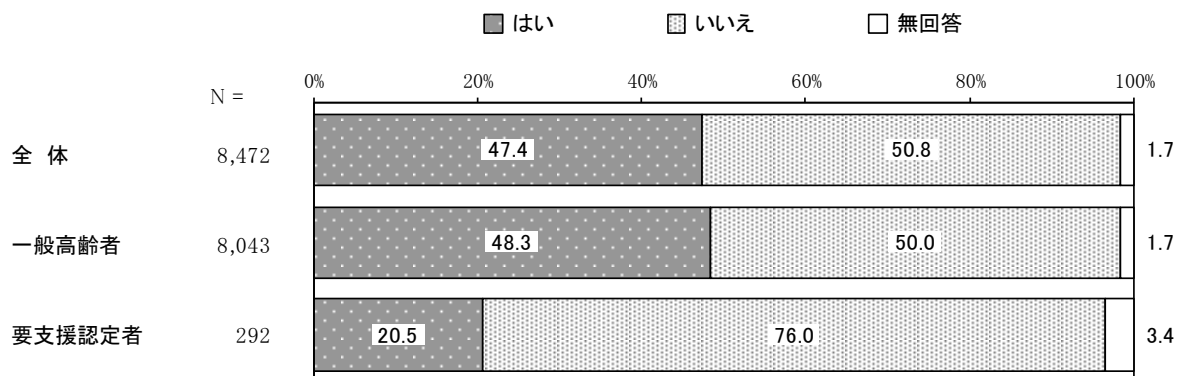
(14) 健康についての記事や番組に関心がありますか

一般高齢者では、「はい」の割合が90.7%、「いいえ」の割合が8.2%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が83.6%、「いいえ」の割合が14.0%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で8.2%、要支援認定者で14.0%となっており、5.8ポイントの差となっています。



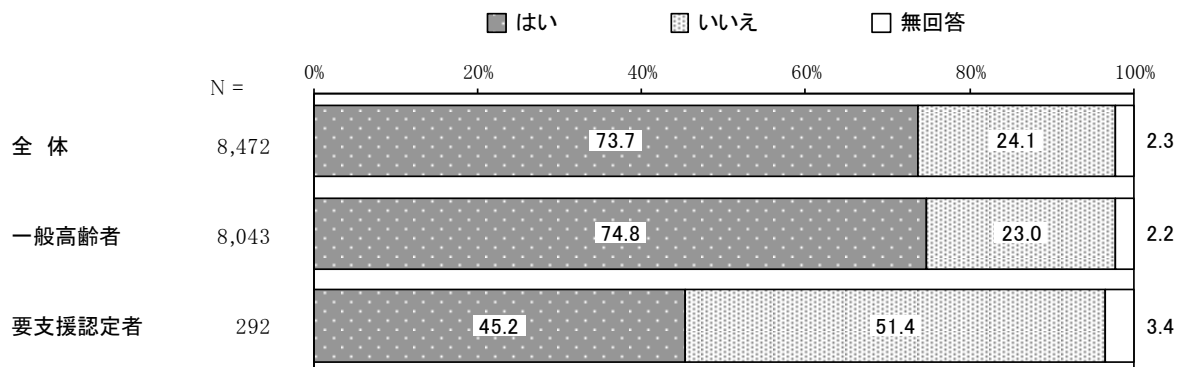
(15) 友人の家を訪ねていますか

一般高齢者では、「はい」の割合が48.3%、「いいえ」の割合が50.0%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が20.5%、「いいえ」の割合が76.0%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で50.0%、要支援認定者で76.0%となっており、26.0ポイントの差となっています。



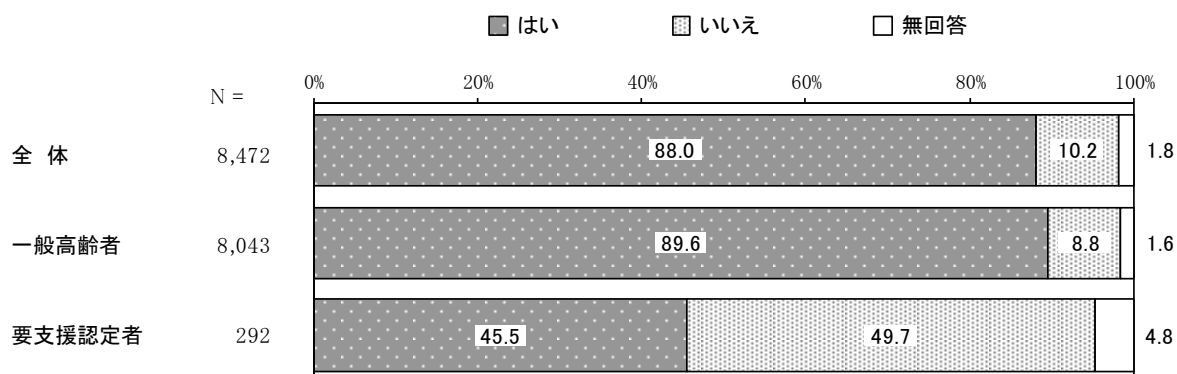
(16) 家族や友人の相談にのっていますか

一般高齢者では、「はい」の割合が74.8%、「いいえ」の割合が23.0%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が45.2%、「いいえ」の割合が51.4%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で23.0%、要支援認定者で51.4%となっており、28.4ポイントの差となっています。



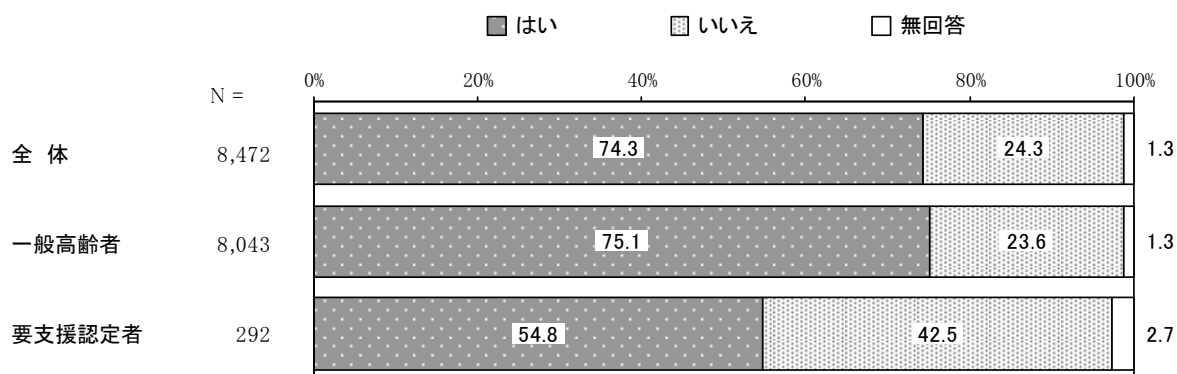
(17) 病人を見舞うことができますか

一般高齢者では、「はい」の割合が89.6%、「いいえ」の割合が8.8%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が45.5%、「いいえ」の割合が49.7%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で8.8%、要支援認定者で49.7%となっており、40.9ポイントの差となっています。



(18) 若い人に自分から話しかけることがありますか

一般高齢者では、「はい」の割合が75.1%、「いいえ」の割合が23.6%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が54.8%、「いいえ」の割合が42.5%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「いいえ」の割合は、一般高齢者で23.6%、要支援認定者で42.5%となっており、18.9ポイントの差となっています。

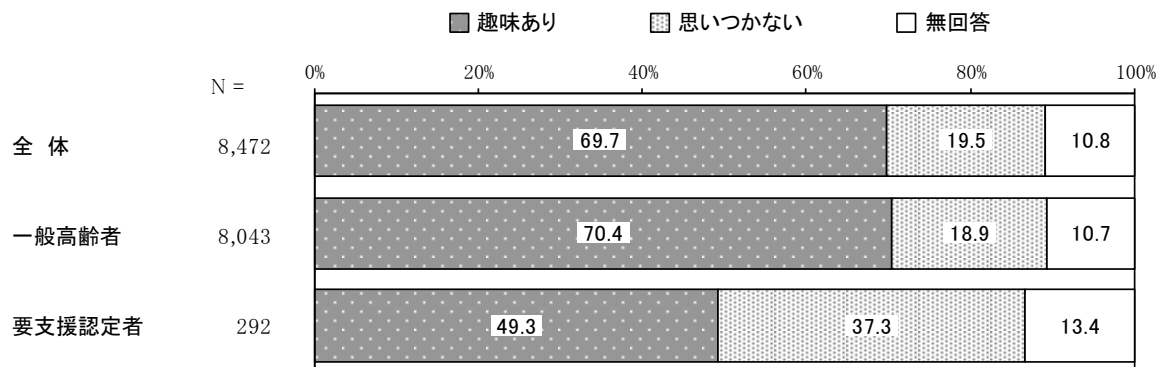


(19) 趣味はありますか

一般高齢者では、「趣味あり」の割合が70.4%、「思いつかない」の割合が18.9%となっています。

要支援認定者では、「趣味あり」の割合が49.3%、「思いつかない」の割合が37.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「趣味あり」の割合は、一般高齢者で70.4%、要支援認定者で49.3%となっており、21.1ポイントの差となっています。

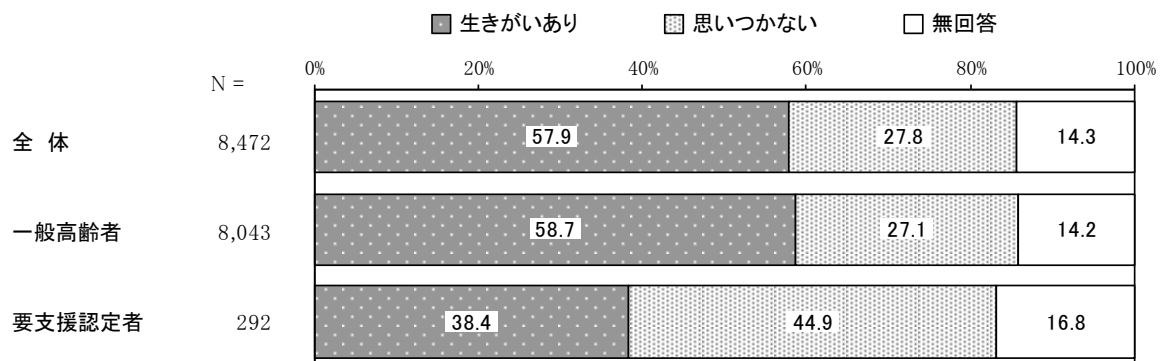


(20) 生きがいがありますか

一般高齢者では、「生きがいあり」の割合が58.7%、「思いつかない」の割合が27.1%となっています。

要支援認定者では、「生きがいあり」の割合が38.4%、「思いつかない」の割合が44.9%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「生きがいあり」の割合は、一般高齢者で58.7%、要支援認定者で38.4%となっており、20.3ポイントの差となっています。



問5 地域での活動について

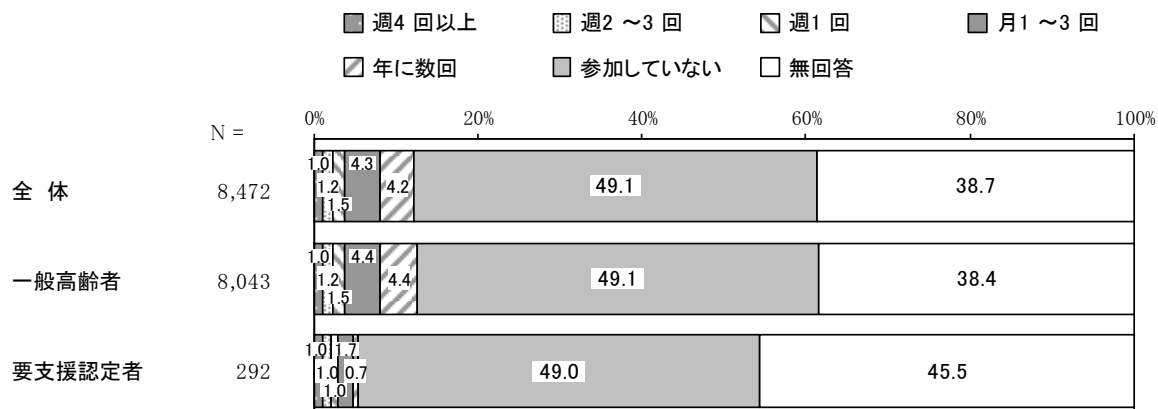
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑦それぞれに回答してください

① ボランティアのグループ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が49.1%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が49.0%と最も高くなっています。

要介護認定の有無別でみると、「参加していない」の割合は、一般高齢者で49.1%、要支援認定者で49.0%となっており、0.1ポイントの差となっています。

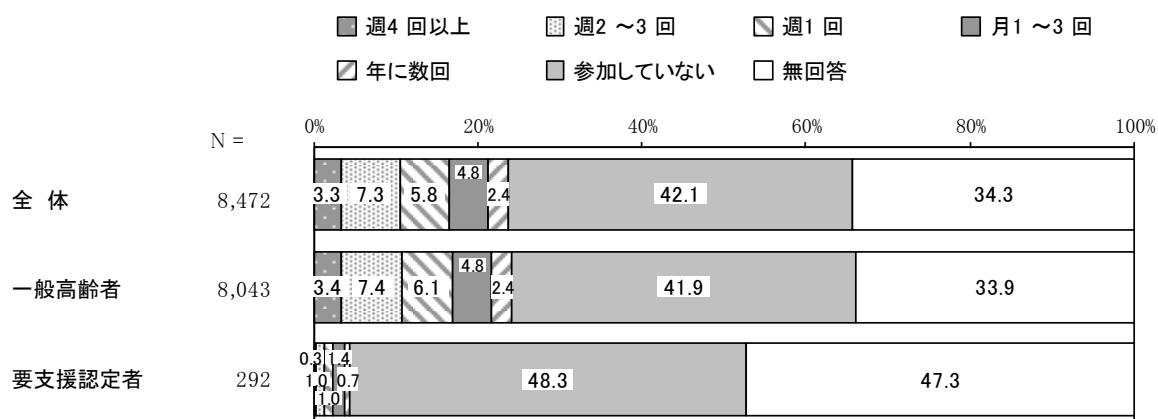


② スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が41.9%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が48.3%と最も高くなっています。

要介護認定の有無別でみると、「参加していない」の割合は、一般高齢者で41.9%、要支援認定者で48.3%となっており、6.4ポイントの差となっています。

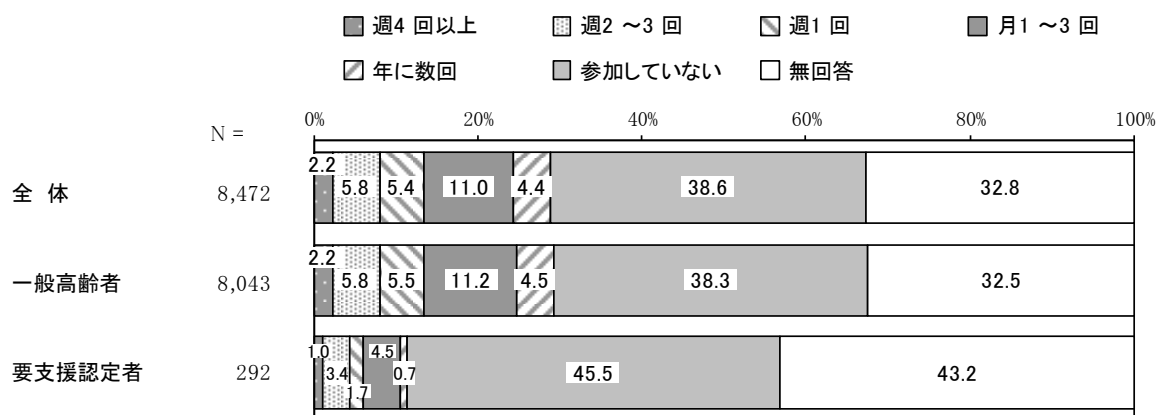


③ 趣味関係のグループ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が38.3%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が11.2%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が45.5%と最も高くなっています。

要介護認定の有無別でみると、「参加していない」の割合は、一般高齢者で38.3%、要支援認定者で45.5%となっており、7.2ポイントの差となっています。

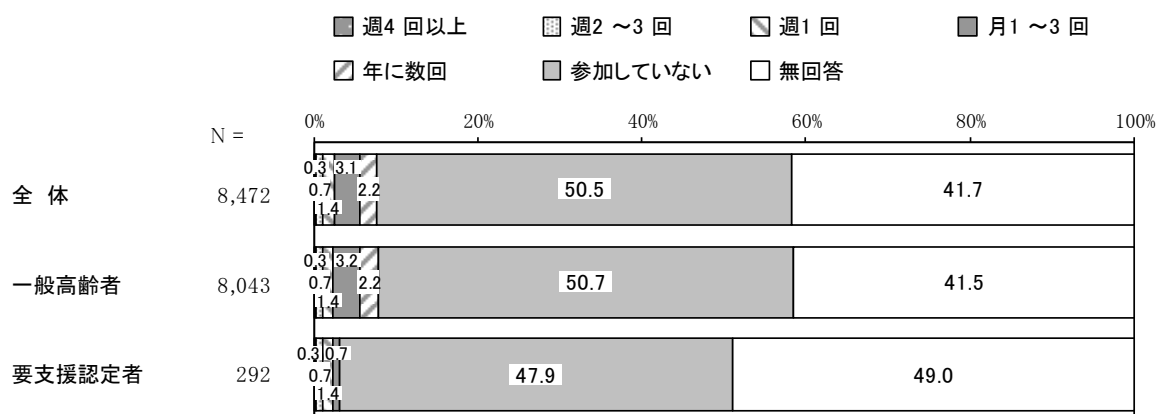


④ 学習・教養サークル

一般高齢者では、「参加していない」の割合が50.7%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が47.9%と最も高くなっています。

要介護認定の有無別でみると、「参加していない」の割合は、一般高齢者で50.7%、要支援認定者で47.9%となっており、2.8ポイントの差となっています。

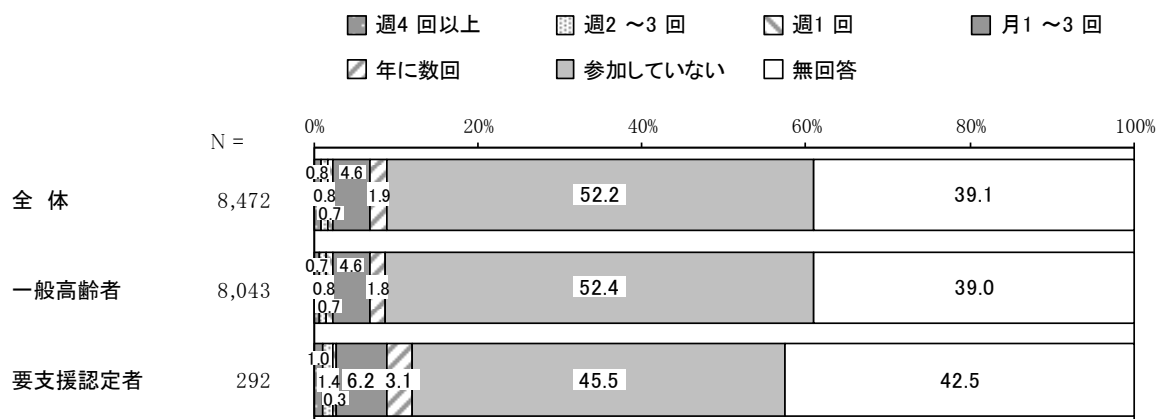


⑤ 老人クラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 52.4%と最も高くなっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 45.5%と最も高くなっています。

要介護認定の有無別でみると、「参加していない」の割合は、一般高齢者で 52.4%、要支援認定者で 45.5%となっており、6.9 ポイントの差となっています。

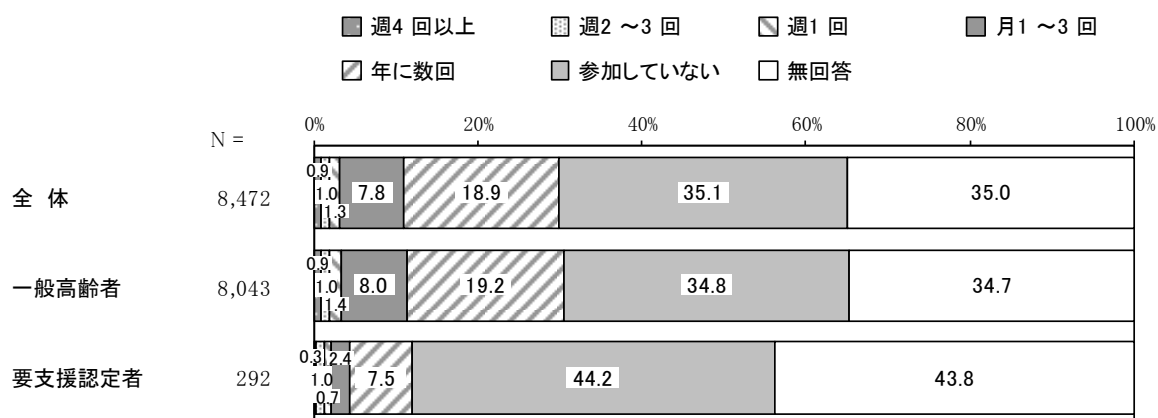


⑥ 町内会・自治会

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 19.2%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 44.2%と最も高くなっています。

要介護認定の有無別でみると、「参加していない」の割合は、一般高齢者で 34.8%、要支援認定者で 44.2%となっており、9.4 ポイントの差となっています。

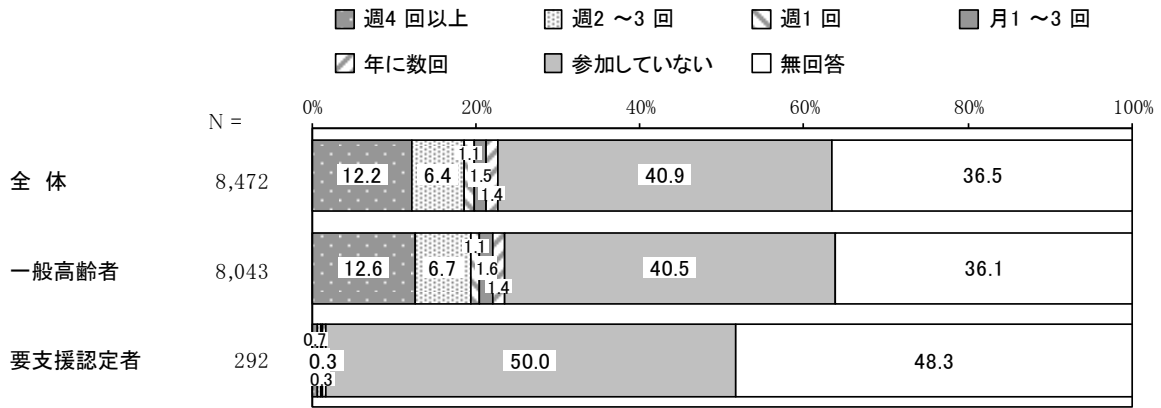


⑦ 収入のある仕事

一般高齢者では、「参加していない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が12.6%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が50.0%と最も高くなっています。

要介護認定の有無別でみると、「参加していない」の割合は、一般高齢者で40.5%、要支援認定者で50.0%となっており、9.5ポイントの差となっています。

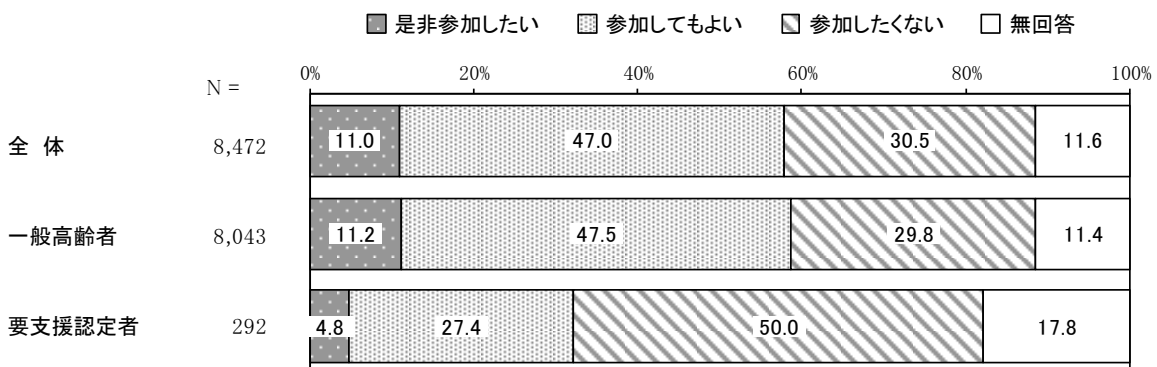


(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が47.5%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が29.8%、「是非参加したい」の割合が11.2%となっています。

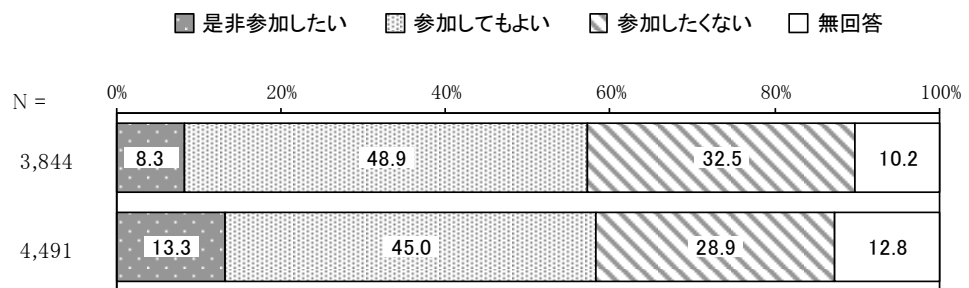
要支援認定者では、「参加したくない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が27.4%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加してみたいと思う人』の割合は、一般高齢者で58.7%、要支援認定者で32.2%となっており、26.5ポイントの差となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「是非参加したい」の割合が高くなっています。

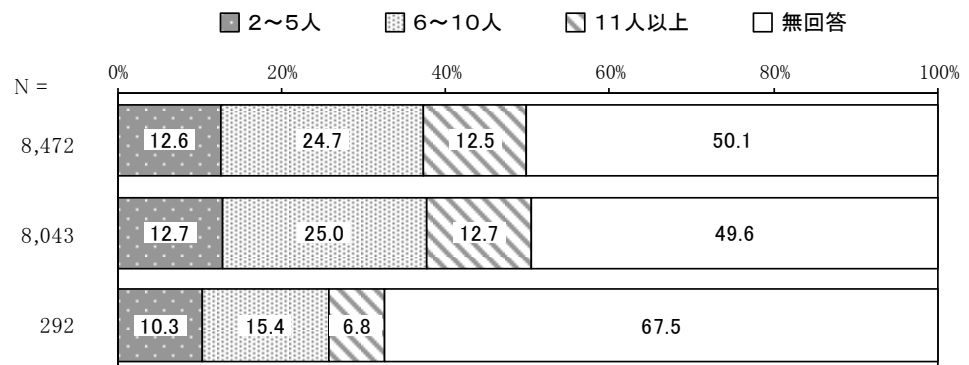


（４）何人ぐらいでグループ活動を行いたいですか

一般高齢者では、「6～10人」の割合が25.0%と最も高く、次いで「2～5人」、「11人以上」の割合が12.7%となっています。

要支援認定者では、「6～10人」の割合が15.4%と最も高く、次いで「2～5人」の割合が10.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「6～10人」「11人以上」の割合が高くなっています。

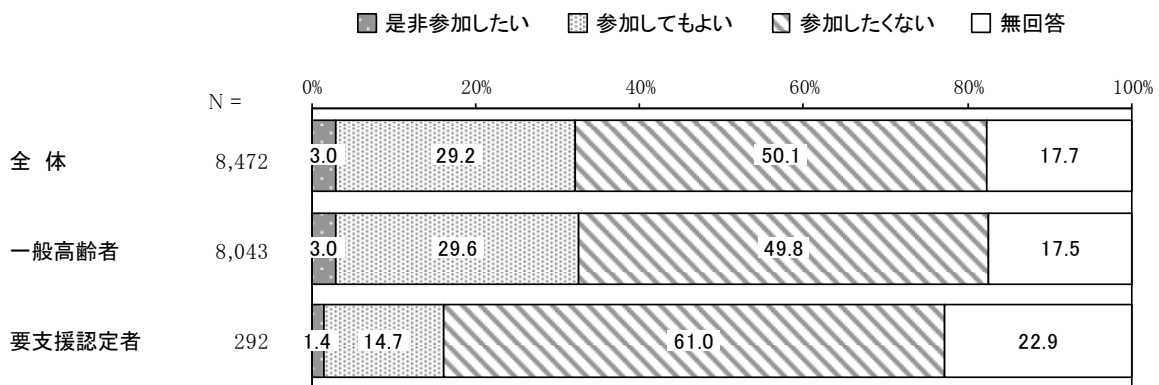


(5) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が49.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が29.6%となっています。

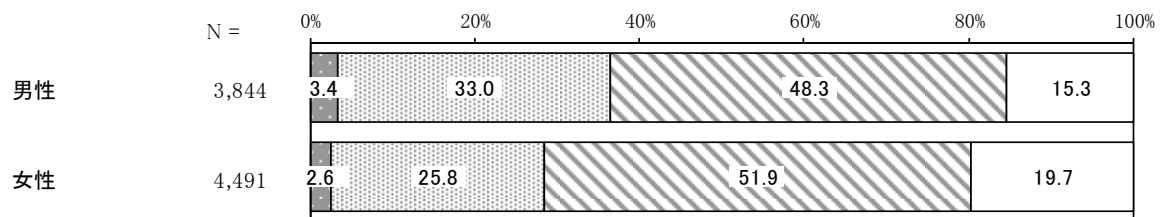
要支援認定者では、「参加したくない」の割合が61.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が14.7%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加してもよい」の割合が高くなっています。



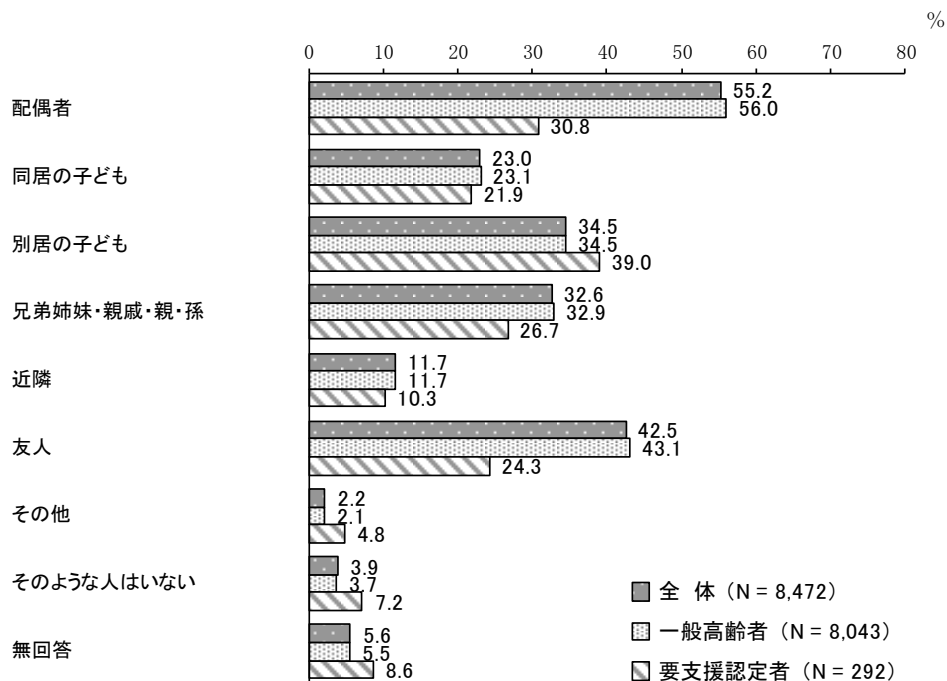
問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」の割合が56.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.1%、「別居の子ども」の割合が34.5%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が39.0%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が30.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が26.7%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。

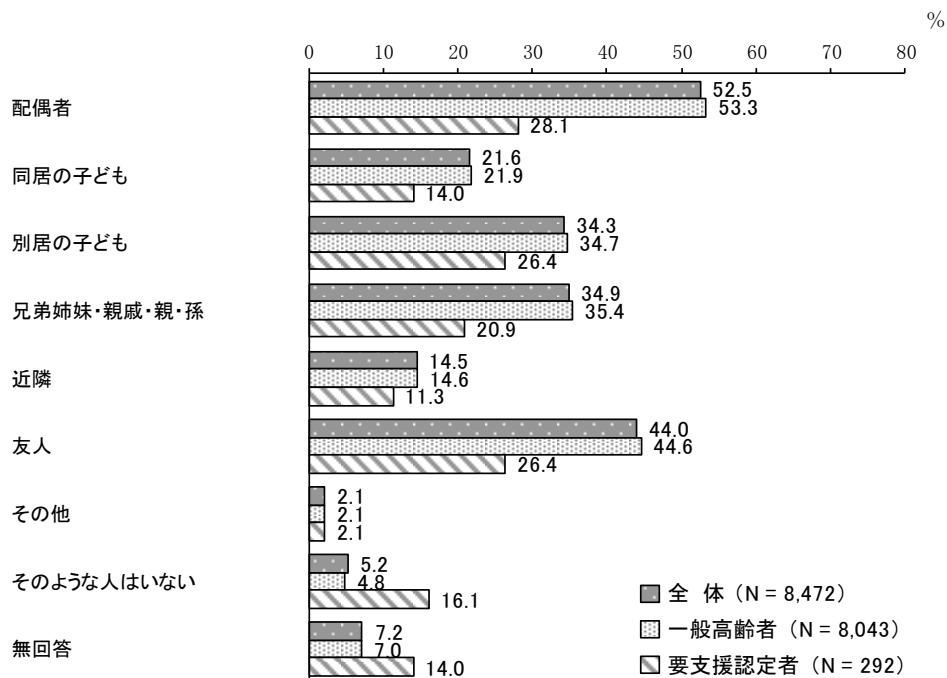


(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が53.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が44.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が35.4%となっています。

要支援認定者では、「配偶者」の割合が28.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」、「友人」の割合が26.4%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

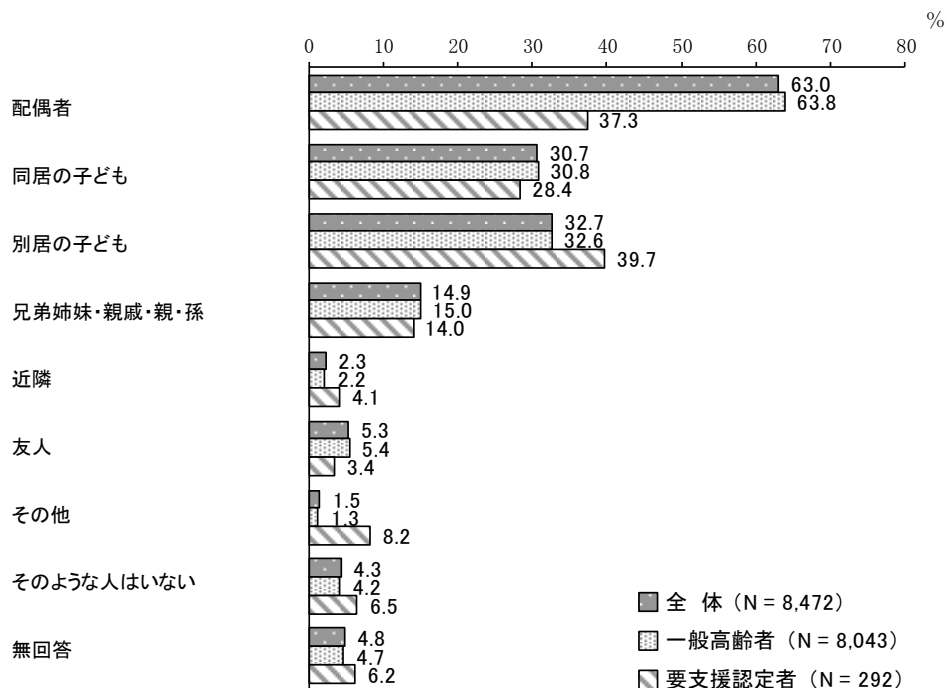


(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が63.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が32.6%、「同居の子ども」の割合が30.8%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が39.7%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が37.3%、「同居の子ども」の割合が28.4%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「別居の子ども」の割合が高くなっています。

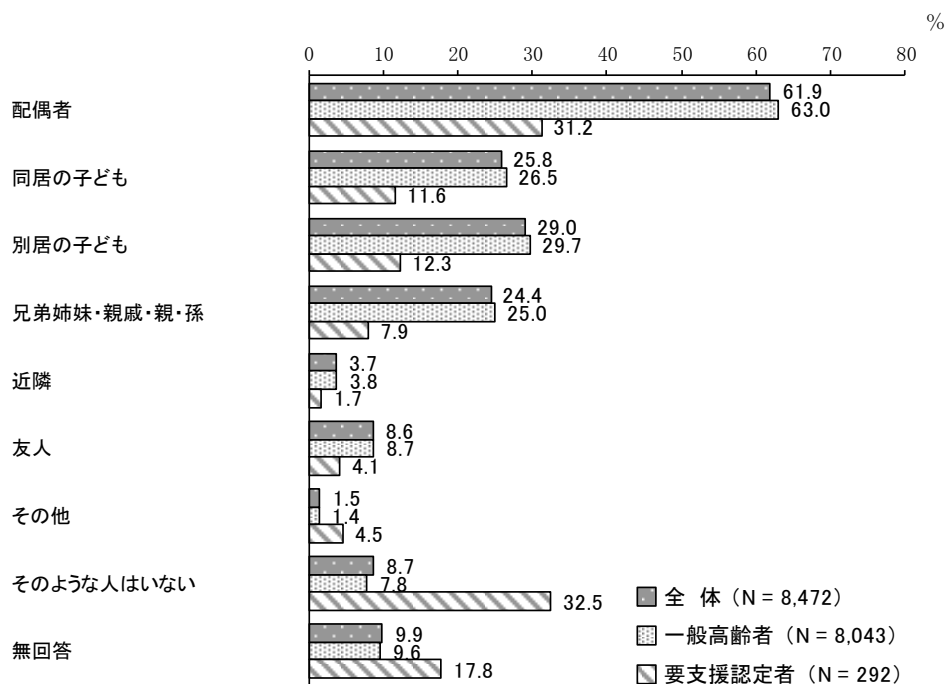


(4) 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が63.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が29.7%、「同居の子ども」の割合が26.5%となっています。

要支援認定者では、「そのような人はいない」の割合が32.5%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が31.2%、「別居の子ども」の割合が12.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

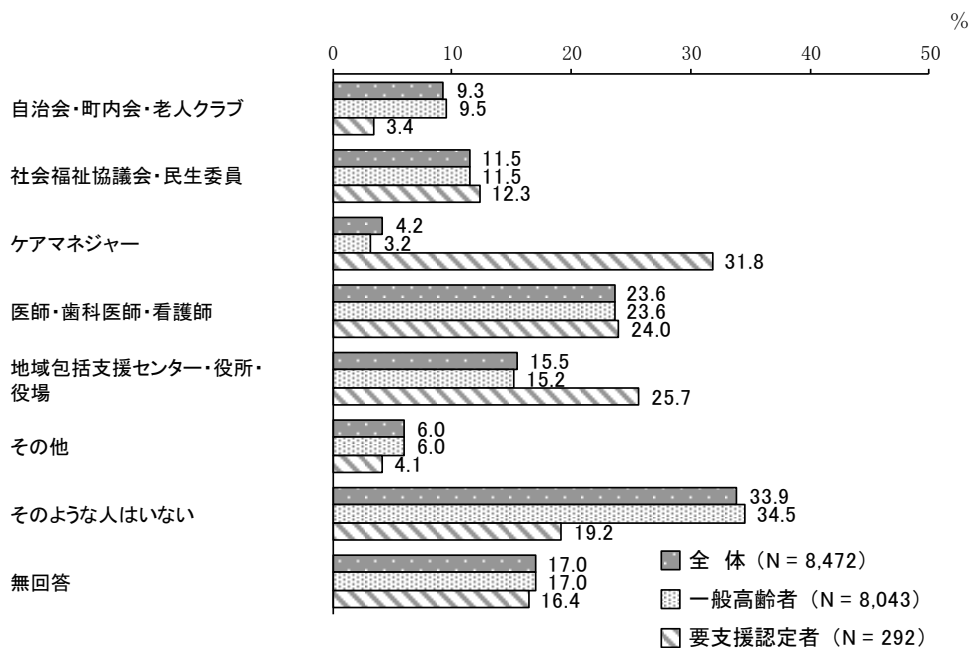


(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

一般高齢者では、「そのような人はいない」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が 23.6%、「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が 15.2%となっています。

要支援認定者では、「ケアマネジャー」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が 25.7%、「医師・歯科医師・看護師」の割合が 24.0%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「自治会・町内会・老人クラブ」「そのような人はいない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ケアマネジャー」「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が高くなっています。

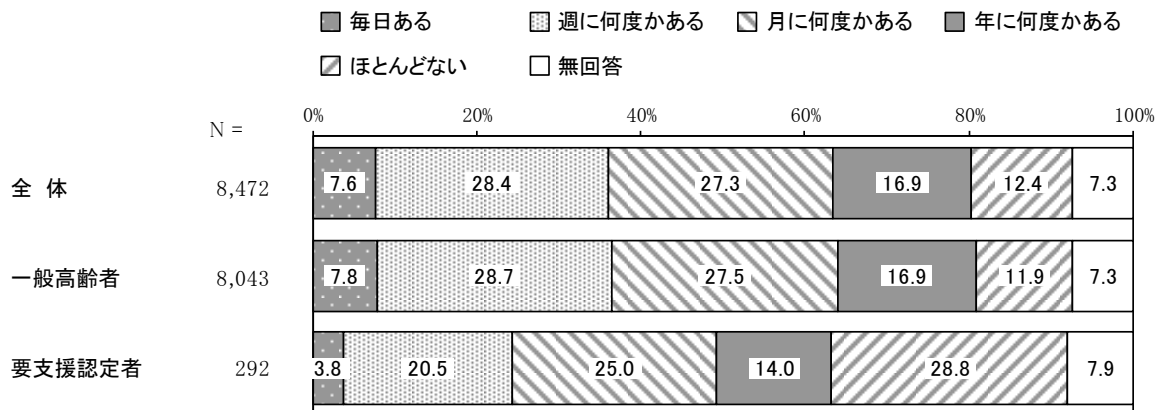


(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

一般高齢者では、「週に何度かある」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 27.5%、「年に何度かある」の割合が 16.9%となっています。

要支援認定者では、「ほとんどない」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 25.0%、「週に何度かある」の割合が 20.5%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「週に何度かある」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

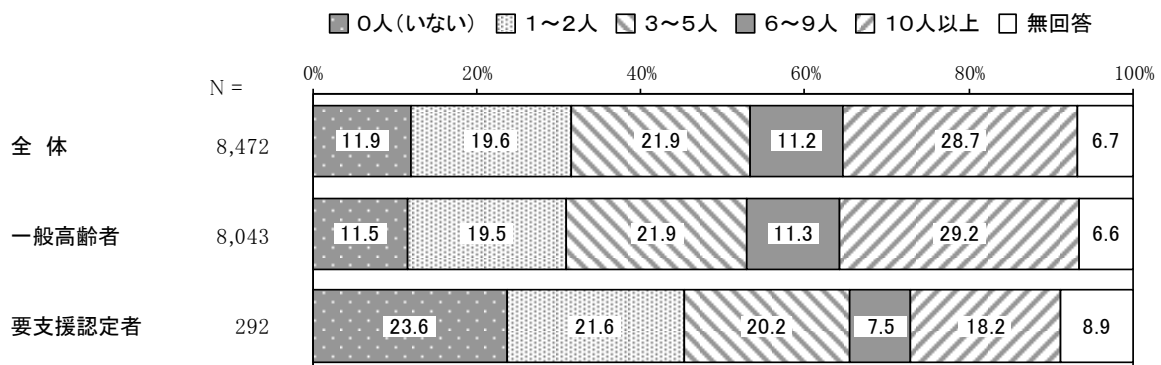


(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

一般高齢者では、「10人以上」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が 21.9%、「1～2人」の割合が 19.5%となっています。

要支援認定者では、「0人(いない)」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「1～2人」の割合が 21.6%、「3～5人」の割合が 20.2%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「10人以上」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「0人(いない)」の割合が高くなっています。

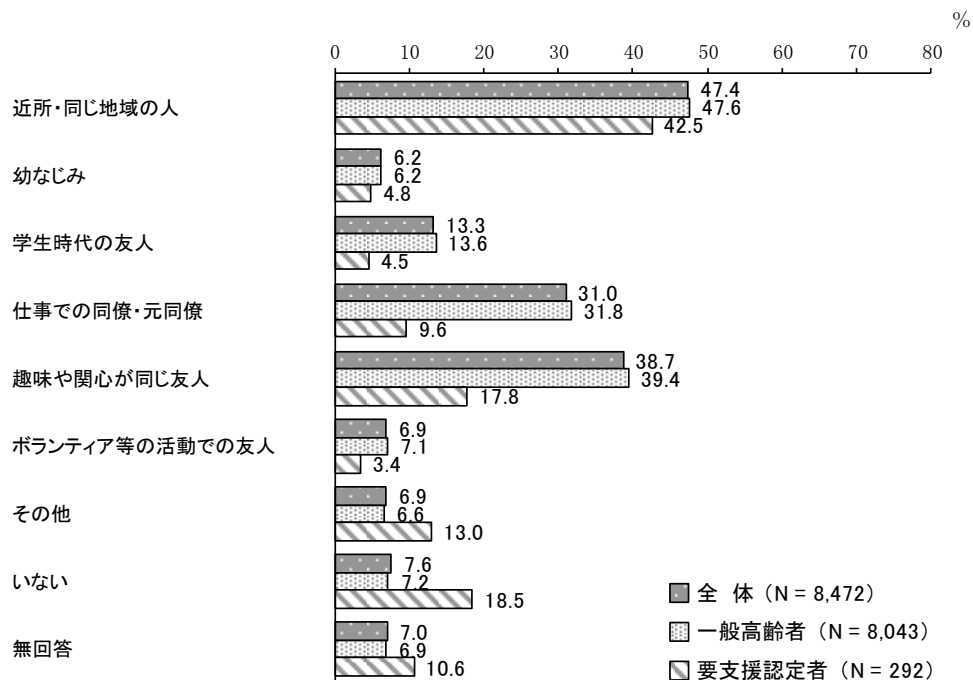


(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

一般高齢者では、「近所・同じ地域の人」の割合が47.6%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が39.4%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が31.8%となっています。

要支援認定者では、「近所・同じ地域の人」の割合が42.5%と最も高く、次いで「いない」の割合が18.5%、「趣味や関心が同じ友人」の割合が17.8%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「近所・同じ地域の人」「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「いない」の割合が高くなっています。



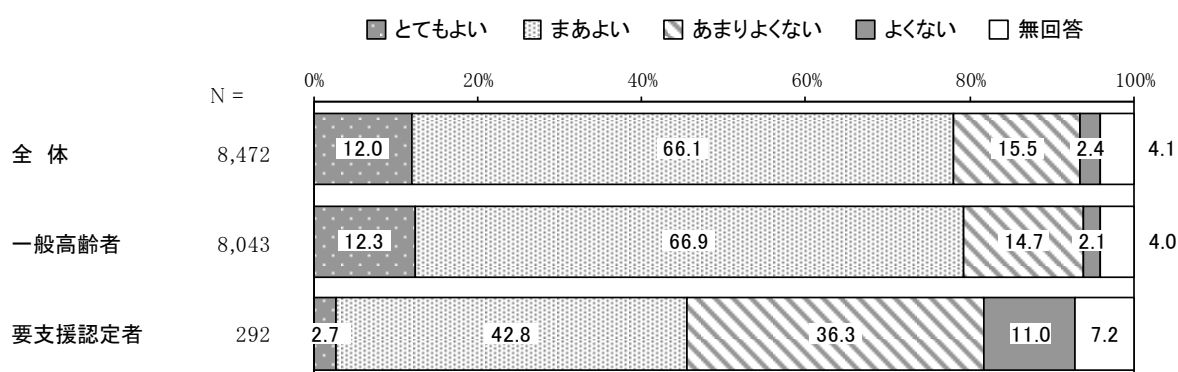
問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

一般高齢者では、「まあよい」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 14.7%、「とてもよい」の割合が 12.3%となっています。

要支援認定者では、「まあよい」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 36.3%、「よくない」の割合が 11.0%となっています。

要介護認定の有無別でみると、『健康状態がよい人』の割合は、一般高齢者で 79.2%、要支援認定者で 45.5%となっており、33.7ポイントの差となっています。また、『健康状態がよくない人』の割合は、一般高齢者で 16.8%、要支援認定者で 47.3%となっており、30.5ポイントの差となっています。

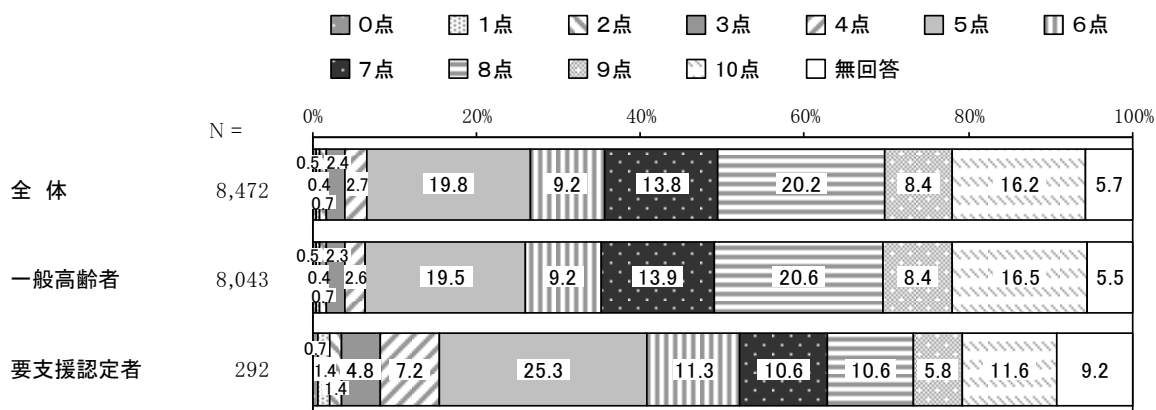


(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

一般高齢者では、「8点」の割合が 20.6%と最も高く、次いで「5点」の割合が 19.5%、「10点」の割合が 16.5%となっています。

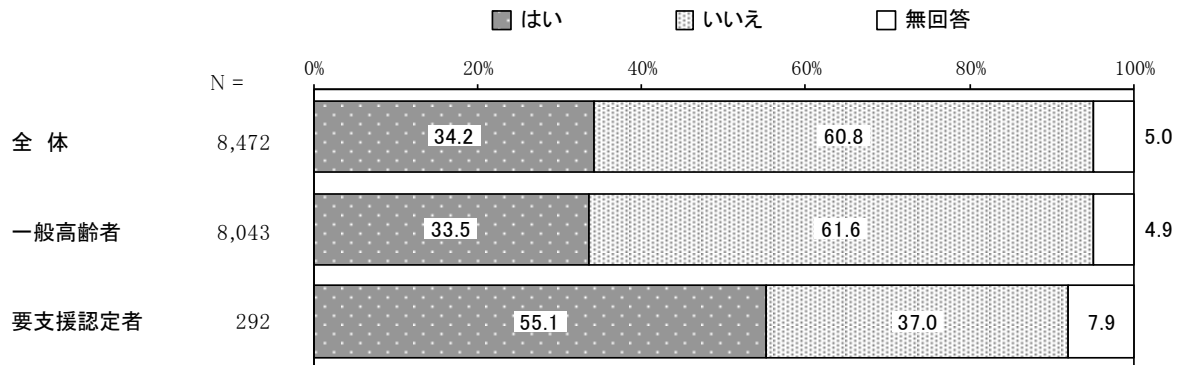
要支援認定者では、「5点」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「10点」の割合が 11.6%、「6点」の割合が 11.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「8点」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「5点」の割合が高くなっています。



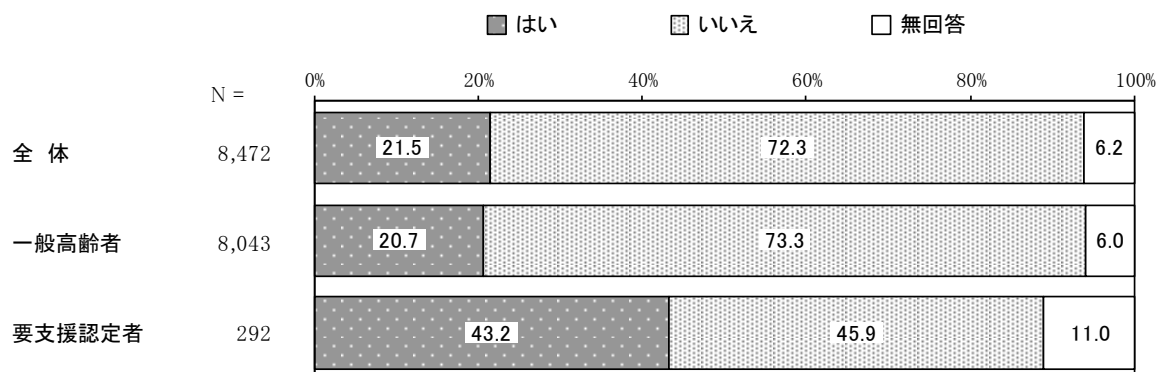
(3) この1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

一般高齢者では、「はい」の割合が33.5%、「いいえ」の割合が61.6%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が55.1%、「いいえ」の割合が37.0%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で33.5%、要支援認定者で55.1%となっており、21.6ポイントの差となっています。



(4) この1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

一般高齢者では、「はい」の割合が20.7%、「いいえ」の割合が73.3%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が43.2%、「いいえ」の割合が45.9%となっています。
 要介護認定の有無別でみると、「はい」の割合は、一般高齢者で20.7%、要支援認定者で43.2%となっており、22.5ポイントの差となっています。

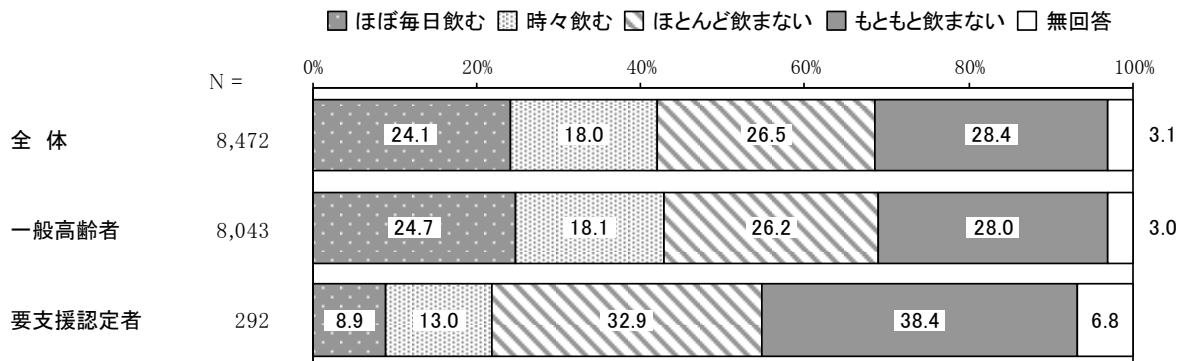


(5) お酒は飲みますか

一般高齢者では、「もともと飲まない」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 26.2%、「ほぼ毎日飲む」の割合が 24.7%となっています。

要支援認定者では、「もともと飲まない」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 32.9%、「時々飲む」の割合が 13.0%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「ほぼ毎日のむ」の割合は、一般高齢者で 24.7%、要支援認定者で 8.9%となっており、15.8ポイントの差となっています。

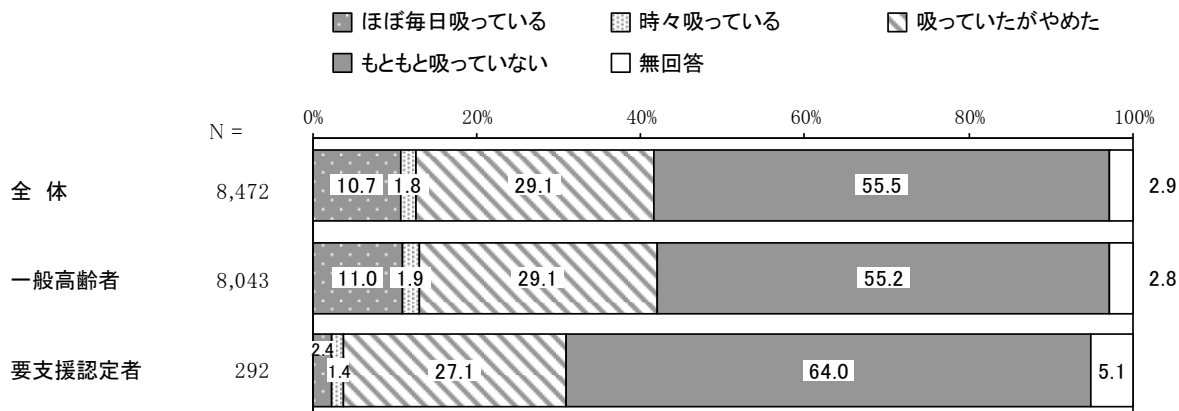


(6) タバコは吸っていますか

一般高齢者では、「もともと吸っていない」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 29.1%、「ほぼ毎日吸っている」の割合が 11.0%となっています。

要支援認定者では、「もともと吸っていない」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 27.1%となっています。

要介護認定の有無別でみると、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている人』の割合は、一般高齢者で 12.9%、要支援認定者で 3.8%となっており、9.1ポイントの差となっています。

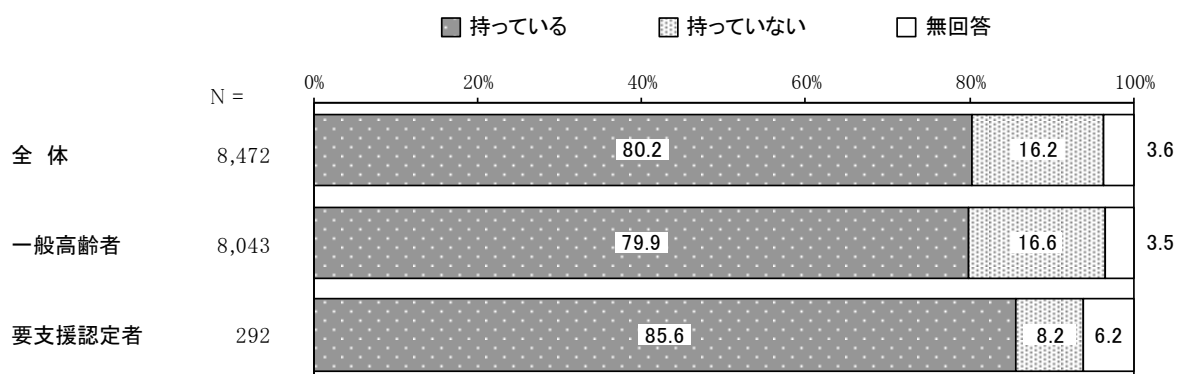


(7) ご自身やご家族の健康状態を知ってくれて、日頃から健康相談をしたり、病気の際には基本的にまず受診する「かかりつけ医」を持っていますか。

一般高齢者では、「持っている」の割合が 79.9%、「持っていない」の割合が 16.6%となっています。

要支援認定者では、「持っている」の割合が 85.6%、「持っていない」の割合が 8.2%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「持っていない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「持っている」の割合が高くなっています。



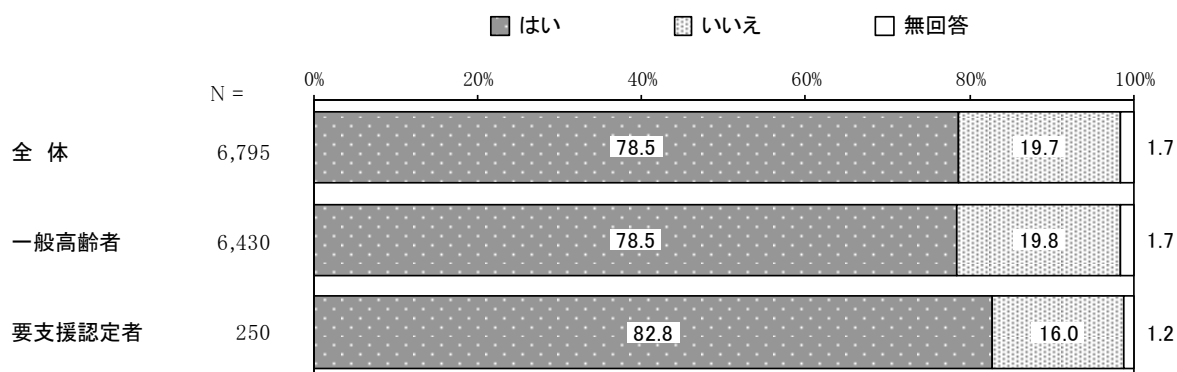
【(7) で「1. 持っている」の方のみ】

① そのかかりつけ医は、市内にある医療機関ですか。

一般高齢者では、「はい」の割合が 78.5%、「いいえ」の割合が 19.8%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 82.8%、「いいえ」の割合が 16.0%となっています。

要介護認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。

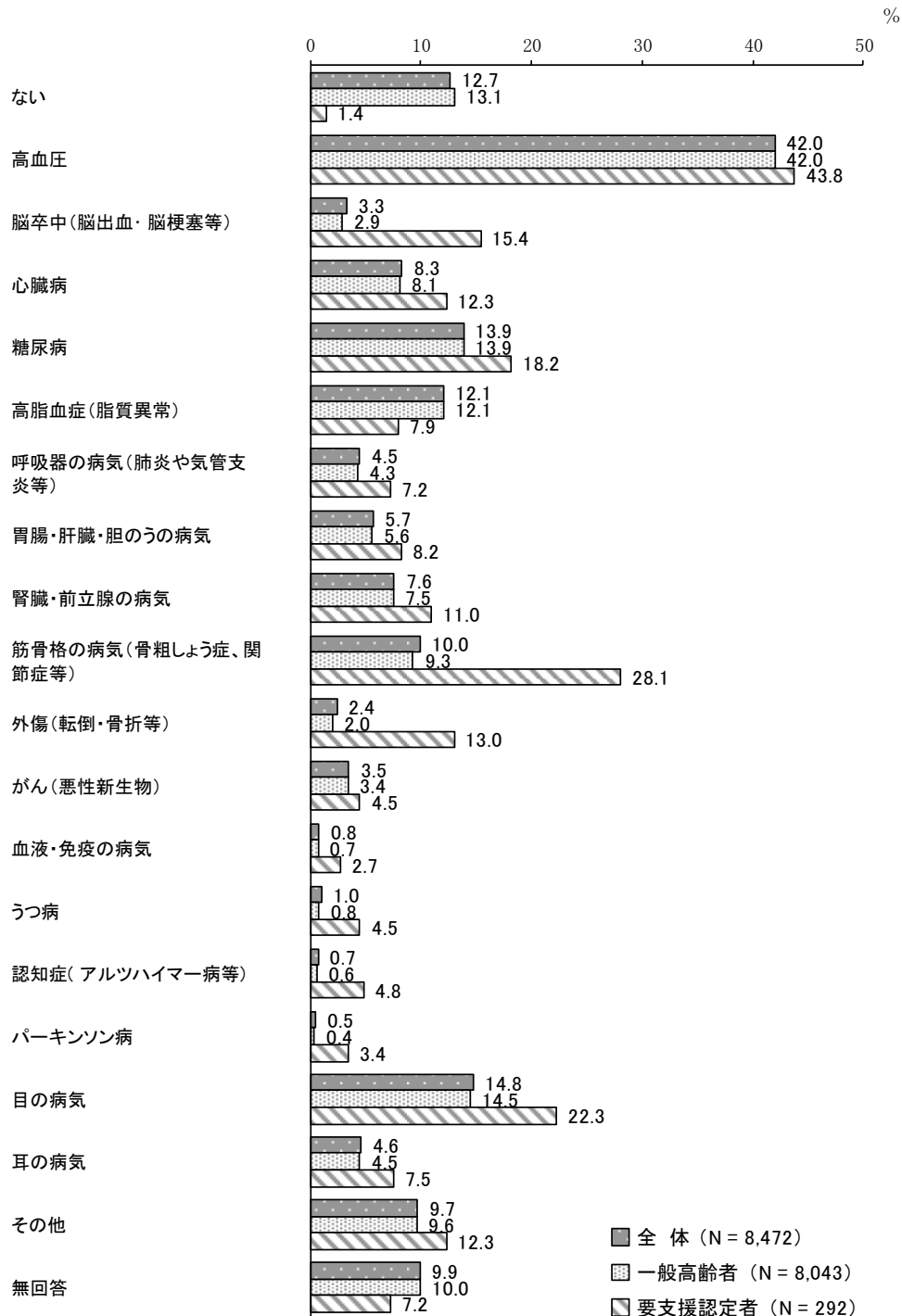


(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

一般高齢者では、「高血圧」の割合が42.0%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が14.5%、「糖尿病」の割合が13.9%となっています。

要支援認定者では、「高血圧」の割合が43.8%と最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」の割合が28.1%、「目の病気」の割合が22.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」「外傷(転倒・骨折等)」「目の病気」の割合が高くなっています。

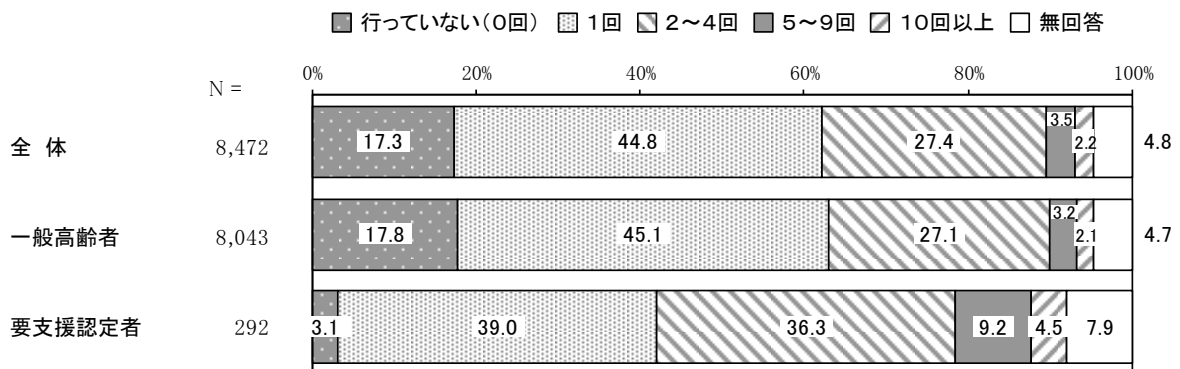


(9) 過去1か月間で、病院に何回行きましたか

一般高齢者では、「1回」の割合が45.1%と最も高く、次いで「2～4回」の割合が27.1%、「行っていない(0回)」の割合が17.8%となっています。

要支援認定者では、「1回」の割合が39.0%と最も高く、次いで「2～4回」の割合が36.3%となっています。

要介護認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「行っていない(0回)」「1回」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「2～4回」「5～9回」「10回以上」の割合が高くなっています。

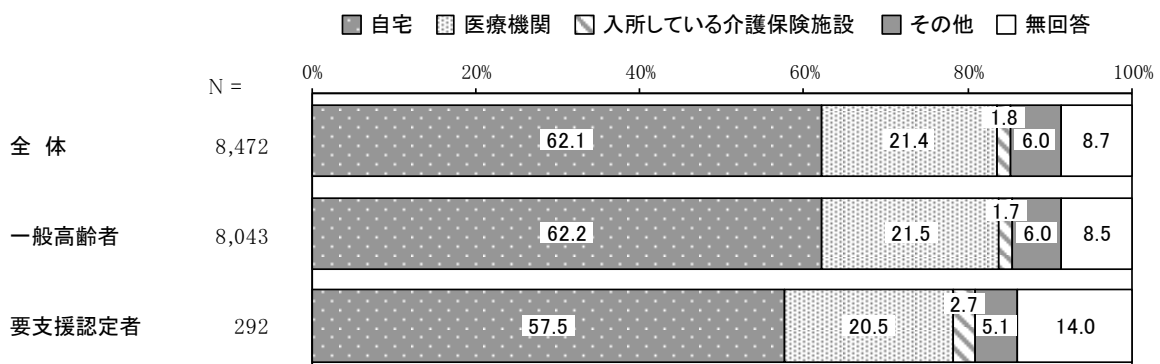


(10) あなたは、人生の最後を迎えたいと思う場所はどこですか

一般高齢者では、「自宅」の割合が62.2%と最も高く、次いで「医療機関」の割合が21.5%となっています。

要支援認定者では、「自宅」の割合が57.5%と最も高く、次いで「医療機関」の割合が20.5%となっています。

要介護認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。



2-2 調査結果「生活機能評価等に関する分析」

(1) 機能別リスク該当者割合の分析

①運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

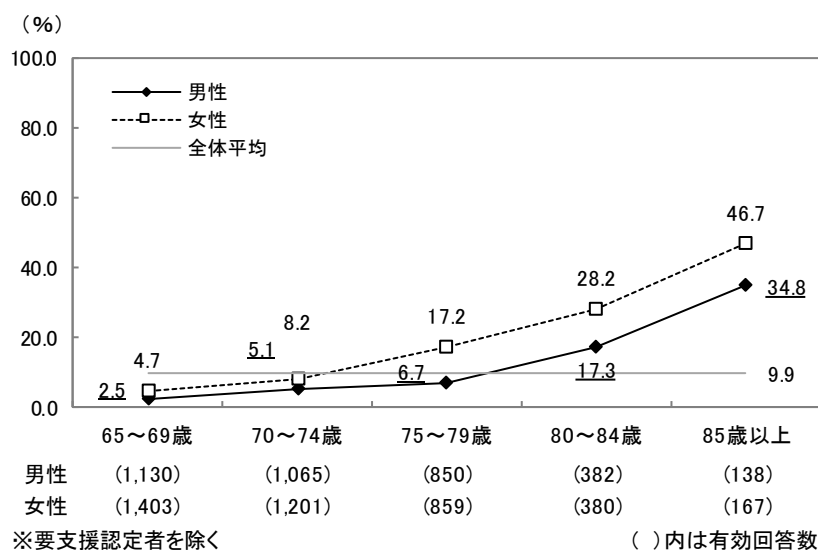
問番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で9.9%が運動器の機能低下該当者となっています。

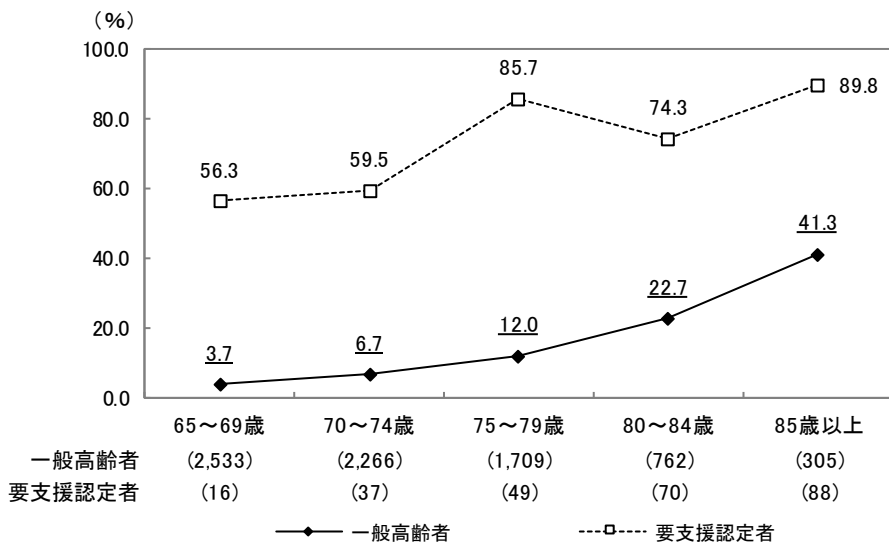
性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では46.7%と75~79歳に比べ29.5ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上では34.8%と75~79歳に比べ28.1ポイント上昇しています。したがって、男性、女性ともに75歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者では割合がとて高くなっています。要支援認定者をみると、75歳以上で該当者が70%以上となっています。

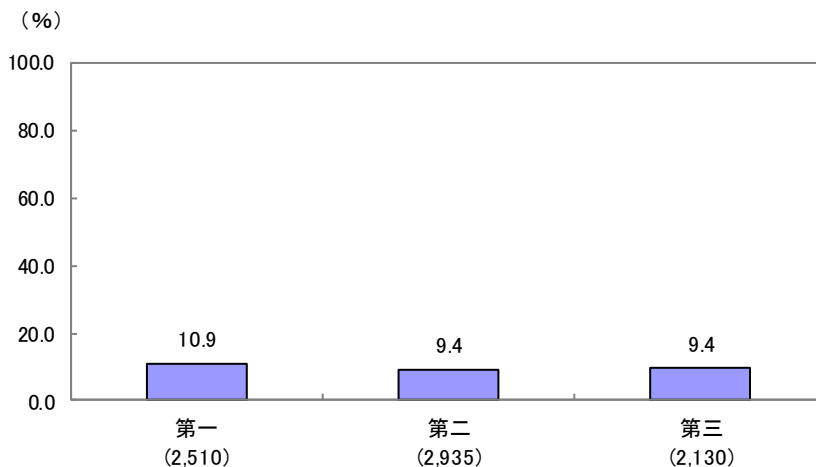
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、第一で該当者割合が全体平均の9.9%を超えています。

また、最も高い圏域は第一で10.9%、最も低い圏域は第二、第三で9.4%となっており、1.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



②閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

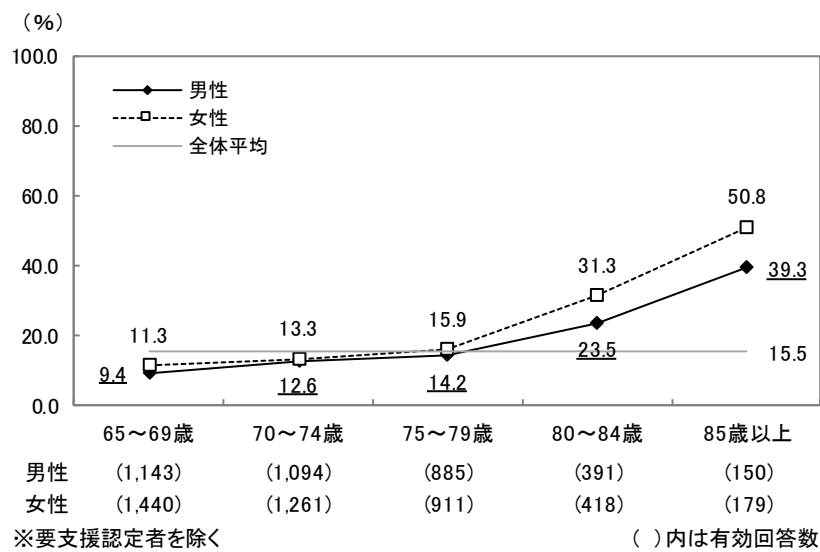
問番号	設問	該当する選択肢
問 2 (6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

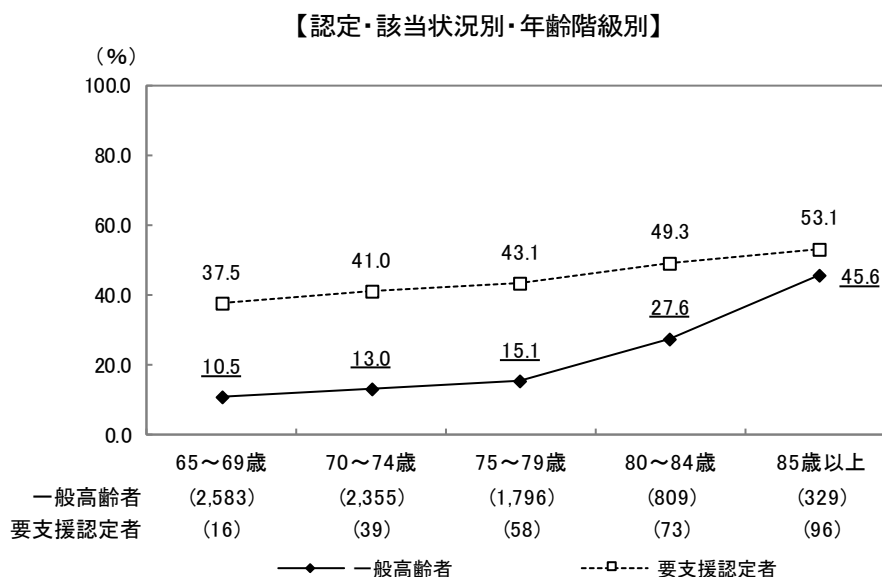
国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で15.5%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で50.8%と、80～84歳に比べ19.5ポイント上昇しています。また、すべての年代で男性に比べて女性で割合が高くなっています。男性、女性ともに75歳以上で外出の頻度が徐々に減少し、特に85歳以上で加齢に伴う身体状態の悪化などにより急激に外出の頻度が減少しています。

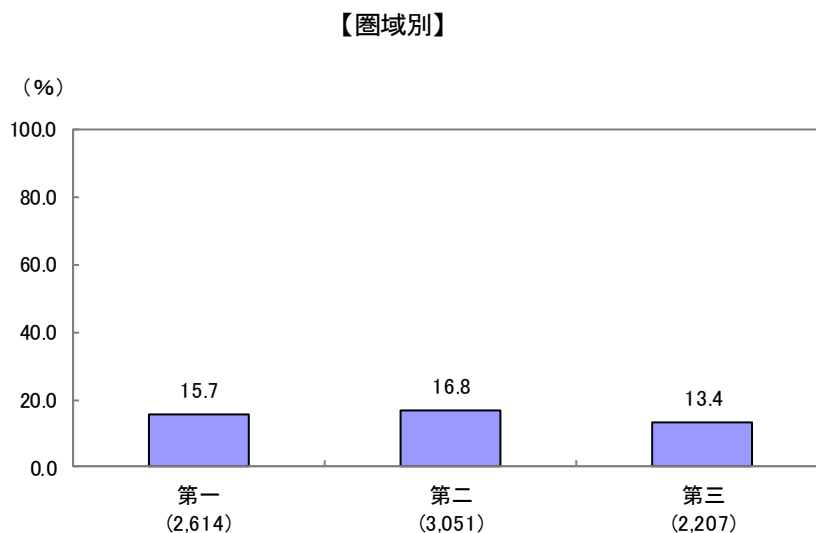
【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で割合が高くなっています。また、一般高齢者では、85歳以上で45.6%と80～84歳に比べ18.0ポイント上昇しており、要支援認定者との差が小さくなっています。



圏域別にみると、第一、第二で該当者割合が全体平均の15.5%を超えています。また、最も高い圏域は第二で16.8%、最も低い圏域は第三で13.4%となっており、3.4ポイントの差となっています。



③転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

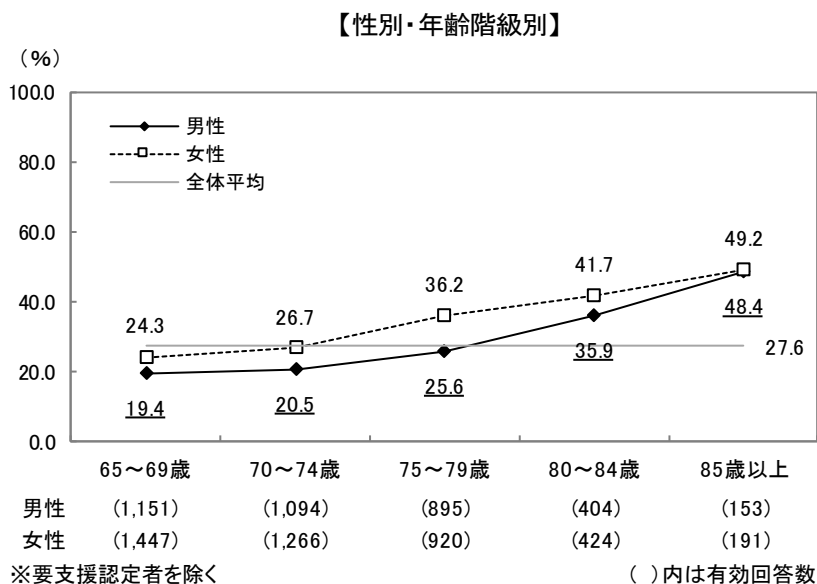
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

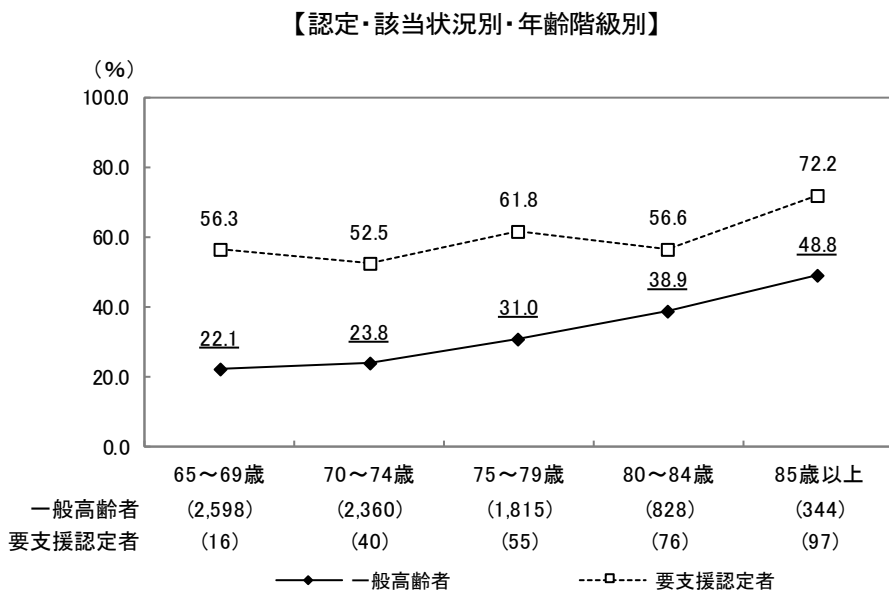
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で27.6%が転倒リスクの該当者となっています。

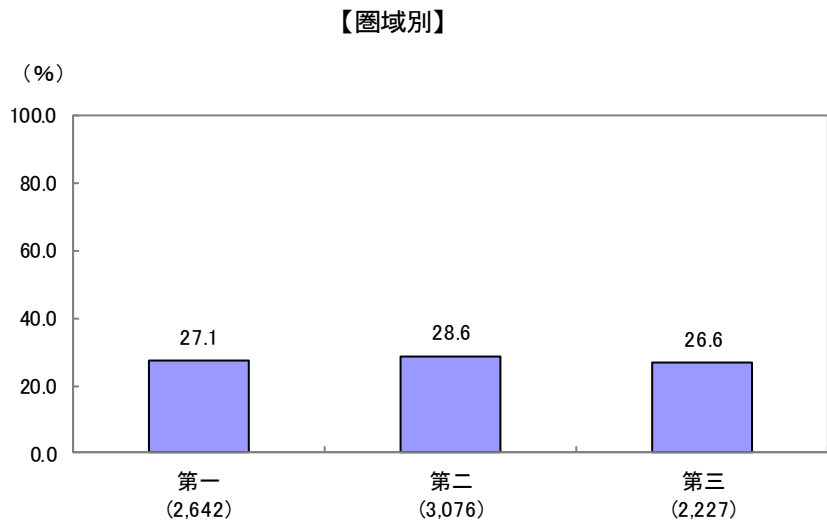
性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ転倒リスクが高くなっており、75歳以上になると全体平均より割合が高くなっています。一方、男性では、75～79歳を境に上昇し、85歳以上で48.4%と75～79歳に比べ22.8ポイント上昇しています。



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者では、85歳以上で転倒リスクの該当者が72.2%と80～84歳に比べ15.6ポイント上昇しています。また、一般高齢者では、年齢が上がるにつれて割合が上昇しています。



圏域別にみると、第二で該当者割合が全体平均の27.6%を超えています。また、最も高い圏域は第二で28.6%、最も低い圏域は第三で26.6%となっており、2.0ポイントの差となっています。



④ 栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

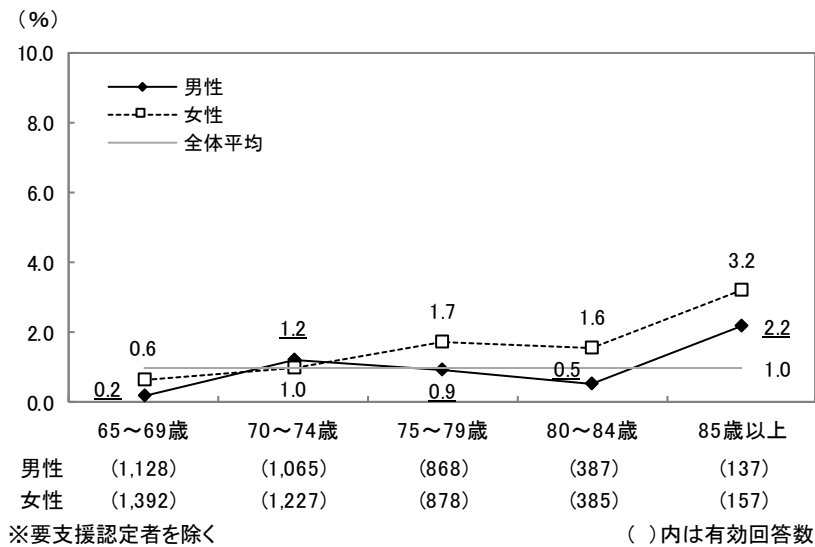
問番号	設問	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5未満
問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で1.0%が低栄養リスクの該当者となっています。

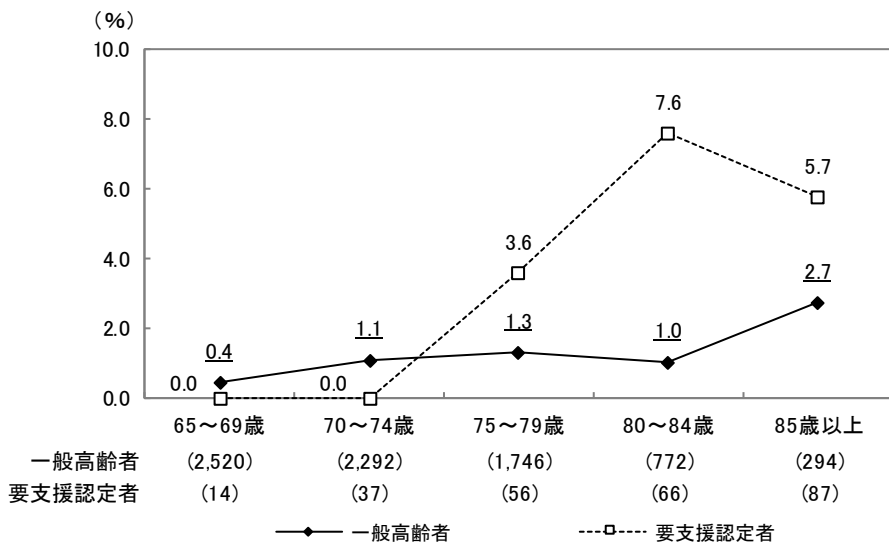
性別・年齢階級別にみると、男性と女性を比べると85歳以上でも1.0ポイントと大きな差はありません。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、該当者割合は、要支援認定者の80～84歳で7.6%と最も高くなっていますが、他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

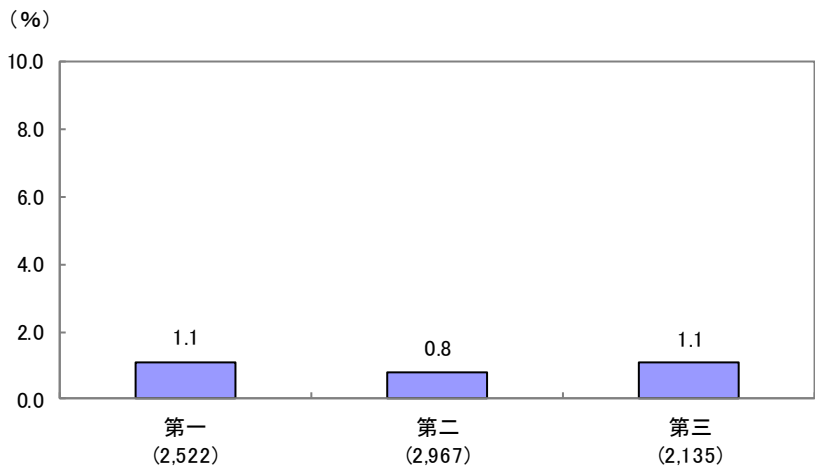
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、第一、第三で該当者割合が全体平均の1.0%を超えています。

また、最も高い圏域は第一、第三で1.1%、最も低い圏域は第二で0.8%となっており、0.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



⑤口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

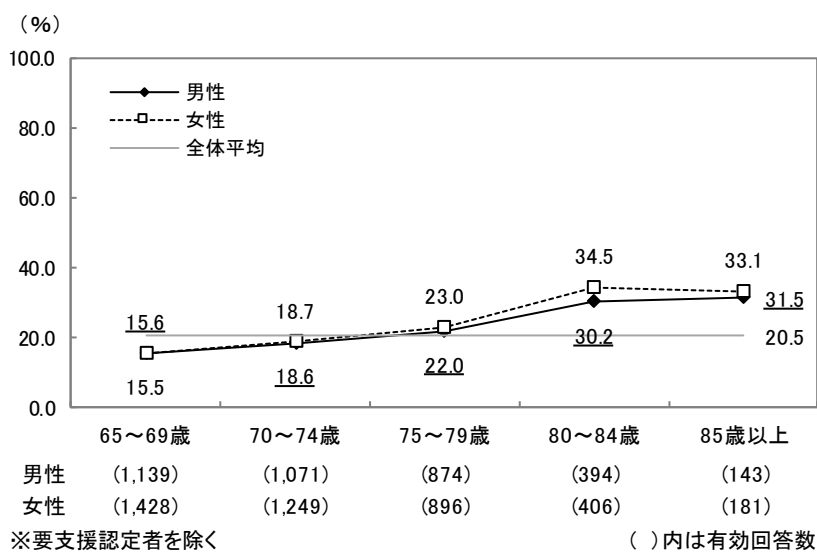
問番号	設問	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問3(4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で20.5%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

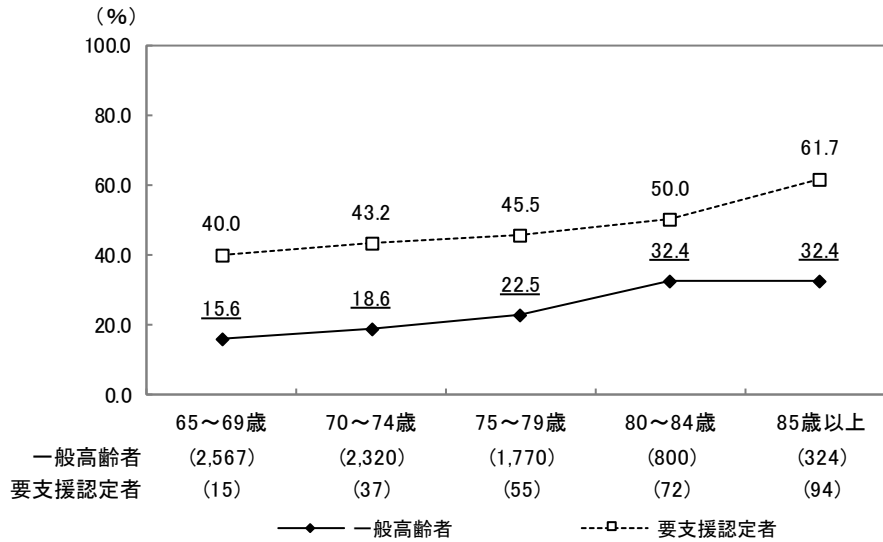
性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに、75～79歳で全体平均を超えており、75歳以上になるとリスクが高くなることがうかがえます。男性では、80～84歳で30.2%と75～79歳に比べ8.2ポイント上昇しており、女性では、80～84歳で34.5%と75～79歳に比べ11.5ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者、要支援認定者ともに、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられます。また、要支援認定者では、80～84歳を境に上昇し、85歳以上で61.7%と80～84歳に比べ11.7ポイント上昇しています。

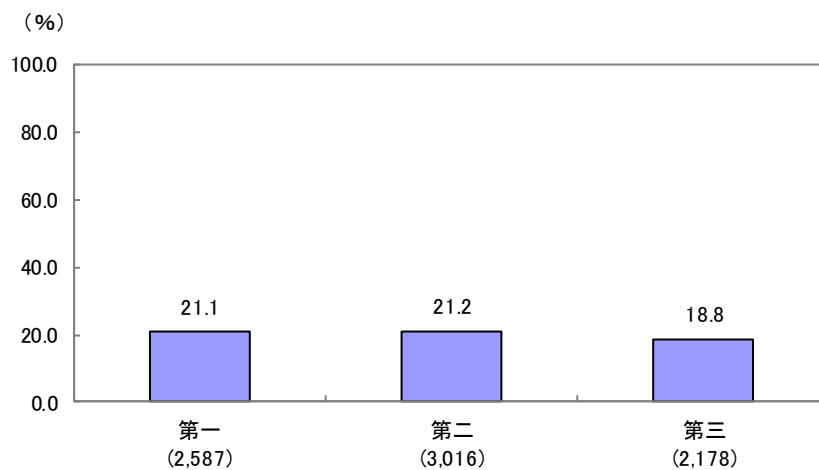
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、第一、第二で該当者割合が全体平均の20.5%を超えています。

また、最も高い圏域は第二で21.2%、最も低い圏域は第三で18.8%となっており、2.4ポイントの差となっています。

【圏域別】



⑥認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

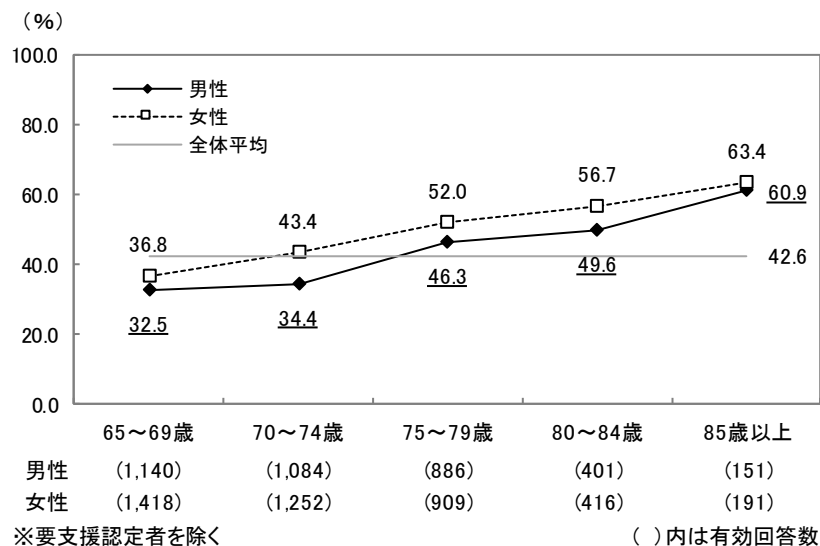
問番号	設問	該当する選択肢
問4(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で42.6%が該当者となっています。

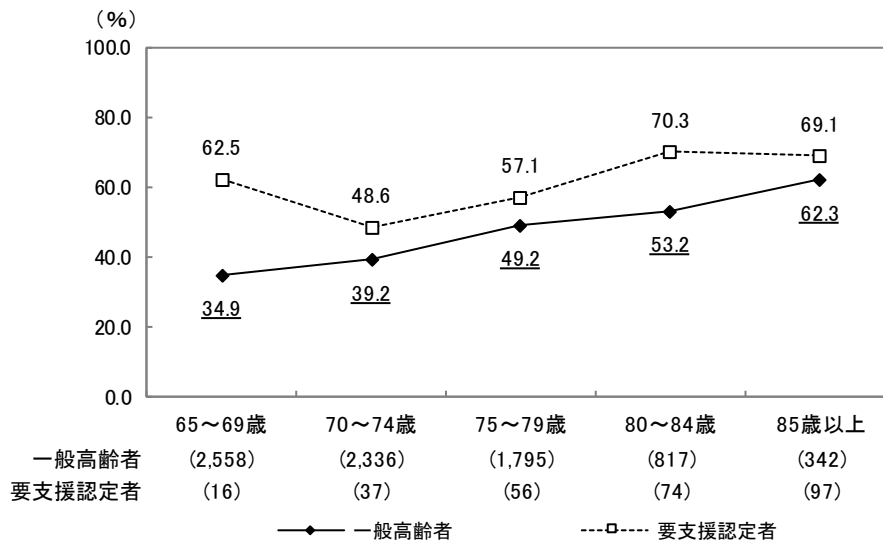
性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。また、すべての年代で男性に比べ、女性で割合が高くなっています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。また、要支援認定者では、80～84歳で70.3%と最も高くなっています。

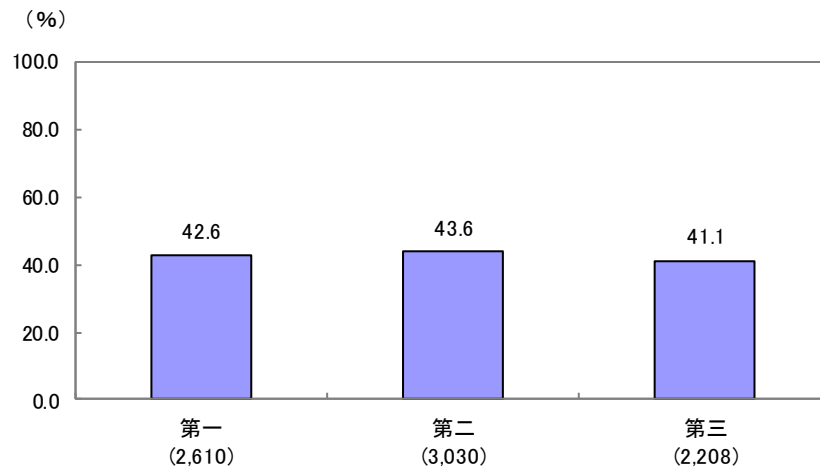
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、第二で該当者割合が全体平均の42.6%を超えています。

また、最も高い圏域は第二で43.6%、最も低い圏域は第三で41.1%となっており、2.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



⑦うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

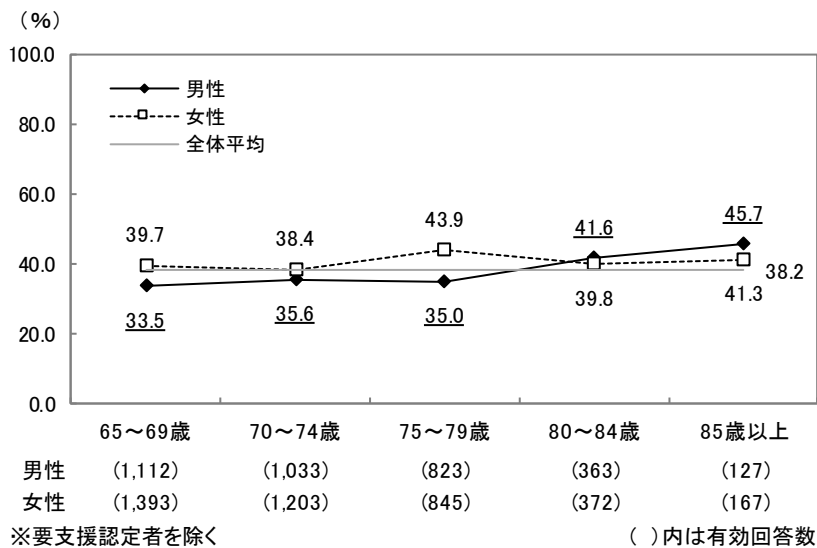
問番号	設問	該当する選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で38.2%が該当者となっています。

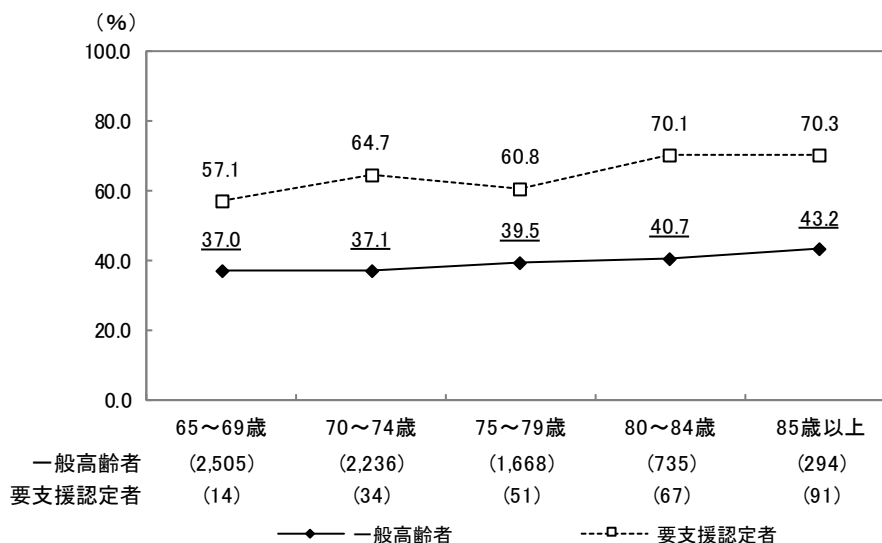
性別・年齢階級別にみると、75～79歳で男女の差が大きく、男性に比べ、女性で8.9ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で割合が高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。

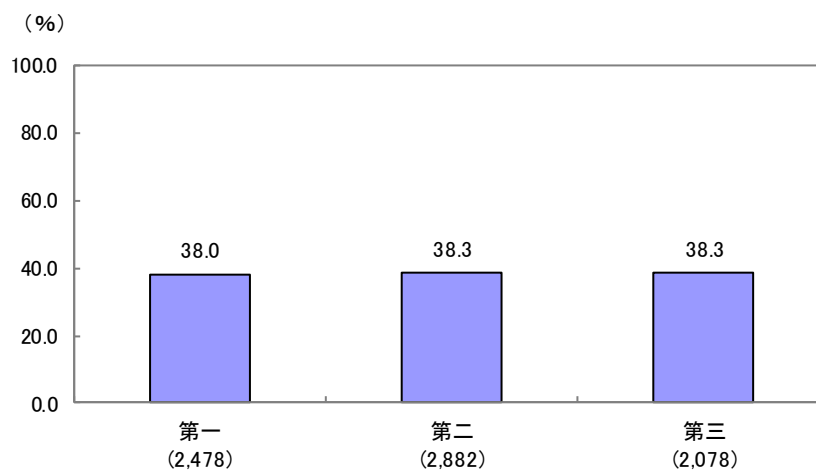
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、第二、第三で該当者割合が全体平均の38.2%を超えています。

また、最も高い圏域は第二、第三で38.3%、最も低い圏域は第一で38.0%となっており、0.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



(2) 日常生活

①手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

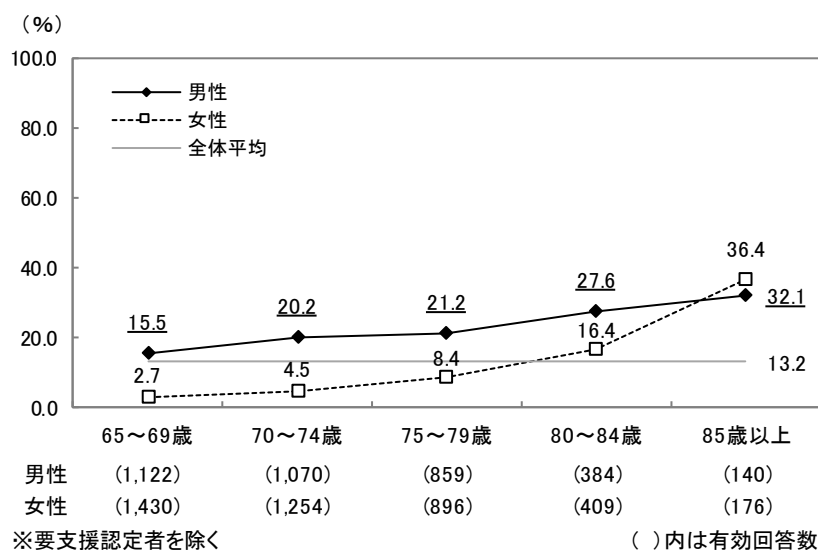
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (7)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (8)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (9)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (10)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【該当状況】

全体平均では13.2%が手段的自立度の低下者となっています。

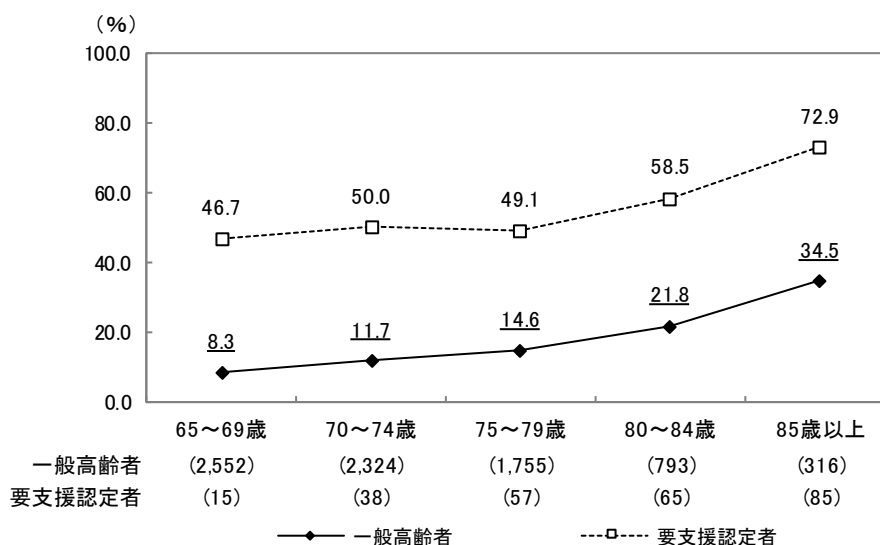
性別・年齢階級別でみると、女性では、85歳以上で36.4%と80～84歳に比べ20.0ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別でみると、一般高齢者、要支援認定者ともに、年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなる傾向がみられます。

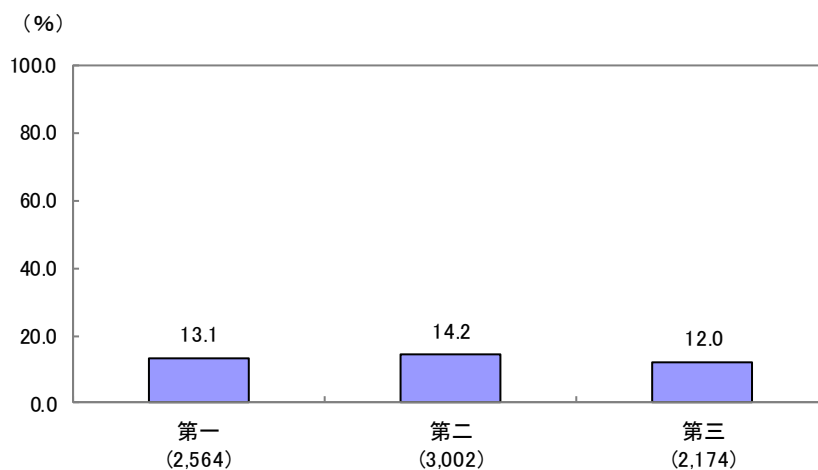
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、第二で該当者割合が全体平均の13.2%を超えています。

また、最も高い圏域は第二で14.2%、最も低い圏域は第三で12.0%となっており、2.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



(3) 社会参加

① 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

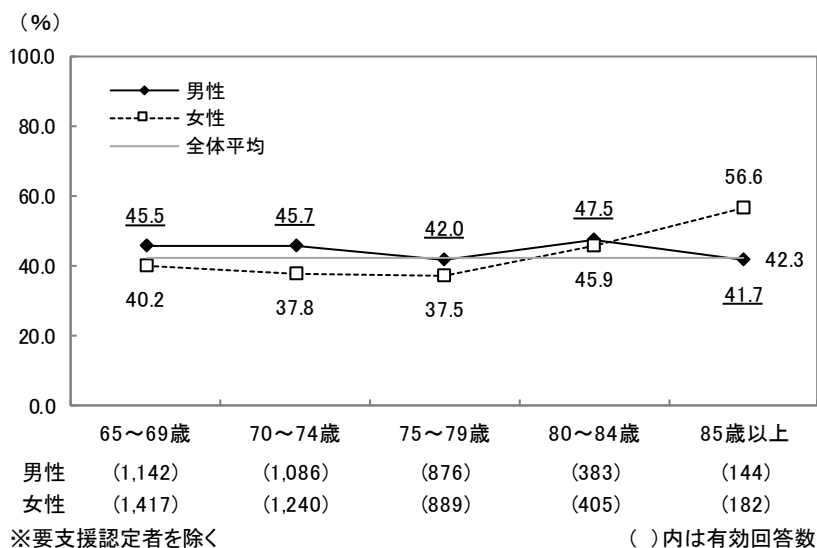
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (11)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問4 (12)	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問4 (13)	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問4 (14)	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では42.3%となっています。

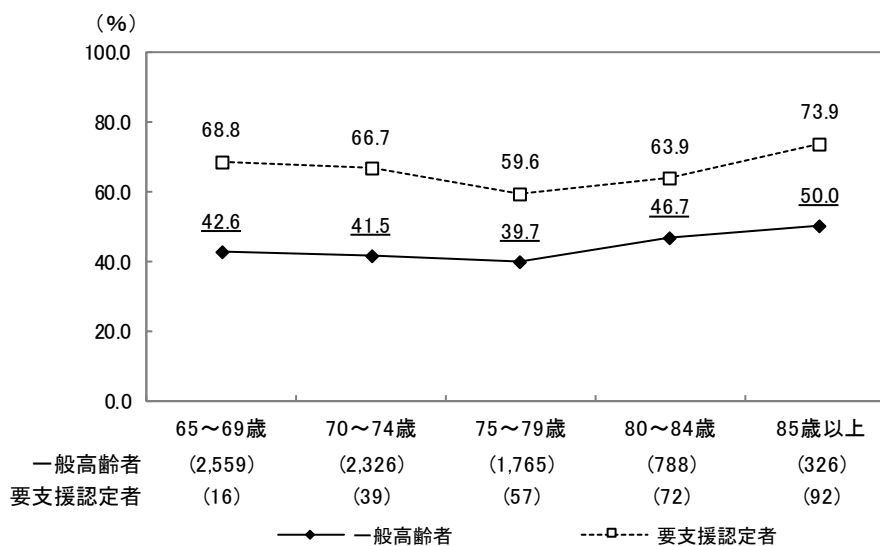
性別・年齢階級別でみると、女性では75～79歳を境に割合が上昇し、85歳以上で男性を上回っています。女性では、85歳以上で56.6%と、80～84歳に比べ、10.7ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別でみると、一般高齢者、要支援認定者ともに、75～79歳を境に割合が上昇し、一般高齢者では85歳以上で50.0%と75～79歳に比べ10.3ポイント上昇し、要支援認定者では85歳以上で73.9%と75～79歳に比べ14.3ポイント上昇しています。

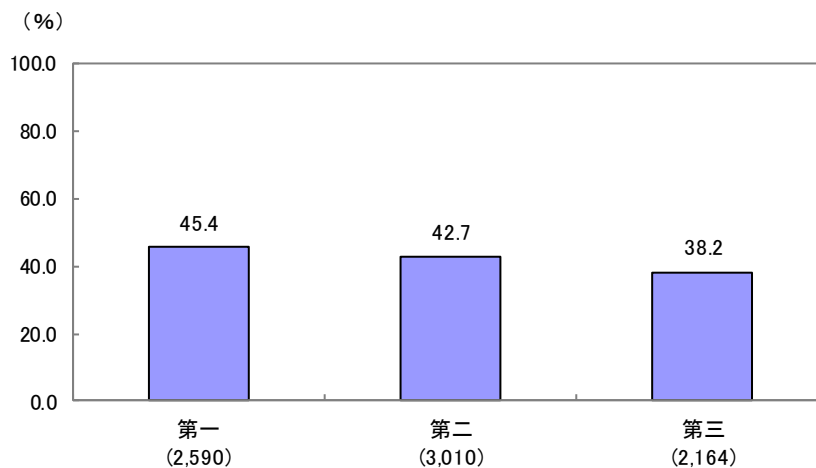
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、第一、第二で該当者割合が全体平均の42.3%を超えています。

また、最も高い圏域は第一で45.4%、最も低い圏域は第三で38.2%となっており、7.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



②社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

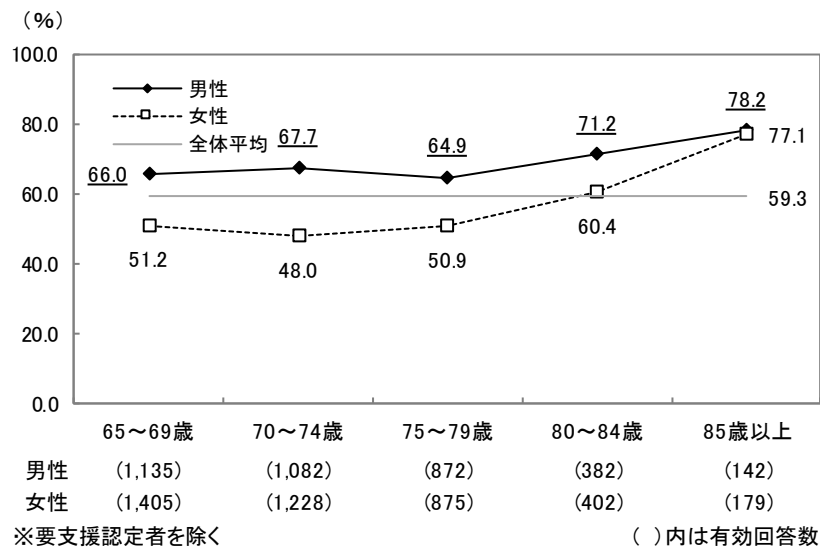
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (15)	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問4 (16)	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問4 (17)	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問4 (18)	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

【該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では59.3%となっています。

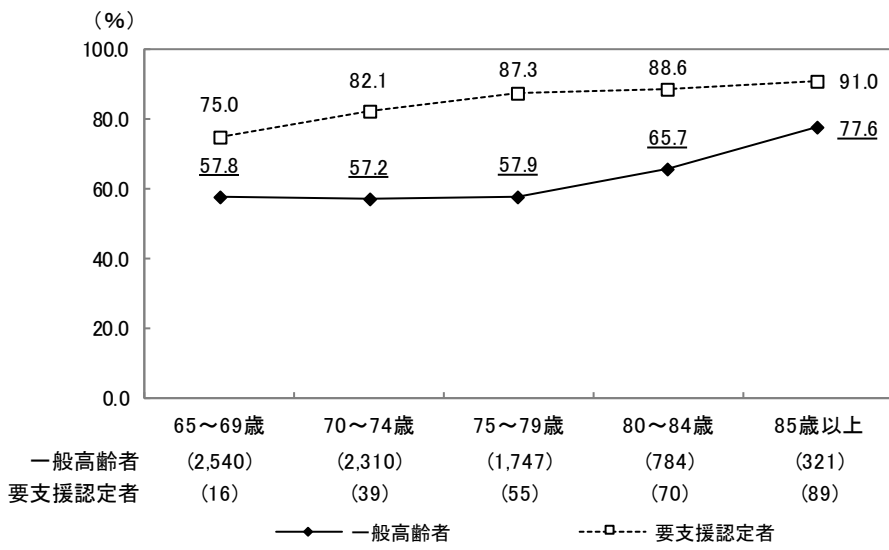
性別・年齢階級別でみると、男性ではすべての年代で全体平均を上回っており、80歳以上で急激に上昇し、85歳以上で78.2%と75～79歳に比べ13.3ポイント上昇しています。女性では、75～79歳以降急激に上昇し、85歳以上で77.1%と75～79歳に比べ26.2ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で割合が高くなっており、年齢階級が上がるにつれて、その差は小さくなっています。65～69歳では、一般高齢者が57.8%、要支援認定者が75.0%と、17.2ポイントの差となっています。また、85歳以上では、一般高齢者が77.6%、要支援認定者が91.0%と、13.4ポイントの差となっています。

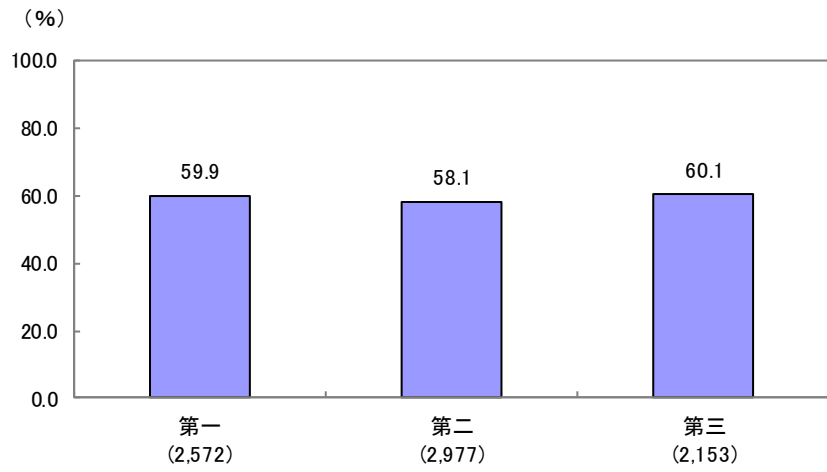
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、第一、第三で該当者割合が全体平均の59.3%を超えています。

また、最も高い圏域は第三で60.1%、最も低い圏域は第二で58.1%となっており、2.0ポイントの差となっています。

【圏域別】



II 在宅介護実態調査

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料として調査を行うものです。

(2) 調査対象

平成29年1月1日現在で、要支援・要介護認定を受けている在宅の65歳以上高齢者
(新規申請者を除く)

(3) 調査期間

平成29年3月3日から3月24日

(4) 調査方法

郵送による配布・回収

(5) 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
在宅介護実態調査	998通	628通	62.9%

(6) 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

2 調査結果

(1) A票 ご本人について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が54.9%と最も高く、次いで「本人」の割合が44.9%となっています。

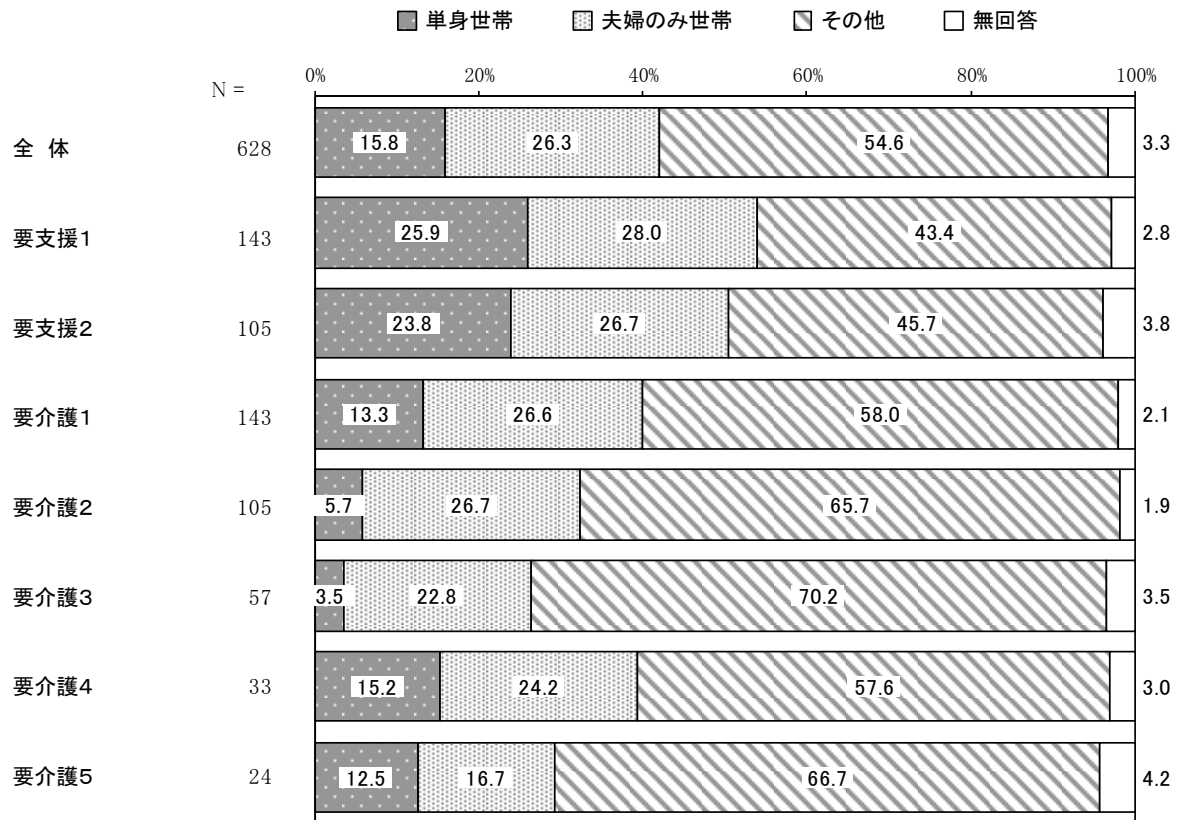
要介護度別で見ると、他に比べ、要介護1から要介護5で「主な介護者となっている家族・親族」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	本人	主な介護者となっ ている家族・親族	主な介護者以外 の家族・親族	その他	無回答
全 体	628	44.9	54.9	3.5	1.0	2.1
要支援1	143	77.6	22.4	2.8	0.7	1.4
要支援2	105	62.9	37.1	2.9	2.9	2.9
要介護1	143	35.7	66.4	3.5	—	1.4
要介護2	105	25.7	76.2	4.8	—	1.9
要介護3	57	15.8	78.9	5.3	—	1.8
要介護4	33	18.2	87.9	3.0	—	—
要介護5	24	—	83.3	4.2	8.3	4.2

問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

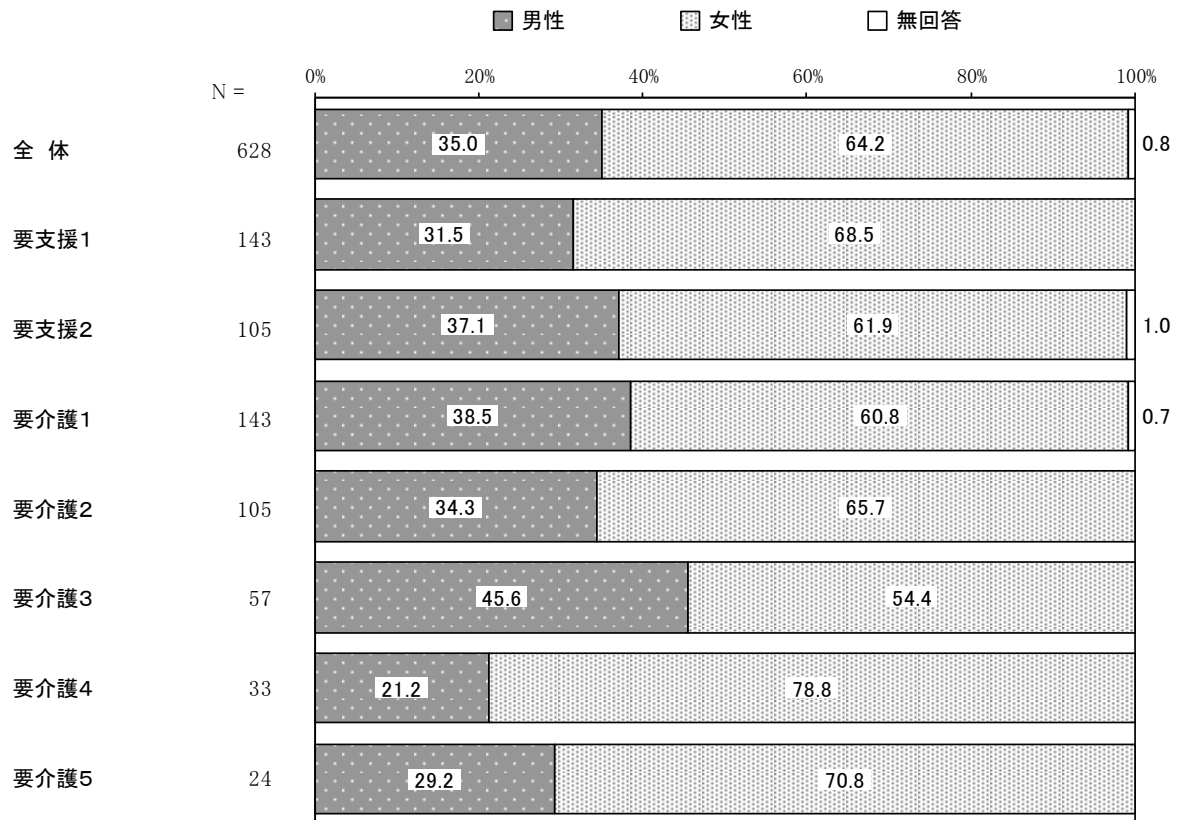
「単身世帯」の割合が15.8%、「夫婦のみ世帯」の割合が26.3%となっています。
 要介護度別で見ると、他に比べ、要支援1、要支援2で「単身世帯」の割合が高くなっています。



問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）

「男性」の割合が35.0%、「女性」の割合が64.2%となっています。

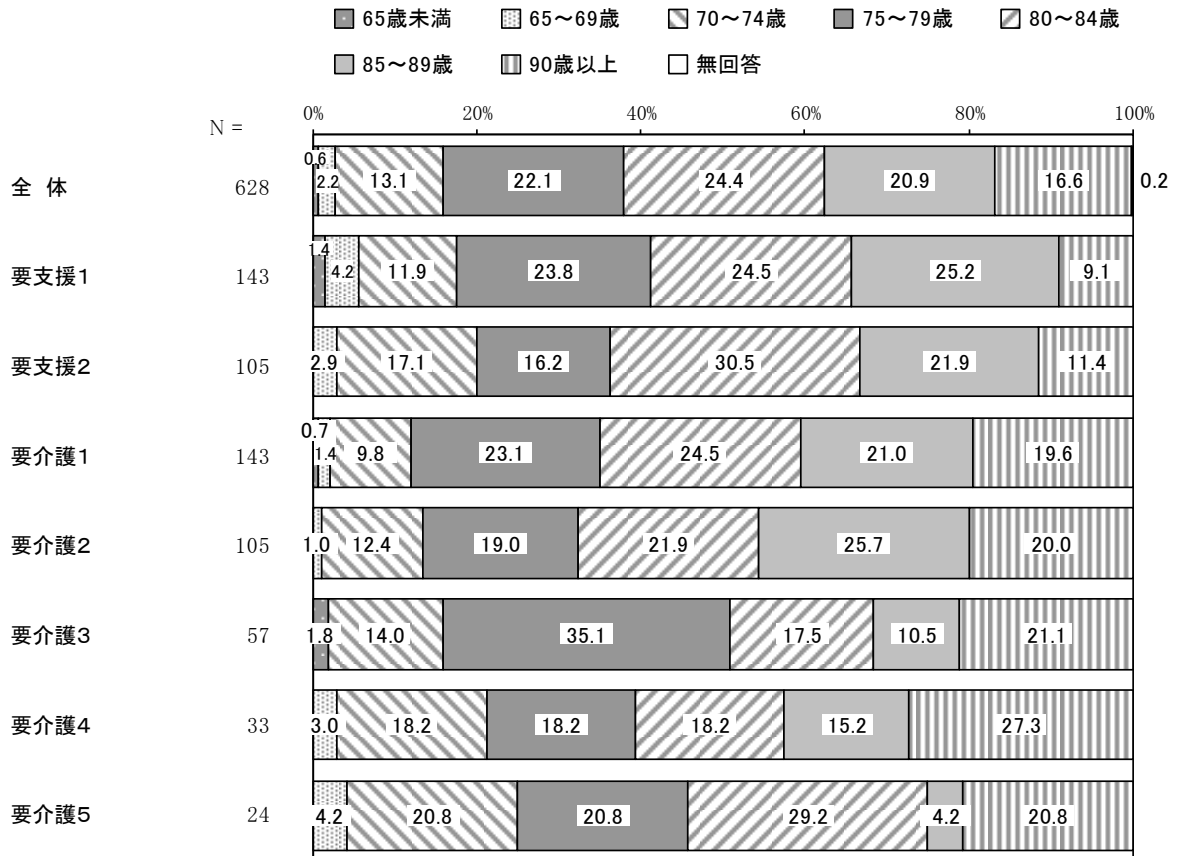
要介護度別で見ると、他に比べ、要介護3で「男性」の割合が高くなっています。また、要介護4で「女性」の割合が高くなっています。



問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

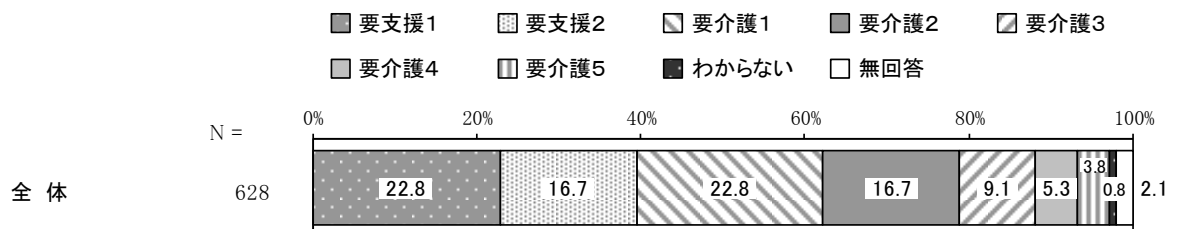
「80～84歳」の割合が24.4%と最も高く、次いで「75～79歳」の割合が22.1%、「85～89歳」の割合が20.9%となっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要支援2、要介護5で「80～84歳」の割合が高くなっています。また、要介護3で「75～79歳」、要介護4で「90歳以上」の割合が高くなっています。



問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）

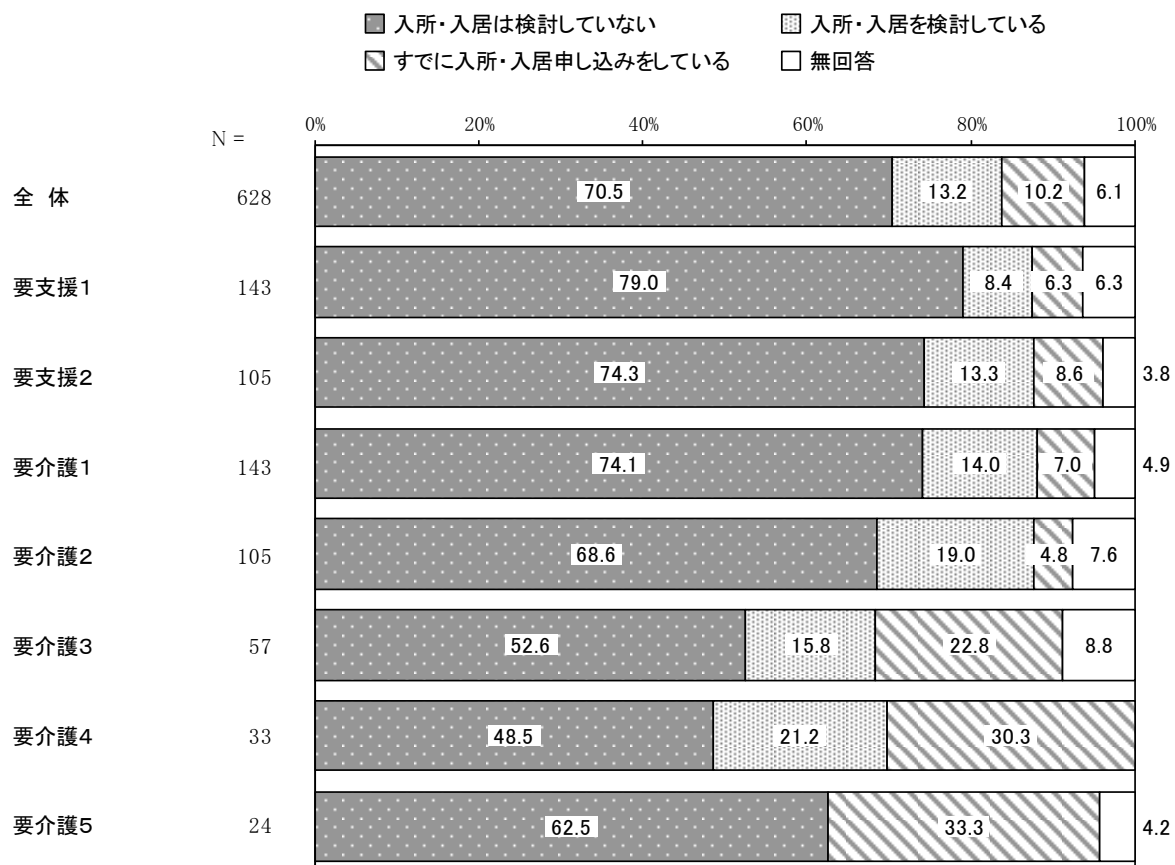
「要支援1」、「要介護1」の割合が22.8%と最も高く、次いで、「要支援2」、「要介護2」の割合が16.7%となっています。



問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

「入所・入居は検討していない」の割合が70.5%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が13.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が10.2%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要介護4、要介護5で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。



問7 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

「認知症」の割合が28.0%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が20.1%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が19.7%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要支援1、要支援2で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、要支援1、要介護1で「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高くなっています。また、要介護4で「変形性関節疾患」、要介護5で「パーキンソン病」の割合が高くなっています。

単位：%

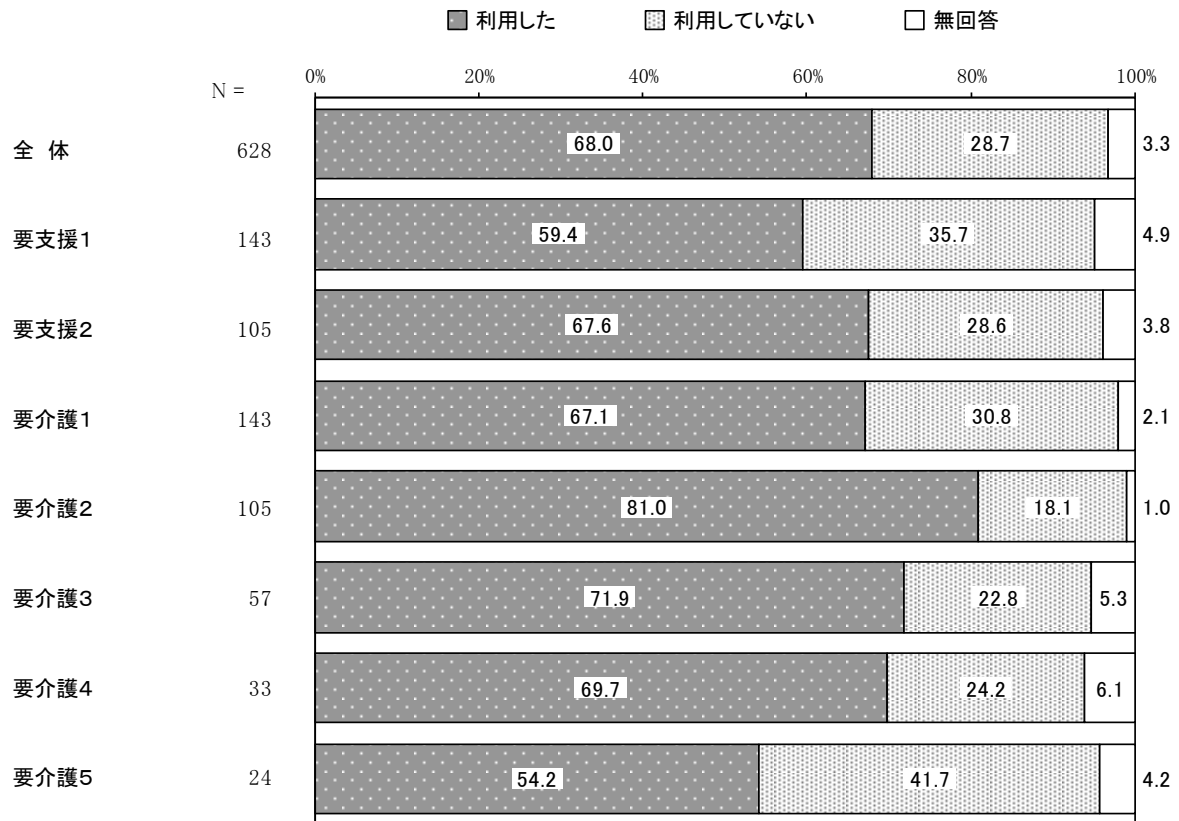
区分	有効回答数 (件)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患
全体	628	19.6	13.7	4.9	5.1	2.2	20.1	3.5	13.5
要支援1	143	16.1	12.6	7.0	4.9	1.4	23.8	2.1	18.9
要支援2	105	20.0	16.2	5.7	4.8	2.9	25.7	4.8	14.3
要介護1	143	17.5	15.4	5.6	6.3	2.1	17.5	2.1	9.1
要介護2	105	21.0	12.4	2.9	4.8	1.9	17.1	8.6	11.4
要介護3	57	28.1	10.5	3.5	3.5	1.8	17.5	1.8	7.0
要介護4	33	27.3	12.1	3.0	3.0	3.0	18.2	3.0	24.2
要介護5	24	25.0	4.2	4.2	8.3	—	12.5	—	4.2

区分	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体	28.0	5.1	2.4	17.7	19.7	24.8	2.9	0.2	2.4
要支援1	12.6	0.7	0.7	13.3	25.2	23.1	3.5	—	5.6
要支援2	9.5	3.8	1.0	20.0	18.1	25.7	2.9	—	1.9
要介護1	34.3	4.9	3.5	17.5	25.2	25.2	2.8	—	0.7
要介護2	45.7	7.6	3.8	21.0	17.1	23.8	2.9	—	1.0
要介護3	43.9	7.0	5.3	22.8	19.3	22.8	1.8	1.8	—
要介護4	36.4	6.1	—	12.1	3.0	39.4	3.0	—	3.0
要介護5	50.0	16.7	4.2	12.5	8.3	29.2	—	—	—

問8 平成29年1月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

「利用した」の割合が68.0%、「利用していない」の割合が28.7%となっています。

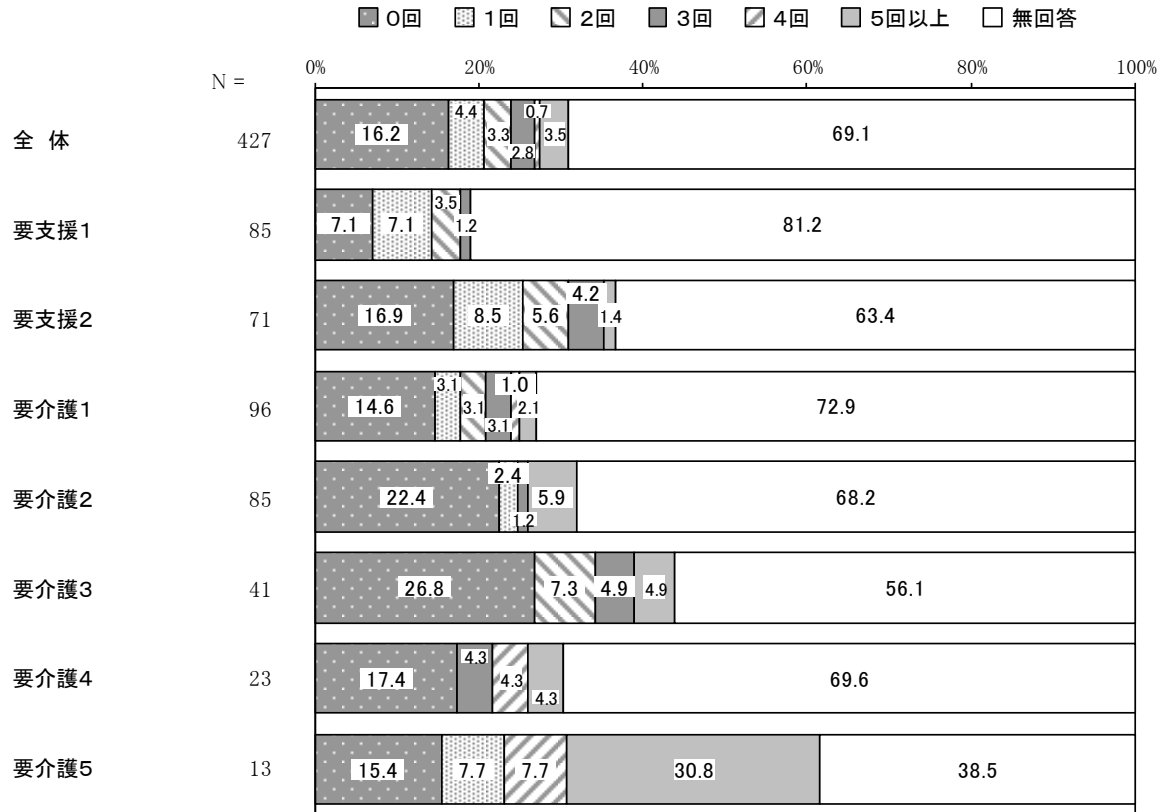
要介護度別でみると、他に比べ、要介護2で「利用した」の割合が高くなっています。また、要介護5で「利用していない」の割合が高くなっています。



A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）

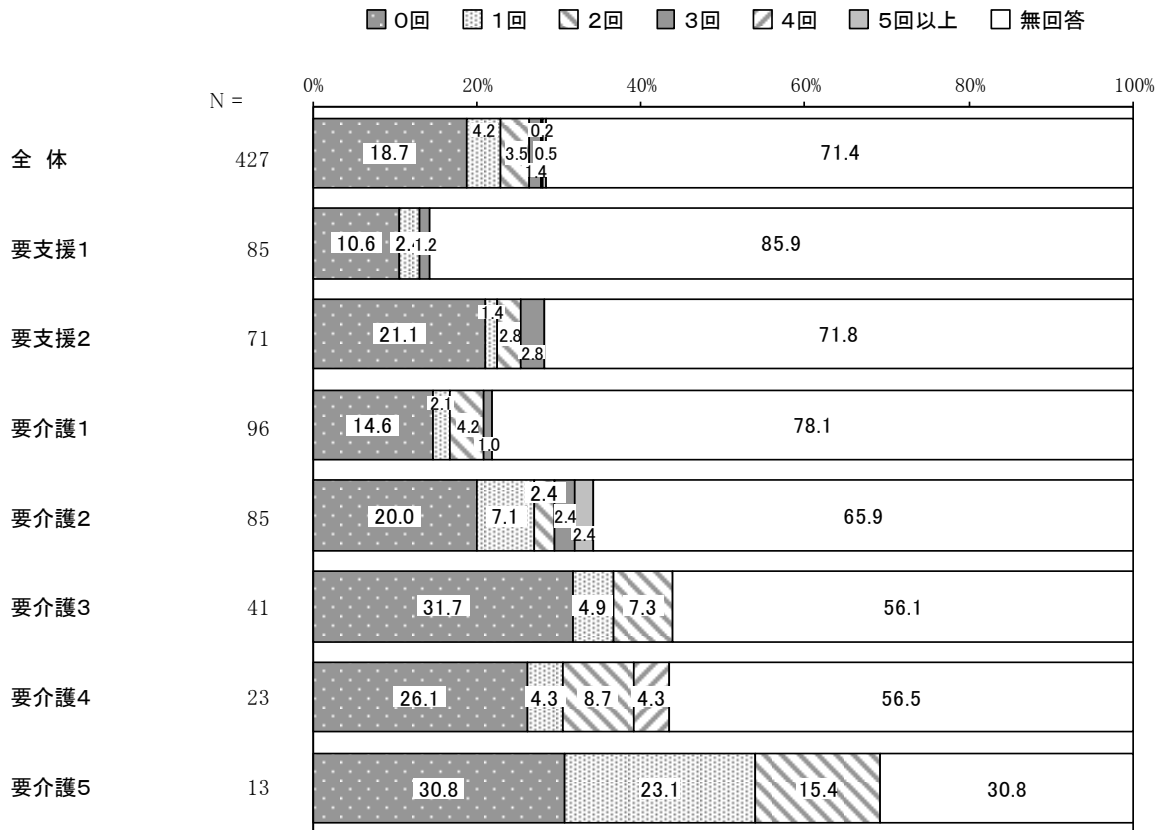
「0回」の割合が16.2%と最も高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護5で「5回以上」の割合が高くなっています。



B. 訪問入浴介護

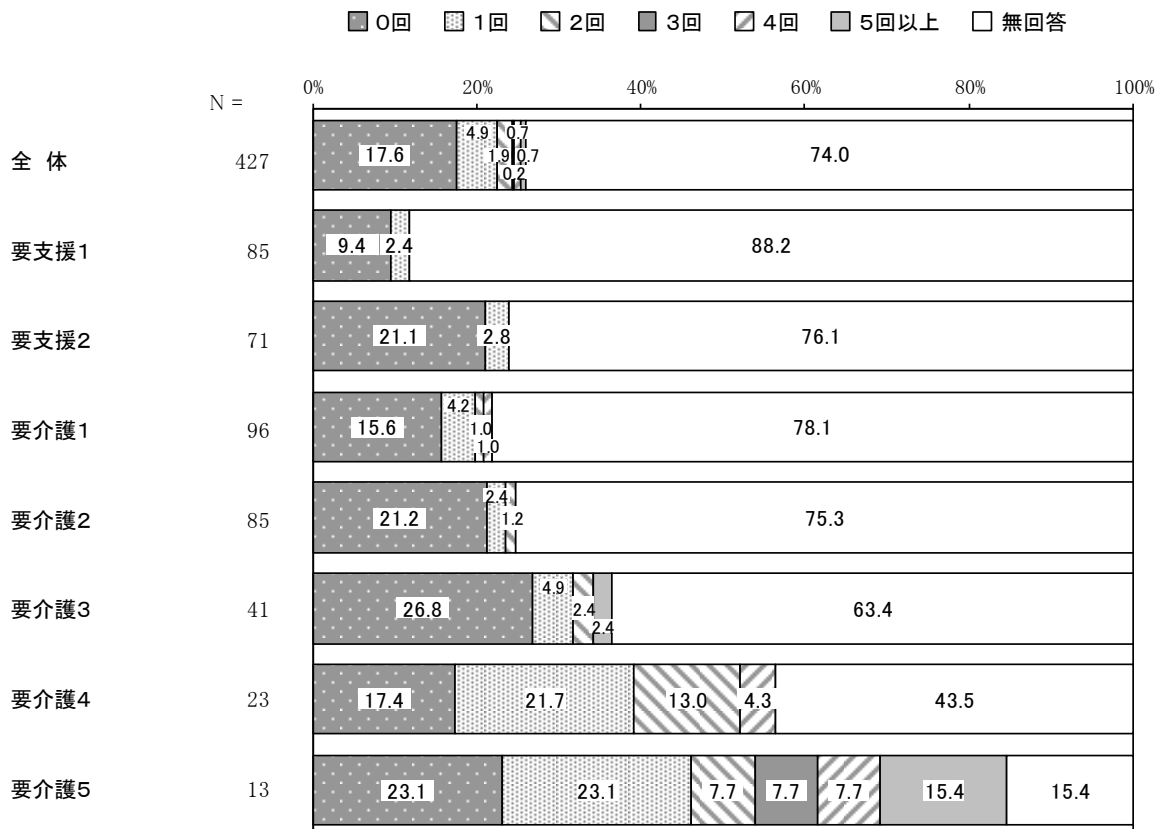
「0回」の割合が18.7%と最も高くなっています。
 要介護度別で見ると、他に比べ、要介護5で「1回」「2回」の割合が高くなっています。



C. 訪問看護

「0回」の割合が17.6%と最も高くなっています。

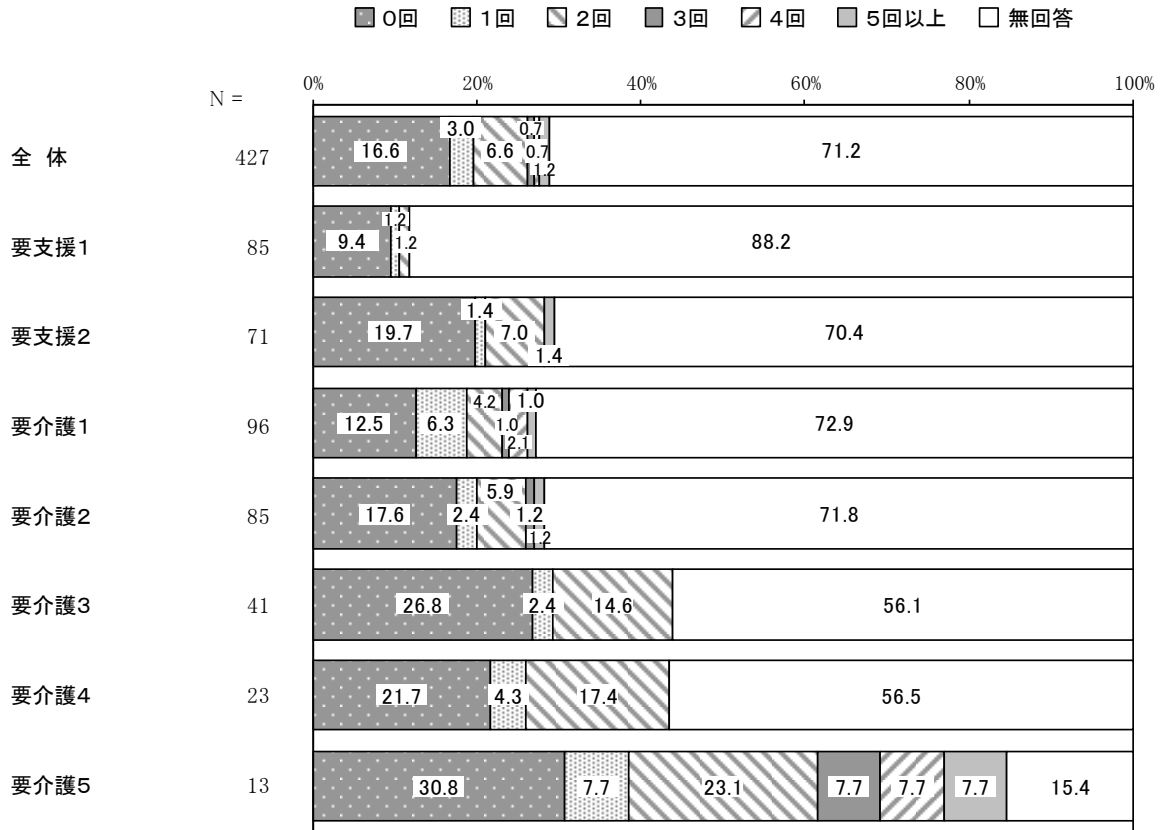
要介護度別で見ると、他に比べ、要介護4、要介護5で「1回」の割合が高くなっています。また、要介護4で「2回」、要介護5で「3回」「5回以上」の割合が高くなっています。



D. 訪問リハビリテーション

「0回」の割合が16.6%と最も高くなっています。

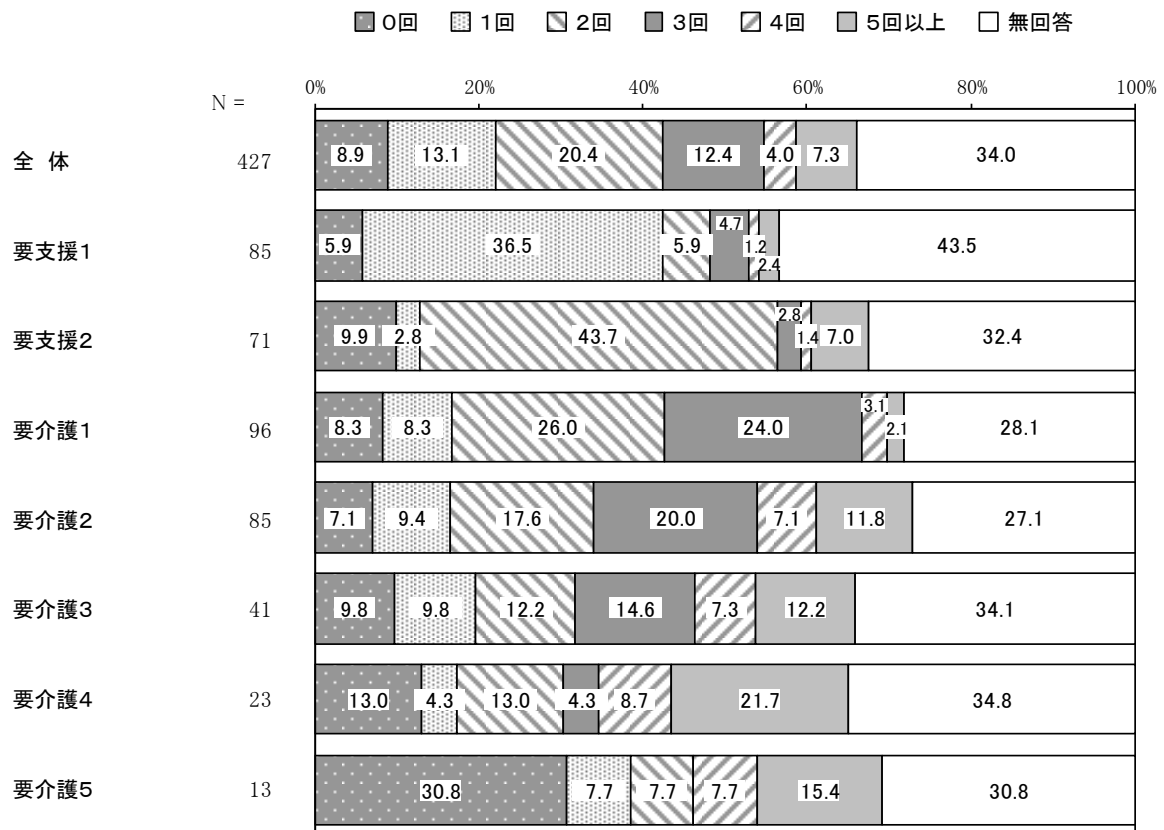
要介護度別で見ると、他に比べ、要介護5で「2回」「3回」「4回」「5回以上」の割合が高くなっています。



E. 通所介護（デイサービス）

「2回」の割合が20.4%と最も高く、次いで「1回」の割合が13.1%、「3回」の割合が12.4%となっています。

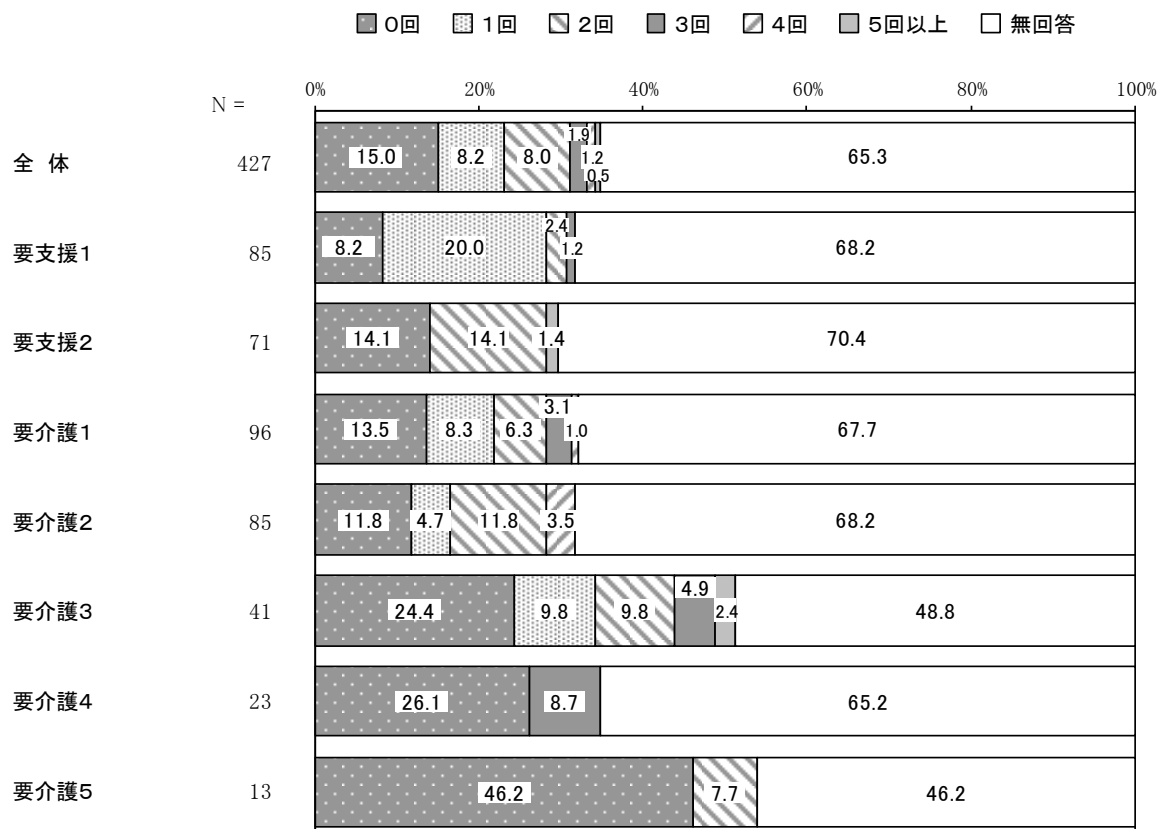
要介護度別でみると、他に比べ、要支援1で「1回」、要支援2で「2回」の割合が高くなっています。また、要介護1、要介護2で「3回」、要介護4で「5回以上」、要介護5で「0回」の割合が高くなっています。



F. 通所リハビリテーション（デイケア）

「0回」の割合が15.0%と最も高くなっています。

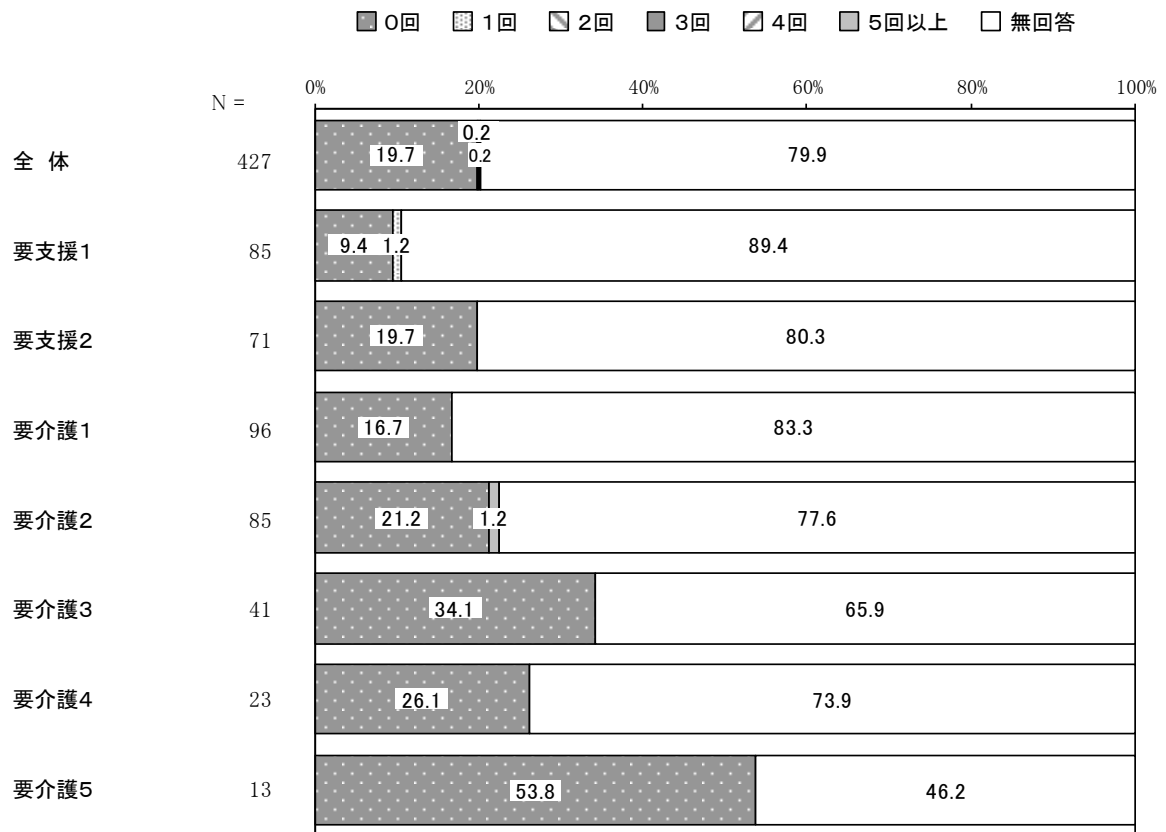
要介護度別で見ると、他に比べ、要支援1、要支援2で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、要支援1、要介護1で「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高くなっています。また、要介護4で「変形性関節疾患」、要介護5で「パーキンソン病」の割合が高くなっています。



G. 夜間対応型訪問介護

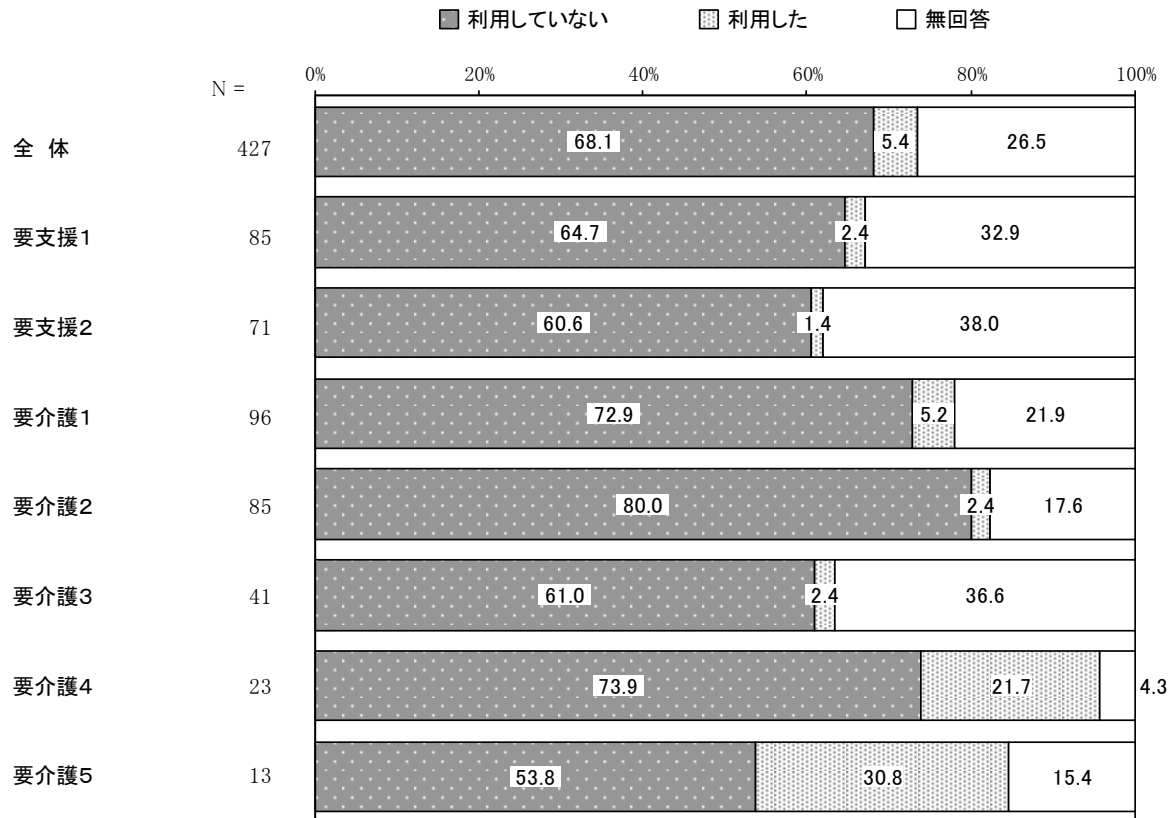
「0回」の割合が19.7%と最も高くなっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要介護5で「0回」の割合が高くなっています。



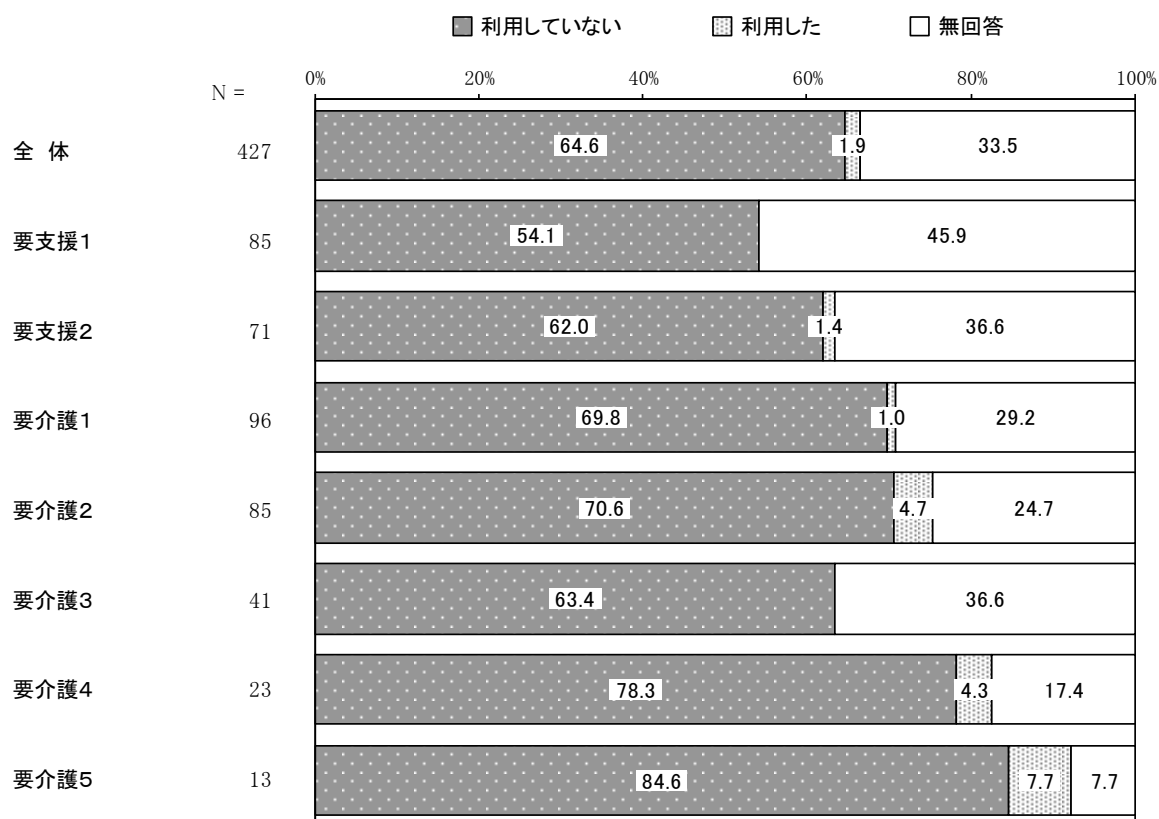
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「利用していない」の割合が68.1%、「利用した」の割合が5.4%となっています。
 要介護度別で見ると、他に比べ、要介護4、要介護5で「利用した」の割合が高くなっています。



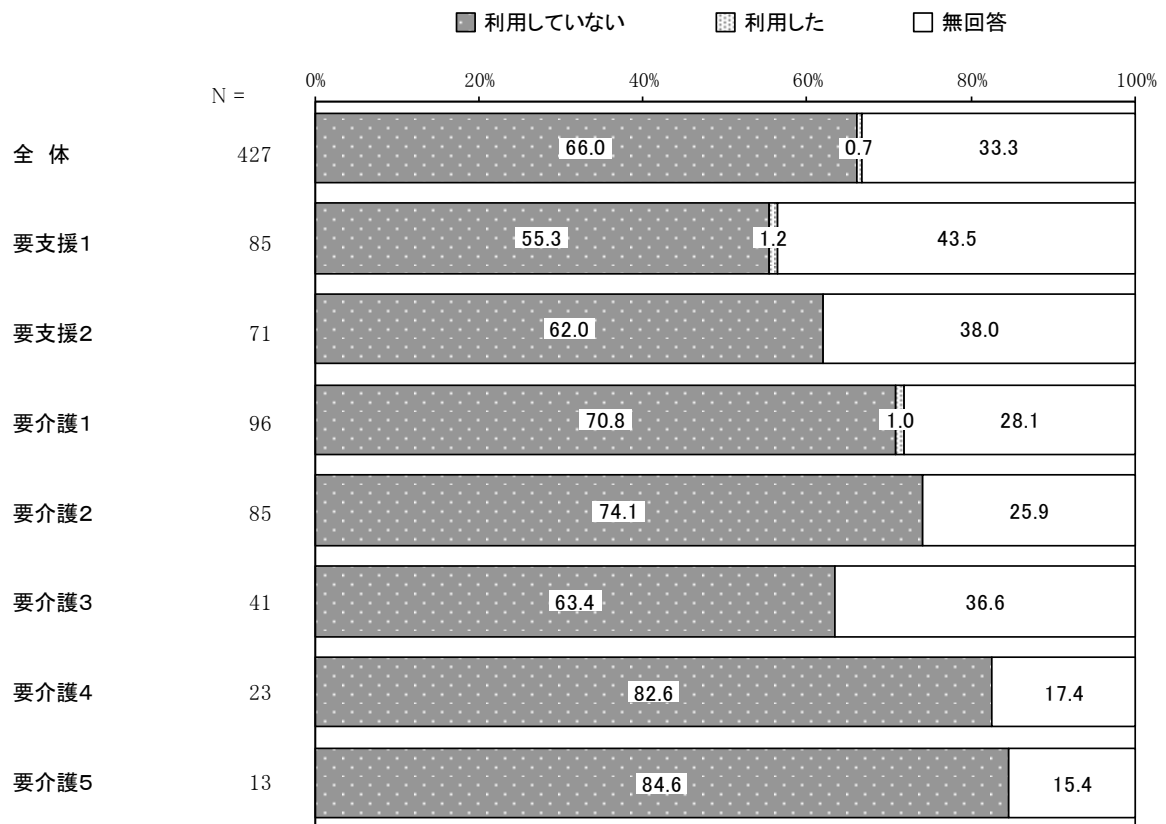
I. 小規模多機能型居宅介護

「利用していない」の割合が64.6%、「利用した」の割合が1.9%となっています。
 要介護度別でみると、大きな差異はみられません。



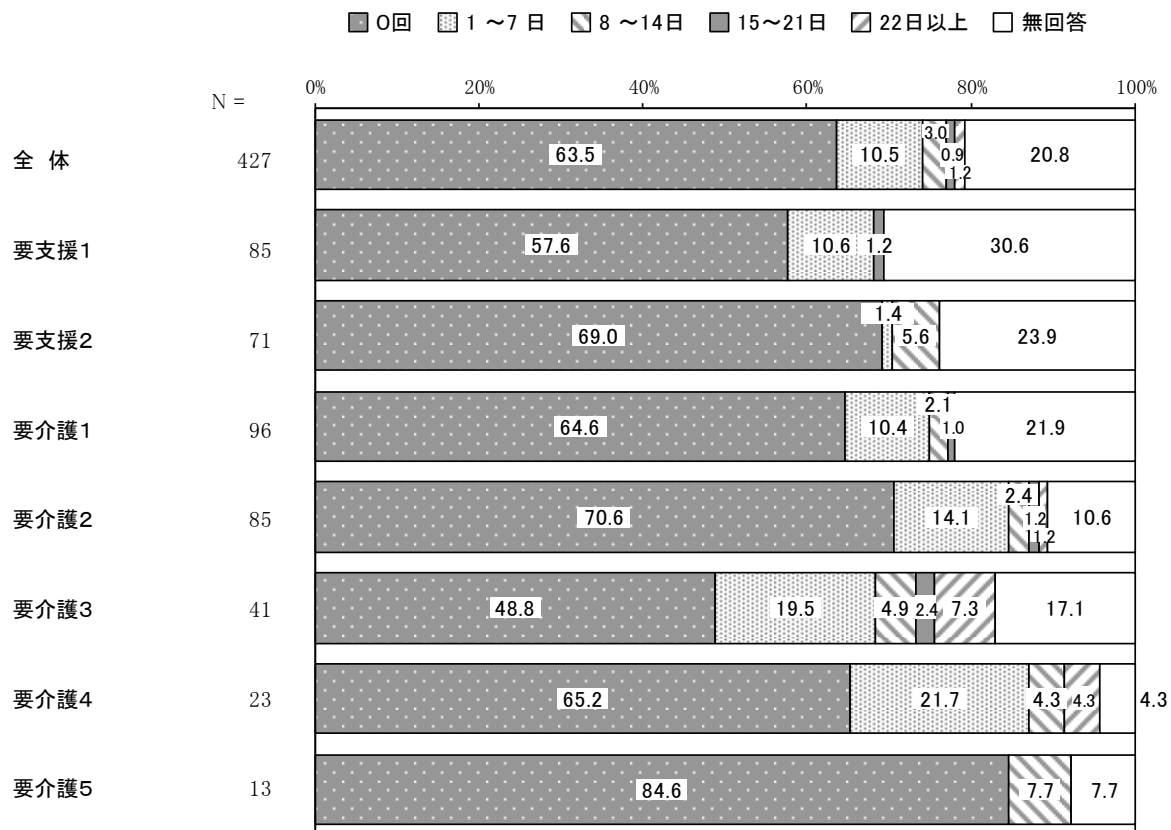
J. 看護小規模多機能型居宅介護

「利用していない」の割合が66.0%、「利用した」の割合が0.7%となっています。
 要介護度別でみると、大きな差異はみられません。



H. ショートステイ

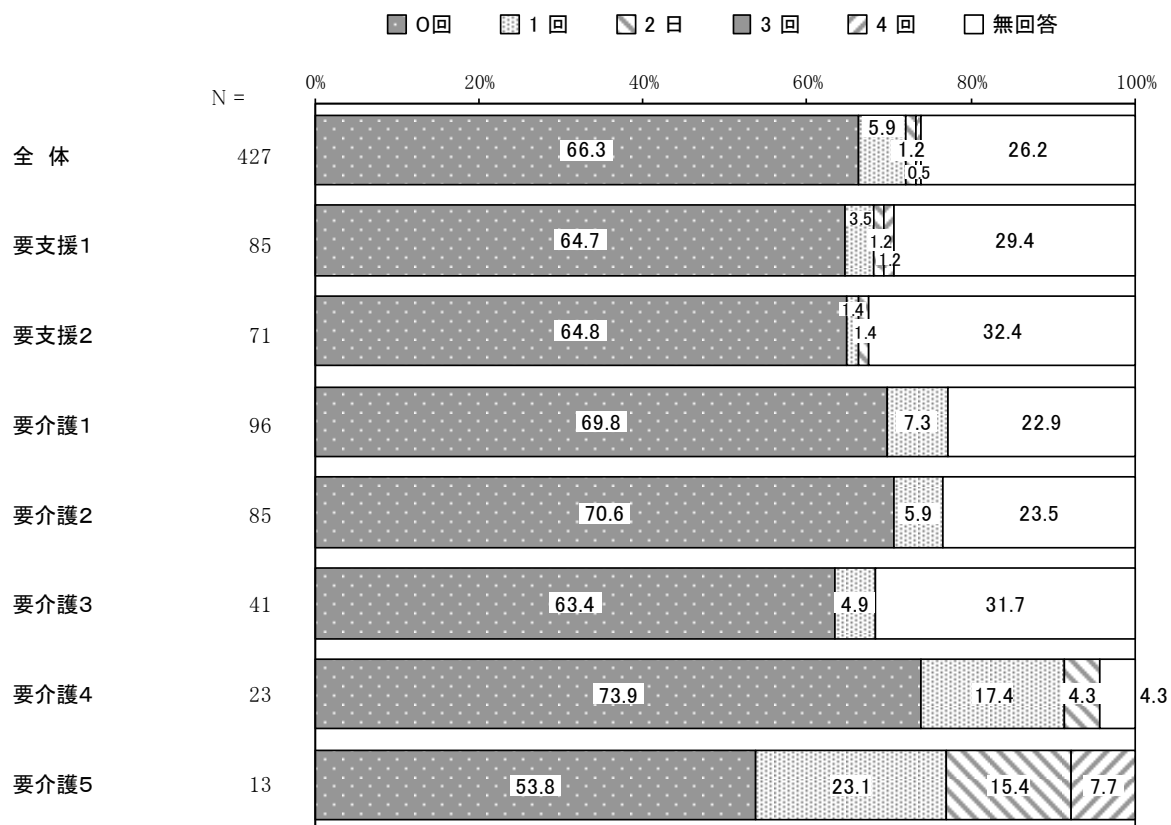
「0回」の割合が63.5%と最も高く、次いで「1～7日」の割合が10.5%となっています。要介護度別で見ると、他に比べ、要介護3、要介護4で「1～7日」の割合が高くなっています。



I. 居宅療養管理指導

「0回」の割合が66.3%と最も高くなっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要介護4、要介護5で「1回」の割合が高くなっています。また、要介護5で「2回」「4回」の割合が高くなっています。



問10 問8で「2.」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が34.4%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が20.0%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が15.0%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要支援1で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」の割合が高くなっています。また、要介護2で「以前、利用していたサービスに不満があった」、要介護3で「家族が介護をするため必要ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体	180	34.4	20.0	15.0	3.3	5.0	2.2	7.8	1.7	17.8	13.3
要支援1	51	56.9	29.4	11.8	2.0	2.0	—	11.8	—	7.8	7.8
要支援2	30	30.0	13.3	3.3	—	6.7	3.3	6.7	6.7	20.0	23.3
要介護1	44	38.6	18.2	25.0	4.5	4.5	2.3	2.3	—	13.6	6.8
要介護2	19	21.1	21.1	15.8	10.5	10.5	—	5.3	5.3	10.5	26.3
要介護3	13	—	23.1	30.8	—	7.7	7.7	15.4	—	30.8	7.7
要介護4	8	12.5	12.5	12.5	—	—	—	—	—	50.0	25.0
要介護5	10	—	—	10.0	—	—	10.0	10.0	—	50.0	20.0

問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

「利用していない」の割合が 58.3%と最も高くなっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要介護 5 で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含ま ない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買 い物など)	移送サービス (介護・福祉 タクシー等)	見守り、声 かけ	サロンなど の定期的 な通いの場	その他	利用して いない	無回 答
全 体	628	7.2	2.2	6.1	2.7	3.2	4.6	4.0	2.4	1.6	4.1	58.3	18.5
要支援1	143	8.4	2.1	9.1	3.5	4.9	5.6	3.5	2.8	2.8	5.6	49.7	18.9
要支援2	105	4.8	1.9	7.6	1.0	3.8	6.7	1.9	1.0	1.0	1.9	51.4	25.7
要介護1	143	12.6	2.1	6.3	2.8	3.5	4.2	2.1	2.8	1.4	2.1	64.3	14.0
要介護2	105	5.7	2.9	4.8	1.0	—	2.9	3.8	1.9	1.0	5.7	65.7	14.3
要介護3	57	1.8	3.5	3.5	8.8	5.3	8.8	7.0	3.5	—	5.3	63.2	17.5
要介護4	33	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	—	6.1	3.0	6.1	9.1	60.6	21.2
要介護5	24	4.2	—	—	—	—	—	16.7	—	—	—	75.0	8.3

問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

「特になし」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 17.7%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 13.4%となっています。

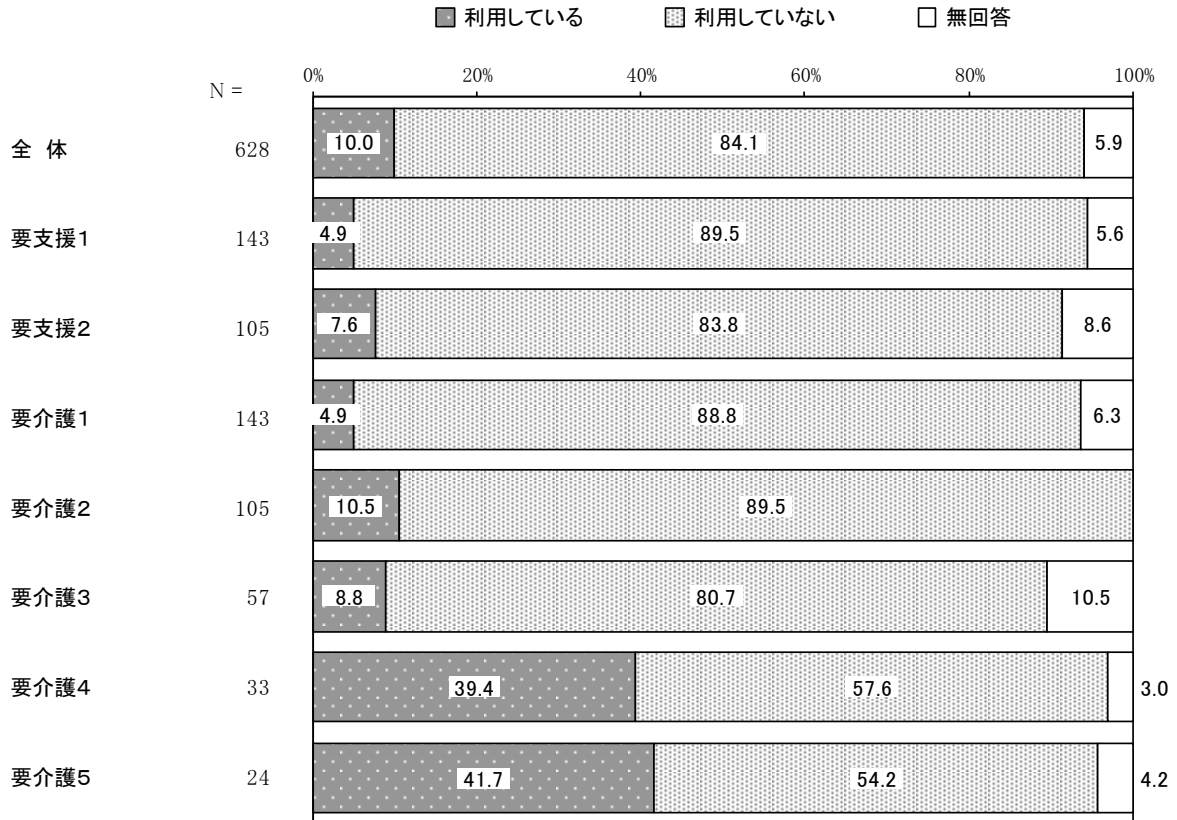
要介護度別でみると、他に比べ、要介護4で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	628	12.9	6.4	11.0	8.3	4.0	13.4	17.7	9.1	6.4	3.7	34.1	22.6
要支援1	143	11.9	3.5	11.2	12.6	2.8	9.8	16.1	6.3	4.9	1.4	32.9	25.9
要支援2	105	9.5	10.5	14.3	7.6	5.7	19.0	14.3	9.5	9.5	3.8	27.6	22.9
要介護1	143	14.0	4.2	9.1	4.2	3.5	14.7	15.4	9.1	6.3	1.4	39.9	20.3
要介護2	105	16.2	7.6	8.6	9.5	2.9	14.3	21.0	12.4	10.5	6.7	28.6	17.1
要介護3	57	10.5	8.8	14.0	10.5	8.8	10.5	26.3	8.8	1.8	3.5	31.6	29.8
要介護4	33	12.1	9.1	9.1	6.1	—	15.2	18.2	3.0	6.1	9.1	51.5	15.2
要介護5	24	16.7	4.2	12.5	4.2	4.2	8.3	25.0	16.7	—	4.2	37.5	29.2

問 13 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

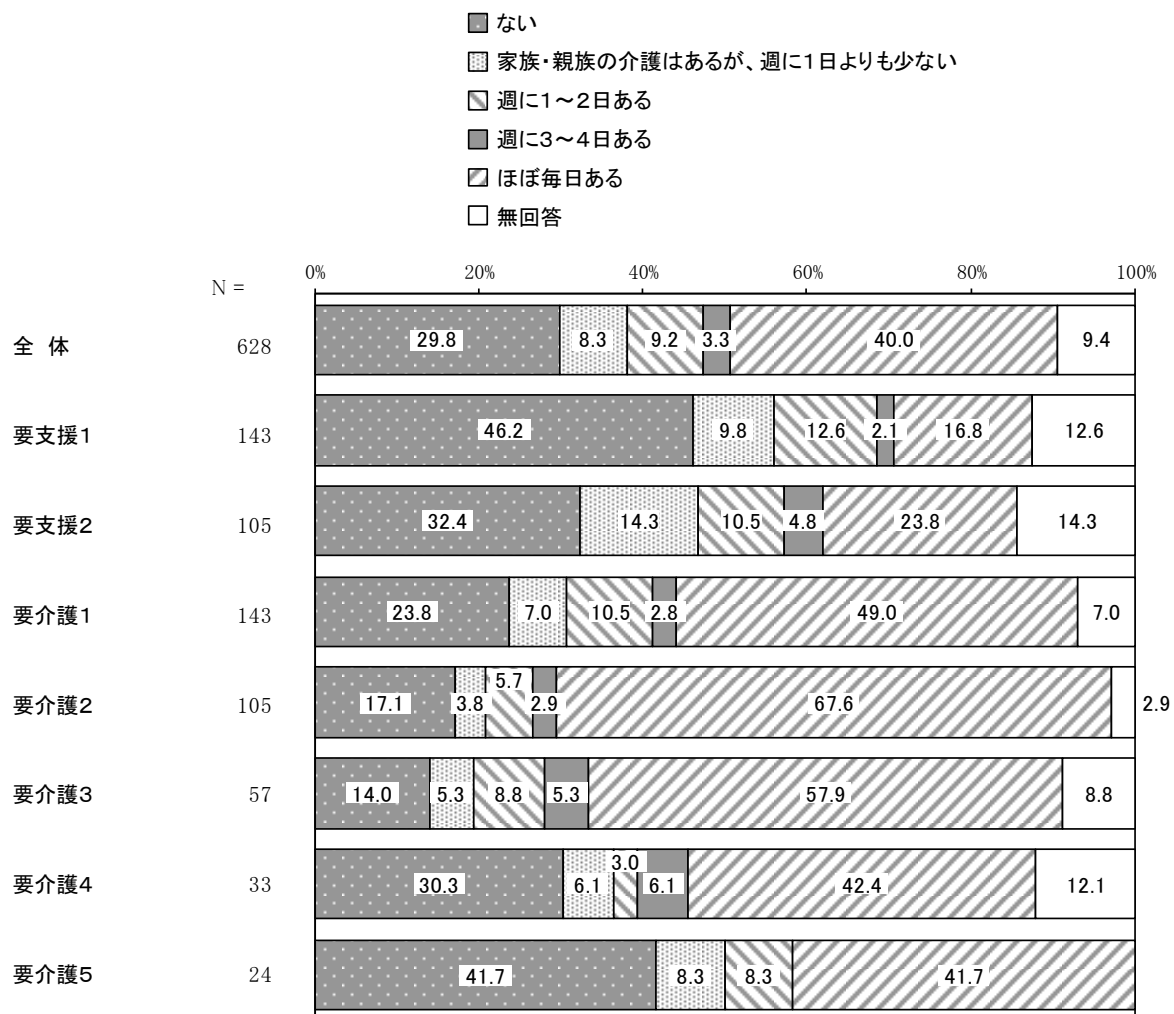
「利用している」の割合が 10.0%、「利用していない」の割合が 84.1%となっています。
 要介護度別で見ると、他に比べ、要介護 4、要介護 5 で「利用している」の割合が高くなっています。



問 14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

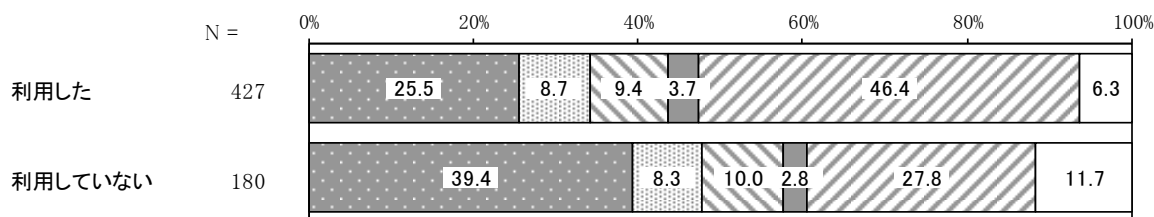
「ほぼ毎日ある」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「ない」の割合が 29.8%となっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護2で「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



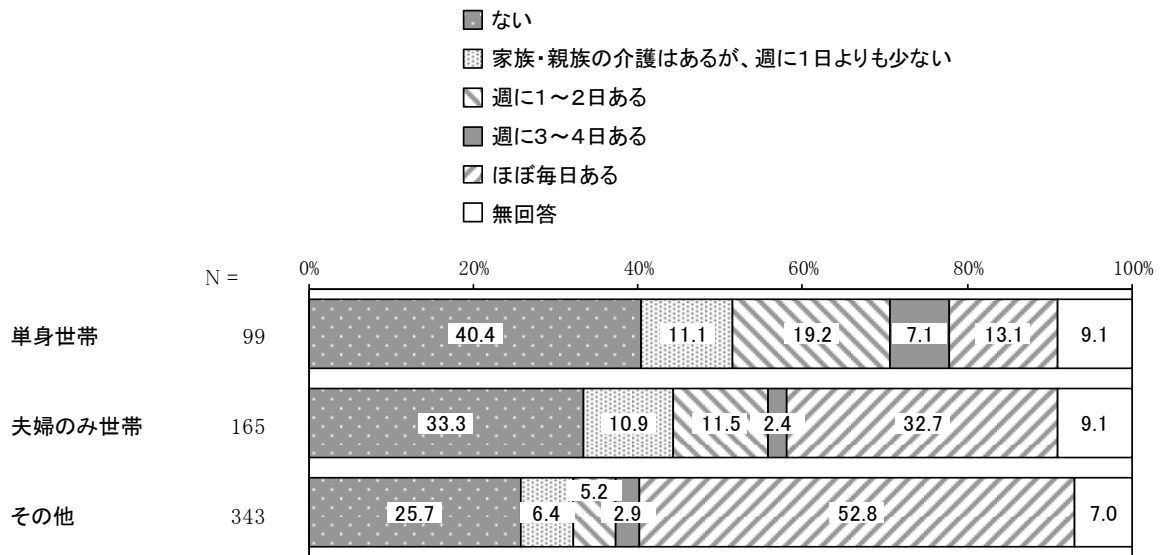
【サービス利用の有無別】

サービス利用の有無別でみると、サービスを利用していない人に比べ、サービスを利用した人で「ない」の割合が低く、「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、夫婦のみ世帯に比べ、単身世帯で「ない」「週に1～2日ある」の割合が高くなっています。また、単身世帯に比べ、夫婦のみ世帯で「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



(2) B票 主な介護者について

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が58.1%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が11.0%となっています。

要介護度別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	382	11.0	1.8	2.1	0.8	58.1	5.2	21.5
要支援1	59	5.1	3.4	3.4	—	54.2	8.5	25.4
要支援2	56	3.6	3.6	1.8	—	51.8	10.7	28.6
要介護1	99	10.1	—	2.0	2.0	58.6	5.1	23.2
要介護2	84	19.0	—	—	—	63.1	—	17.9
要介護3	44	13.6	—	4.5	—	59.1	2.3	20.5
要介護4	19	15.8	10.5	5.3	5.3	52.6	5.3	10.5
要介護5	14	14.3	7.1	—	—	64.3	—	14.3

【主な介護者の勤務形態別】

主な介護者の勤務形態別でみると、他に比べ、フルタイムで働いている人で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっています。また、働いていない人で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高くなっています。

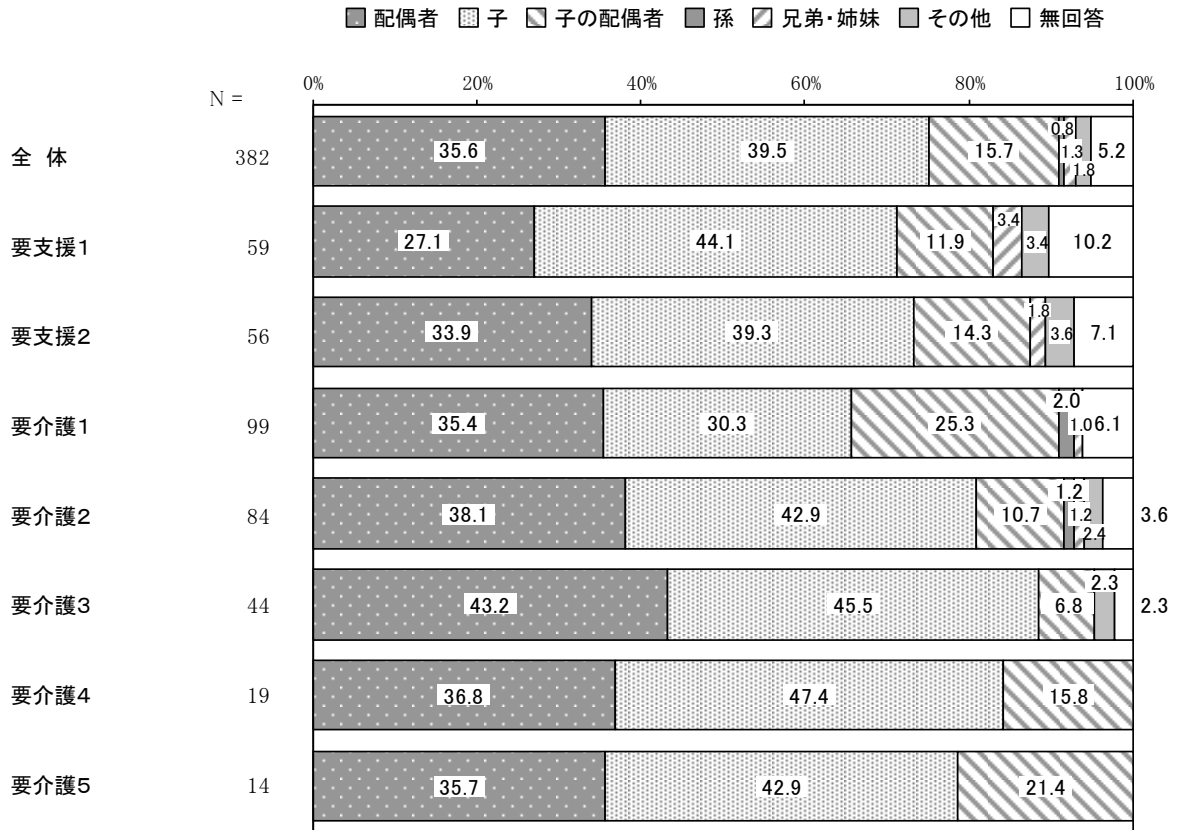
単位：%

区分	有効回答数 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
フルタイムで働いている	83	—	1.2	4.8	—	75.9	2.4	15.7
パートタイムで働いている	55	7.3	3.6	5.5	3.6	63.6	1.8	18.2
働いていない	199	18.6	2.0	0.5	0.5	54.3	4.0	20.1
主な介護者に確認しないと、わからない	3	—	—	—	—	—	100.0	—

問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

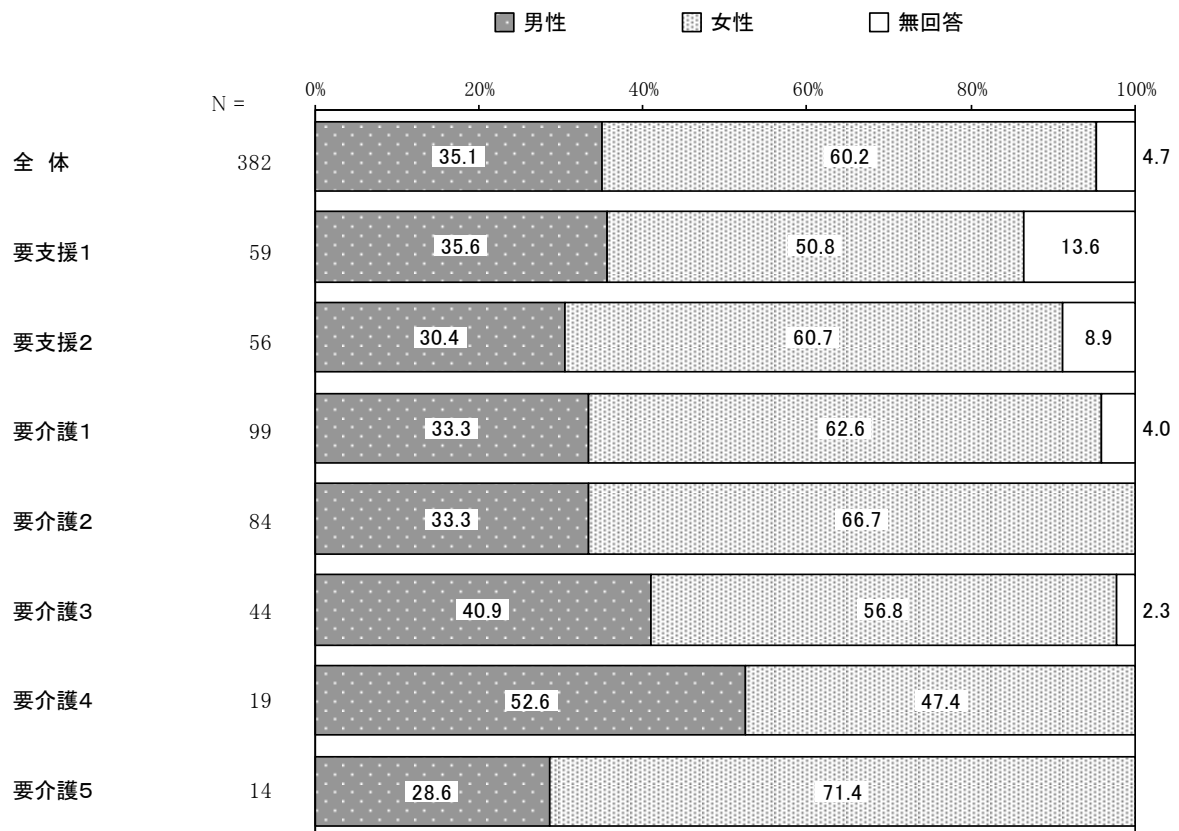
「子」の割合が39.5%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が35.6%、「子の配偶者」の割合が15.7%となっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護3で「配偶者」の割合が高くなっています。



問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

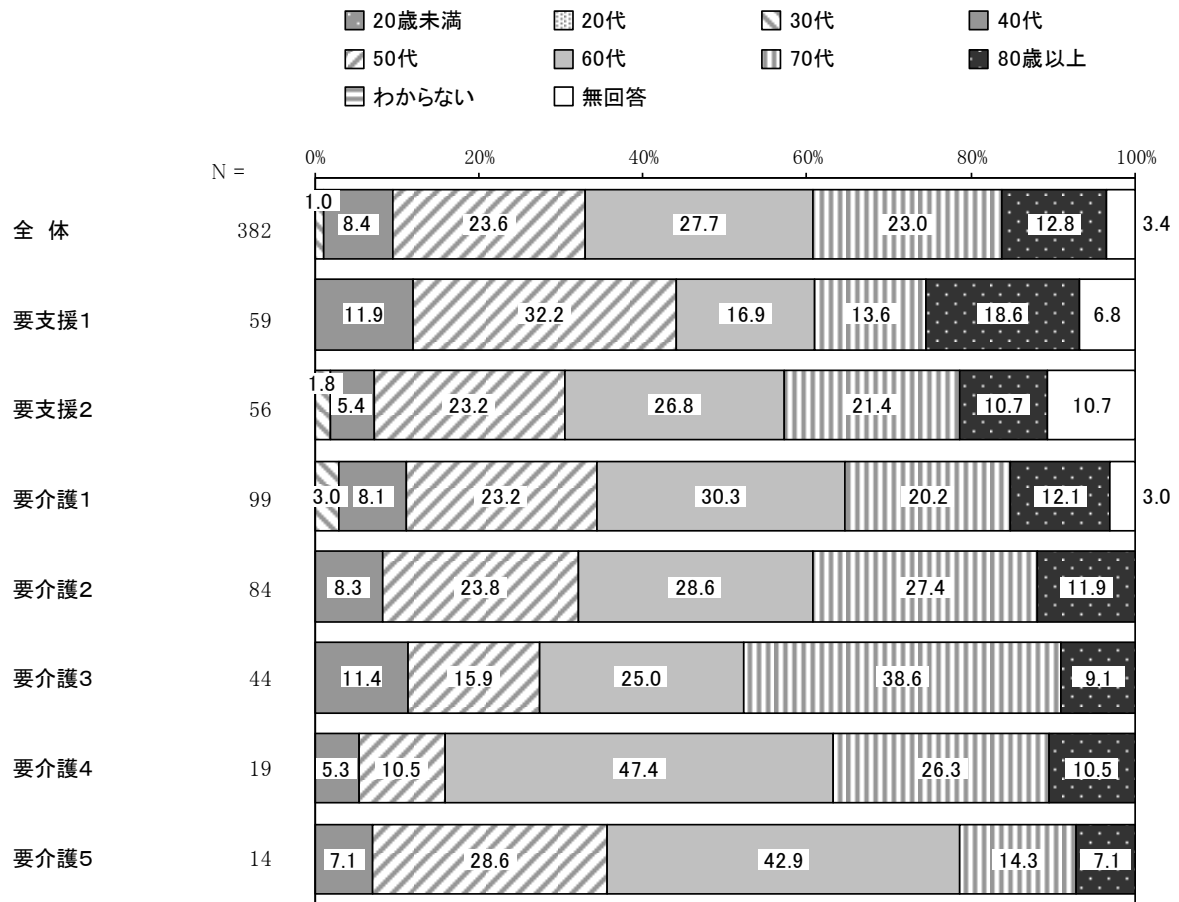
「男性」の割合が35.1%、「女性」の割合が60.2%となっています。
 要介護度別で見ると、他に比べ、要介護4で「男性」の割合が高くなっています。



問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

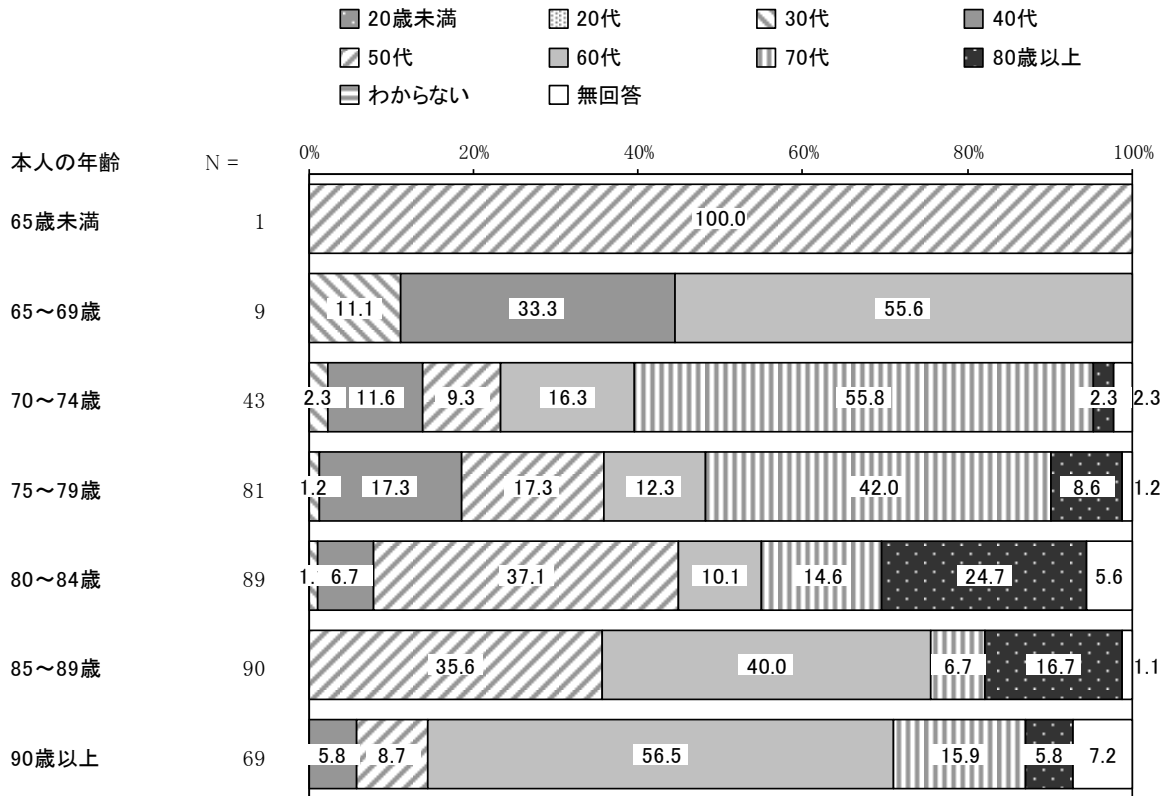
「60代」の割合が27.7%と最も高く、次いで「50代」の割合が23.6%、「70代」の割合が23.0%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要支援1で「80歳以上」、要介護3で「70代」の割合が高くなっています。また、要介護4、要介護5で「60代」の割合が高くなっています。



【本人の年齢別】

本人の年齢別でみると、本人が70～79歳で介護者が「70代」、本人が80～89歳で介護者が「80歳以上」といった、いわゆる老々介護の割合が高くなっています。また、90歳以上で「60代」の割合が高くなっています。



問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(複数選択可)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が77.7%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が69.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が68.3%となっています。

要介護度別でみると、他に比べ、要介護3で「認知症状への対応」、要介護4で「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」「衣服の着脱」「服薬」の割合が高くなっています。また、要介護5で「食事の介助（食べる時）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・ 歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	382	23.8	21.2	24.9	25.9	26.2	35.6	26.2	69.9
要支援1	59	3.4	1.7	10.2	13.6	6.8	5.1	6.8	64.4
要支援2	56	3.6	8.9	14.3	19.6	10.7	12.5	5.4	69.6
要介護1	99	9.1	8.1	16.2	25.3	16.2	25.3	17.2	77.8
要介護2	84	28.6	26.2	22.6	31.0	38.1	52.4	31.0	78.6
要介護3	44	59.1	50.0	54.5	38.6	54.5	72.7	65.9	72.7
要介護4	19	84.2	73.7	57.9	47.4	52.6	78.9	68.4	52.6
要介護5	14	78.6	64.3	64.3	7.1	57.1	64.3	35.7	21.4

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や生活 面に必要な諸 手続き	その他	わからない	無回答
全体	48.2	27.2	11.8	67.0	77.7	68.3	8.9	0.3	3.4
要支援1	20.3	11.9	6.8	54.2	69.5	45.8	5.1	1.7	10.2
要支援2	26.8	7.1	8.9	48.2	60.7	53.6	7.1	—	8.9
要介護1	49.5	29.3	9.1	73.7	85.9	71.7	6.1	—	2.0
要介護2	64.3	38.1	13.1	78.6	85.7	84.5	11.9	—	—
要介護3	61.4	47.7	9.1	70.5	81.8	70.5	13.6	—	—
要介護4	84.2	36.8	31.6	68.4	78.9	78.9	21.1	—	—
要介護5	71.4	21.4	35.7	64.3	71.4	85.7	7.1	—	—

【サービス利用の有無別】

サービス利用の有無別で見ると、サービスを利用していない人に比べ、サービスを利用した人で「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「服薬」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎等
利用した	291	26.5	23.4	27.1	25.1	28.2	37.1	28.5	71.1
利用していない	88	14.8	12.5	17.0	27.3	19.3	30.7	18.2	64.8

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
利用した	50.5	28.5	12.0	68.4	78.7	69.1	9.3	0.3	2.7
利用していない	39.8	22.7	10.2	62.5	75.0	65.9	8.0	—	5.7

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

「認知症状への対応」の割合が17.5%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が17.0%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が16.8%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要支援1で「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が高くなっています。また、要介護4で「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、要介護5で「夜間の排泄」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる 時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・ 歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・ 移動	外出の付き添い、 送迎等	服薬
全体	382	7.3	17.0	1.3	12.0	1.0	3.1	6.5	16.8	3.7
要支援1	59	1.7	5.1	—	13.6	1.7	—	3.4	18.6	1.7
要支援2	56	—	10.7	3.6	14.3	1.8	—	3.6	19.6	3.6
要介護1	99	7.1	19.2	1.0	14.1	1.0	2.0	7.1	18.2	4.0
要介護2	84	11.9	22.6	—	13.1	1.2	6.0	9.5	14.3	4.8
要介護3	44	13.6	22.7	2.3	9.1	—	6.8	4.5	15.9	4.5
要介護4	19	15.8	10.5	—	5.3	—	5.3	15.8	15.8	—
要介護5	14	7.1	42.9	—	—	—	—	7.1	14.3	—

区分	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や生活 面に必要な諸 手続き	その他	不安に感じてい ることは、特 にない	主な介護者に確 認しないと、わ からない	無回答
全体	17.5	3.1	6.8	9.7	6.8	3.7	5.8	0.8	39.5
要支援1	8.5	1.7	15.3	22.0	8.5	1.7	5.1	—	40.7
要支援2	7.1	3.6	5.4	16.1	8.9	3.6	5.4	1.8	39.3
要介護1	17.2	—	7.1	10.1	7.1	1.0	8.1	1.0	38.4
要介護2	23.8	6.0	6.0	2.4	4.8	4.8	4.8	—	39.3
要介護3	22.7	2.3	2.3	4.5	2.3	9.1	4.5	—	43.2
要介護4	31.6	5.3	5.3	—	15.8	10.5	5.3	5.3	31.6
要介護5	14.3	14.3	—	—	7.1	—	7.1	—	35.7

【サービス利用の有無別】

サービス利用の有無別でみると、サービスを利用した人に比べ、サービスを利用していない人で「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯 磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎 等	服薬
利用した	291	8.2	17.2	1.0	9.3	1.0	4.1	7.2	15.1	4.1
利用していない	88	4.5	17.0	2.3	21.6	1.1	—	4.5	21.6	2.3

区分	認知症状への対応	医療面での対応 (経管 栄養、ストーマ 等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、 洗濯、買い物 等)	金銭管理や生活面に必 要な諸手続き	その他	不安に感じていること は、特にない	主な介護者に確認しな いと、わからない	無回答
利用した	16.2	2.4	5.5	8.6	6.5	4.1	5.2	0.7	43.3
利用していない	22.7	5.7	11.4	13.6	8.0	2.3	6.8	1.1	27.3

【主な介護者の勤務状況別】

主な介護者の勤務状況別でみると、介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない人に比べ、主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）人で「夜間の排泄」「入浴・洗身」「服薬」「認知症状への対応」の割合が高くなっています。また、主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）人に比べ、介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない人で「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」の割合が高くなっています。

単位：％

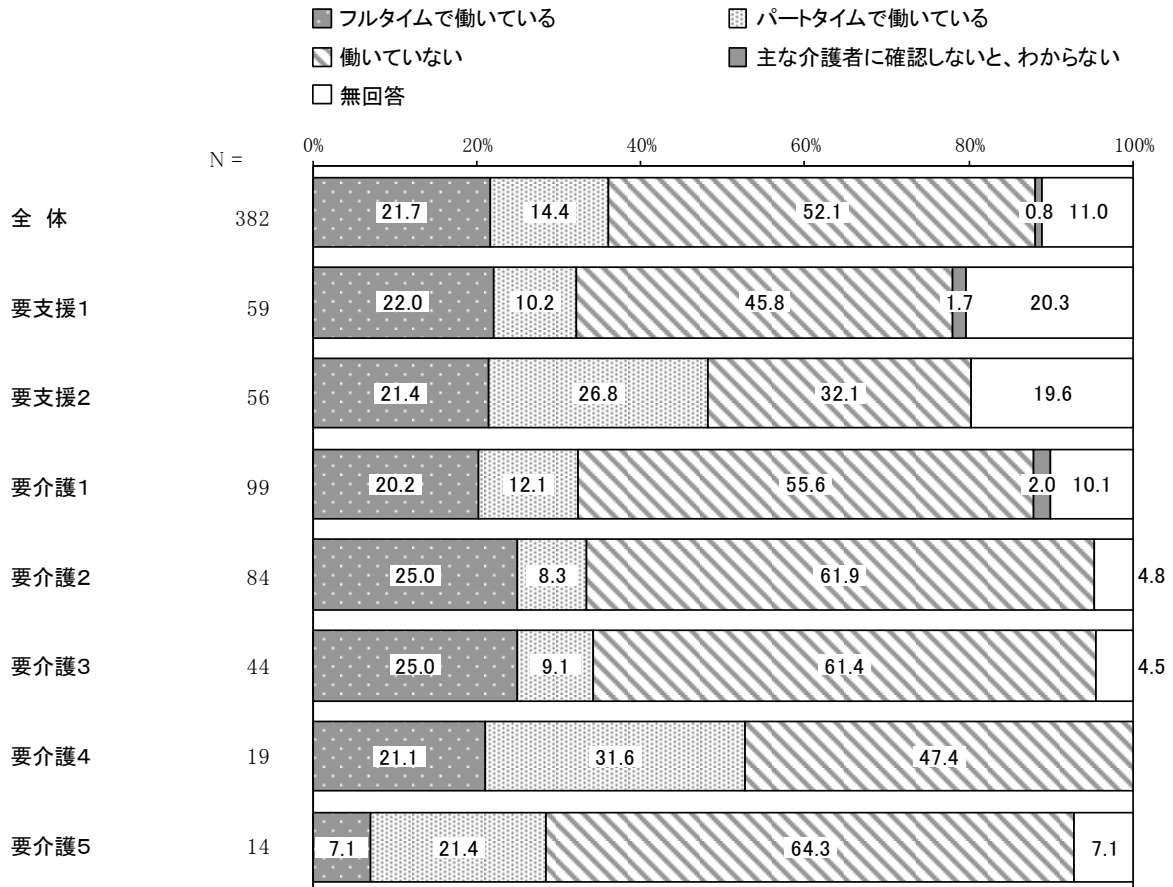
区分	有効回答数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯 磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	等 外出の付き添い、送迎	服薬
主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	42	9.5	26.2	—	19.0	2.4	—	2.4	9.5	9.5
主な介護者以外の家族・親族 が仕事を辞めた(転職除く)	7	28.6	28.6	—	14.3	—	—	28.6	—	—
主な介護者が転職した	8	25.0	12.5	—	12.5	—	—	12.5	12.5	—
主な介護者以外の家族・親族 が転職した	3	66.7	33.3	—	33.3	—	—	100.0	33.3	—
介護のために仕事を辞めた家 族・親族はいない	222	7.7	18.5	1.8	11.7	0.9	3.2	8.1	18.9	3.6
わからない	20	—	5.0	5.0	—	—	—	5.0	15.0	5.0

区分	認知症状への対応	医療面での対応 (経管 栄養、ストーマ 等)	食事の準備 (調理等)	洗濯、買い物 等)	その他の家事 (掃除、 金銭管理や生活面に必 要な諸手続き	その他	不安に感じていること は、特にな	主な介護者に確認しな いと、わからない	無回答
主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	26.2	4.8	9.5	7.1	7.1	2.4	4.8	—	33.3
主な介護者以外の家族・親族 が仕事を辞めた(転職除く)	42.9	14.3	—	—	—	14.3	—	—	28.6
主な介護者が転職した	25.0	—	—	—	12.5	—	—	—	50.0
主な介護者以外の家族・親族 が転職した	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—
介護のために仕事を辞めた家 族・親族はいない	18.0	3.2	6.8	10.4	5.0	2.7	7.7	1.4	36.0
わからない	10.0	—	15.0	20.0	15.0	15.0	—	—	45.0

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

「働いていない」の割合が52.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が21.7%、「パートタイムで働いている」の割合が14.4%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要支援2、要介護4で「パートタイムで働いている」の割合が高くなっています。



問8 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が31.2%と最も高く、次いで「特に行っていない」の割合が29.7%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」の割合が21.7%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要支援1、要支援2で「特に行っていない」の割合が高くなっています。また、要介護3で「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」、要介護4で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	138	29.7	31.2	18.1	2.9	21.7	1.4	5.8
要支援1	19	47.4	31.6	15.8	—	10.5	—	10.5
要支援2	27	44.4	22.2	7.4	3.7	18.5	—	3.7
要介護1	32	31.3	28.1	25.0	3.1	25.0	—	3.1
要介護2	28	17.9	35.7	28.6	—	21.4	—	7.1
要介護3	15	13.3	26.7	13.3	13.3	33.3	6.7	6.7
要介護4	10	30.0	50.0	10.0	—	20.0	—	10.0
要介護5	4	—	50.0	25.0	—	25.0	—	—

問9 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が24.6%と最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が21.0%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が18.8%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要支援1、要介護2で「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」、要介護1で「仕事と介護の両立に関する情報の提供」の割合が高くなっています。また、要介護3で「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、要介護4で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	138	18.8	24.6	18.1	18.8	2.9	7.2	5.1	21.0	0.7	11.6	4.3	15.9
要支援1	19	10.5	21.1	5.3	10.5	—	5.3	10.5	5.3	—	21.1	5.3	21.1
要支援2	27	22.2	18.5	14.8	18.5	3.7	3.7	3.7	14.8	—	11.1	7.4	18.5
要介護1	32	15.6	21.9	21.9	21.9	9.4	12.5	3.1	31.3	—	3.1	3.1	21.9
要介護2	28	14.3	32.1	25.0	17.9	—	7.1	10.7	21.4	3.6	17.9	3.6	7.1
要介護3	15	33.3	26.7	26.7	13.3	—	6.7	—	13.3	—	6.7	—	13.3
要介護4	10	10.0	40.0	—	40.0	—	—	—	30.0	—	10.0	10.0	20.0
要介護5	4	—	25.0	50.0	25.0	—	25.0	—	75.0	—	25.0	—	—

問10 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が48.6%と最も高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」の割合が15.9%、「問題なく、続けていける」の割合が10.9%となっています。

要介護度別で見ると、他に比べ、要介護1で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。また、要介護3で「続けていくのは、やや難しい」の割合が高くなっています。

